

もくじ

安全上のご注意	2	
各部のなまえ	6	
部品一覧表	7	
各プラン納まり	8	
ウォール型プラン	9	
アイランド・ペニンシュラ型プラン 〈パネルタイプ〉	28	
アイランド・ペニンシュラ型プラン 〈収納タイプ〉	49	
食洗機の設置のしかた	57	
部材の取り付け	59	
調整	61	
組立設置後の確認	63	

- 組立設置説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に組立設置してください。
特に「安全上のご注意」（2～5ページ）は、組立設置前に必ずお読みください。
- 組立設置説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で組立設置されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その組立設置が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 開梱時に外観確認を行ってください。
組立設置後に確認された傷、破損などは保証対象外となります。
- 配管工事は、すべて「水道法」「建築基準法」「各都市の条例、規定」に準じて行ってください。
- 電気配線工事は、「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に行ってください。
配線工事は、電気工事士の資格が必要です。
- 組立設置後（通電後）に必ず動作確認を行ってください。
お客様への引き渡し時（使い始め）に調整不備などで正常動作しない場合には対応をお願いします。
- 梱包材は、組立設置中・組立設置完了後の養生にもお使いください。
- 梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
- 取扱説明書、保証書は、必ずお客様にお渡しください。
（組立設置完了後、使いかたを説明してください。）

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った組立設置をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



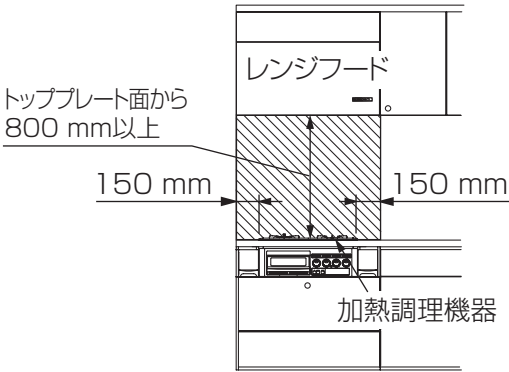
実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



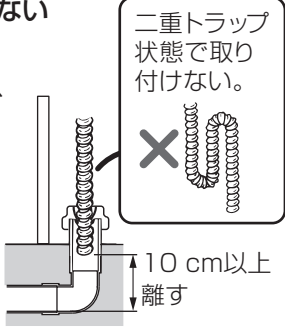
警告

 分解禁止	絶対に分解したり、修理・改造したりしない 落下して、けがの原因となります。	電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行う 火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。
 禁止	レンジフード横には一般ユニットを設置しない(不燃ウォールユニットを使用してください) 不燃ウォールユニットであっても、斜線部分にかかってはいけない  火災のおそれがあります。 さらに火災予防条例の規制があります。 特定の安全装置を備えた加熱機器の場合は異なります。 詳しくは加熱機器に付属の説明書をご参照ください。	下地材の材料仕様は住宅(建築物)との兼ね合いがあるので、現場監督・建築士などと相談のうえ、仕様決定する 不適切な材料を使用すると十分な強度が得られず、落下し、事故の原因となります。 取り付け作業時はヘルメット、安全靴・保護手袋などを着用する ユニットの角で頭を打ったり、落下物による打撲などの事故の原因となります。 ウォールユニットの取り付けは建築壁の構造を確かめて、組立設置説明書の通りに正しく取り付ける ユニットが落下して、けがの原因となります。
 必ず守る	外気と通じるすき間は合板などを利用して必ず埋める ガスの火が消えたり、機器内部の「焼損・火災」の原因となります。	ユニットの固定には、必ず指定の取り付け部品、ねじ類を使用する ユニットが落下して、けがの原因となります。 ステンレスカウンターやシンクは、必ず手袋をして取り扱う けがをするおそれがあります。



必ず守る

⚠ 注意

 禁止	扉にぶら下がったり、扉を大きく開けすぎない 扉が外れて、けがをするおそれがあります。	 必ず守る	キッチンに組み込まれる、電気製品・加熱機器・レンジフード・その他機器については、その商品の各説明書・注意表示通りに、正しく取り付ける 思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
	ウォールユニットの扉を開けたまま作業しない 頭を打ったり、収納物が落下して、けがをするおそれがあります。		設置仕上げに使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などにある注意表示に従い、正しく使用する 人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因となります。
	排水ホースは排水管の底に当てたり、たるませて取り付けない 排水能力が低下してシンクから水があふれ、周囲を汚損するおそれがあります。 ホースを適切な長さに切断してください。 		ねじで固定する場合は、必ずドライバーで行い、締めすぎによるねじの空回り、頭(スリワリ⊕)つぶれのないようにする ユニットなどが落下してけがの原因となります。
 必ず守る	排水管の接続部は確実に締め付ける 水漏れし、不快な臭い、かびの発生、腐食の原因となります。		カウンターとエンドパネル・化粧パネルの合わせ部はシーリング材で必ずシールする シールが不完全な場合、水こぼれでエンドパネルを傷めるおそれがあります。
	防臭キャップと排水管の接続は接着剤またはシーリング材で必ずシールする シールが不完全な場合、臭気が発生したり、湯気が上がり、ユニットや床などが腐るおそれがあります。		設置完了後は、棚板、引出し、扉が確実に取り付けられていることを確認し、傾き、がたつきがある場合は、正しくセットする 棚板、引出し、扉などが落下して、けがの原因となります。
 注意	カウンター端部に注意する けがをするおそれがあります。		

組立設置前のご注意

- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず2人以上で手運びにて行ってください。
※車上渡しとなります。
- 開梱後にカウンターを持ち運ぶときは、必ず立てて持ち運んでください。
(奥行方向を平らにして両端を持つと、変形の原因になります。)
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 商品を開梱したら外観に損傷がないことをご確認ください。
(躯体取り付け済商品の損傷は、保証対象外となりますので、取り付け前に必ずご確認ください。)
- ユニットに取り付けられている梱包補強材を取り外してください。
- 商品の養生は下記の注意事項を厳守ください。
 - ①梱包の段ボール・養生紙などを用い養生してください。
 - ②組立設置途中でも工具の落下などによる傷や破損防止のためカウンターの表面やシンク、加熱機器など部分的に養生してください。
 - ③組立設置完了後、内装工事が続いて行われるときや引き渡しまでに日数があるときには、商品全体を養生してください。
 - ④養生テープは直接商品に貼らないでください。
 - ⑤養生テープは粘着力の弱い養生紙専用テープをご使用ください。
- 引出しや扉に汚れや傷が付かないように養生をして保管してください。
- 直射日光のあたる場所に保管しないでください。
(養生フィルムののり残りがカウンターに付着するおそれがあります。)
- フロアユニットを設置する後壁部の配管貫通部、内壁接合部などにすき間がある場合には、すき間を埋めて外気からの風の影響を受けないようにしてください。
(ガス加熱機器の炎がゆらいだり、火が消えたりします。)
- 温度変化によるカウンター寸法の伸縮がありますので、両端壁プランの場合、躯体は両端各2 mm以上大きく仕上げてください。

組立設置前の確認

設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。

- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上がが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
- 窓枠や建具の位置および寸法
- 取付用下地の位置および寸法
(桟木30mm×90mm以上の強度のある硬い木材または12mm以上の合板)
- 必要な給水給湯管・排水管・ガス配管・電気配線の位置および接続方法
- ガス種・電圧(100V/200V)・周波数
- レンジフード用の開口(ダクト)の位置および寸法
- 火災予防条例に準拠したレンジフード・コンロの設置場所と可燃物の離隔寸法

警告



必ず守る

キャビネット・レンジフードなどを取り付ける取付用下地(桟木30mm×90mm以上または12mm以上の合板)が指定どおりに使用されていることを確認してから取り付けてください。
(取付用桟木に十分なねじ保持力がなく、使用中に落下し、けがをするおそれがあります)

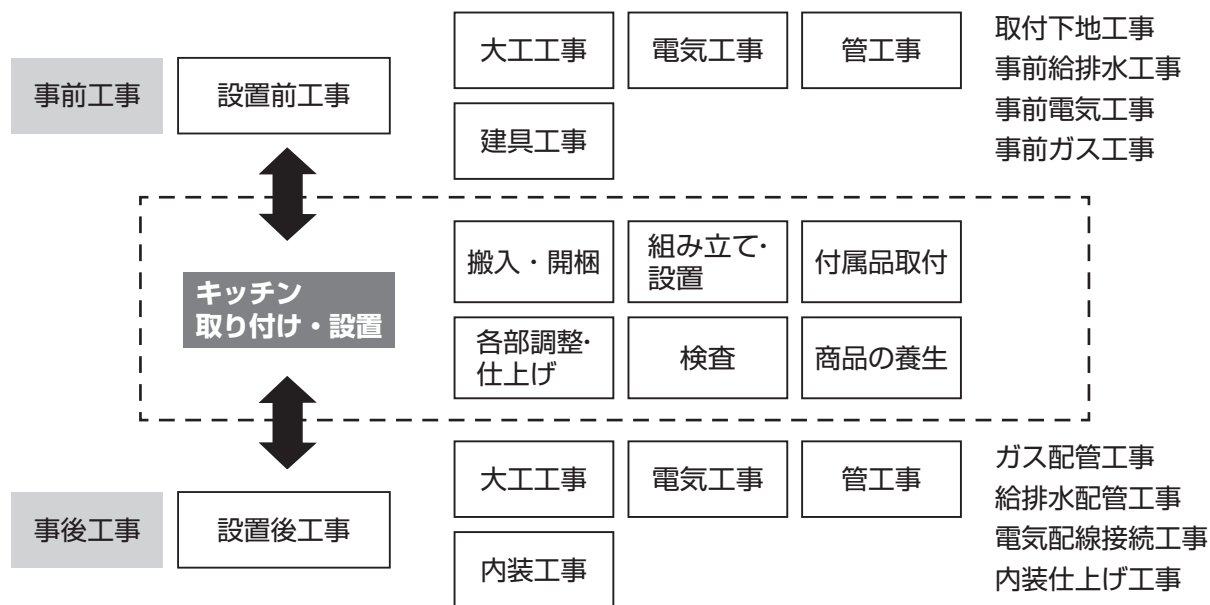
■「キッチンの取り付け・設置」とユニット工事区分

警告



必ず守る

本説明書は、システムキッチンの本体組み立て・設置と関連工事（建設工事）である大工事、電気工事、ガス配管工事、配管（給排水）工事、建具工事などを区別して説明しています。建設工事は、関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。流通業者（販売店）を通して「本体の組み立て・設置」を行う場合は、建設工事部分と「システムキッチンの本体組み立て・設置」を区別して行ってください。



管工事

ダクト配管および接続

ガス管工事

建設工事区分外であるが、ガス栓を含めた配管接続工事

管工事

給水・給湯・排水接続

電気工事

コンセント利用以外の配線接続
(流し元灯、IHクッキングヒーター、食器洗い乾燥機など)

内装仕上げ工事 大工事

キッチン取付・設置のための下地、プロペラダクト開口、壁面・床面の内装仕上げ

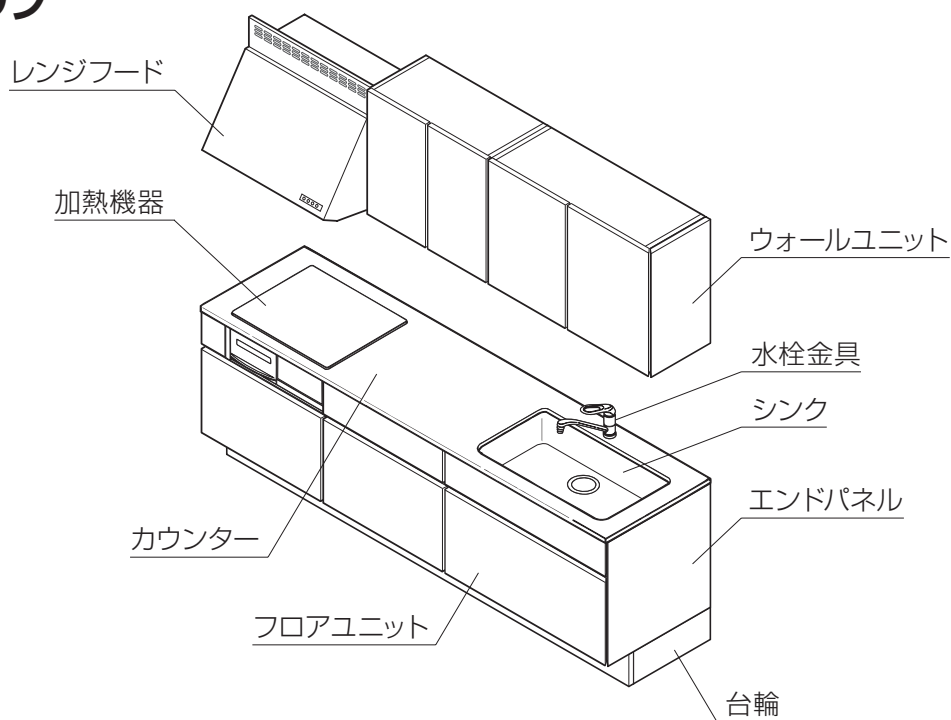
建具工事

窓サッシの取り付け

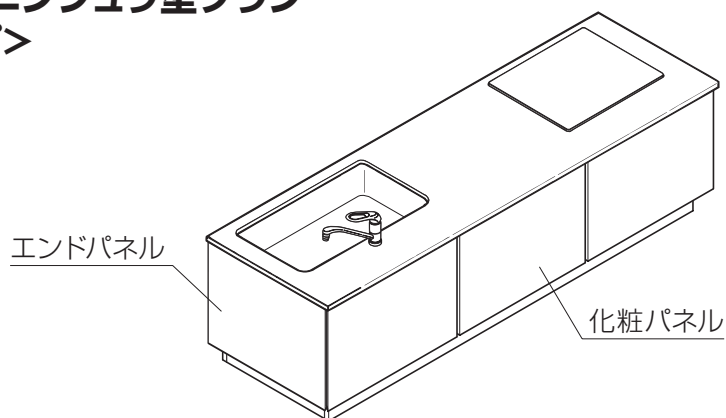
安全上の注意

各部のなまえ

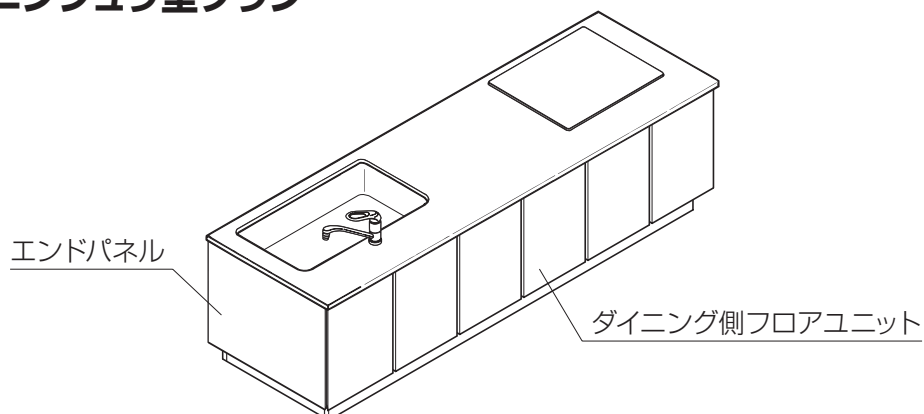
■ウォール型プラン



■アイランド・ペニンシュラ型プラン <パネルタイプ>



■アイランド・ペニンシュラ型プラン <収納タイプ>

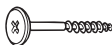
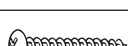
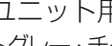
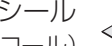


部品一覧表

[寸法単位 : mm]

■取付部品箱

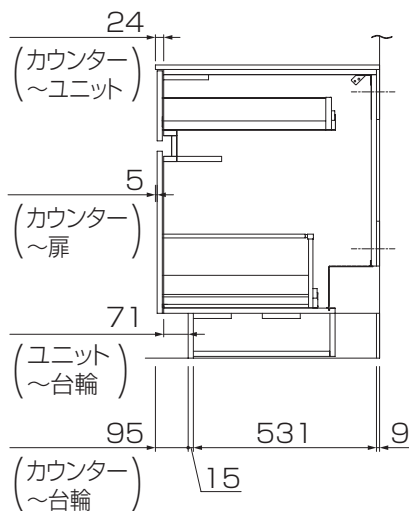
※プランによって、ねじや金具などが余る場合があります。

部品名	品番	ウォール型 プラン	アイランド・ペニンシュラ型プラン		ウォール ユニット	
			パネルタイプ			収納タイプ
			ライトグレー	チャコール		
		JUS99SSKFNA3	JUS99SSTAHA3	JUS99SSTAJA3	JUS99SSTBNA3	JUS99SSKWNA
平 ⊕φ4×28		36	51	51	98	8
皿 ⊕φ4.5×60		16	5	5	8	10
皿 ⊕φ4.5×30		12	18	18	—	—
皿 ⊕φ4×12		16	32	32	32	—
トラスタッピンねじ ⊕φ4.5×45		—	18	18	12	—
トラスタッピンねじ ⊕φ4×14		18	26	26	18	—
トラスタッピンねじ ⊕φ4×12		26	68	68	50	—
樹脂キャップ		46	62	62	86	18
連結ワッシャ		16	23	23	8	10
金具A		5	12	12	7	—
金具B		1	9	9	9	—
樹脂ラッチA		4	8	8	8	—
樹脂ラッチB		4	8	8	8	—
パッキン (ライトグレーまたはチャコール)		—	4	4	—	—
配管穴隠し板		—	2	2	2	—
ウォールユニット 取付治具		—	—	—	—	1
平金具		—	4	4	—	—
食洗ユニット用シール (ライトグレー・チャコール)		各2	各2	各2	各2	—
スペーサー		5	15	15	15	—
プレート A(1枚) B(3枚) C(1枚) D(1枚)	   	1セット	1セット	1セット	1セット	—
取扱説明書・組立設置説明書		1セット	1セット	1セット	1セット	—
予備ユーザー当たりゴム (個別包装)		1枚	1枚	1枚	1枚	—

各プラン納まり

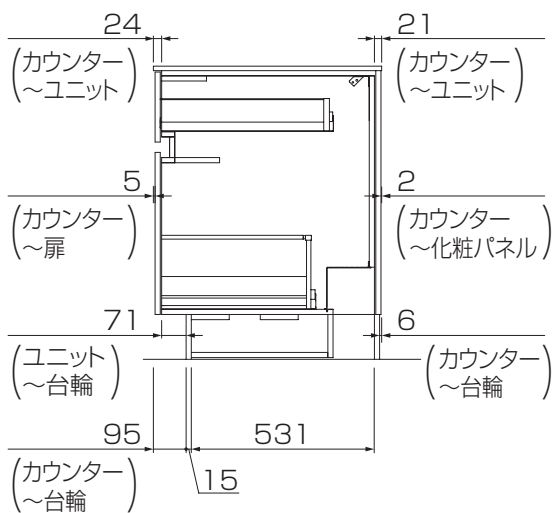
[寸法単位：mm]

■ウォール型プラン

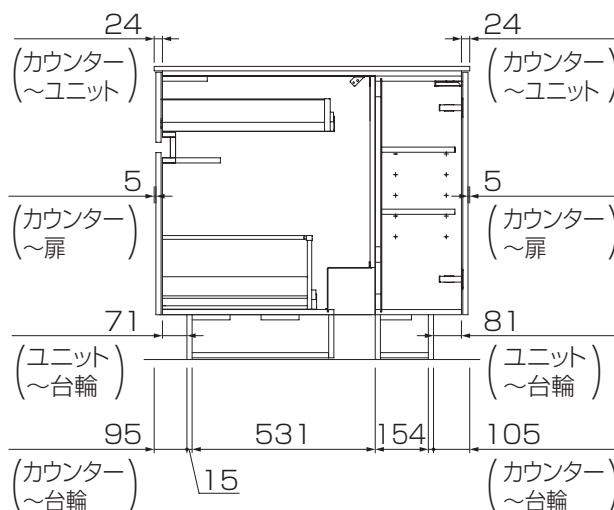


■アイランド・ペニンシュラ型プラン

<パネルタイプ>



<収納タイプ>



取り付けかた

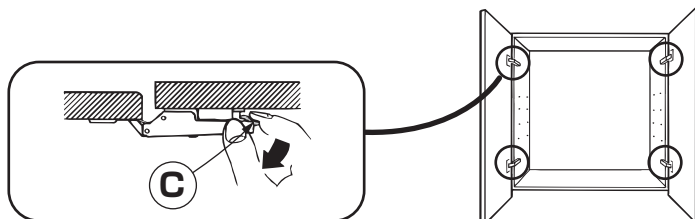
1 <オプション>ウォールユニットの取り付け

1. 取り付け用墨出し

仕上がり床面を基準に、ウォールユニットの下端（または上端）の位置に墨出しする。

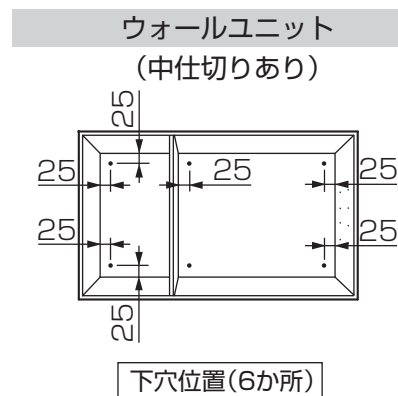
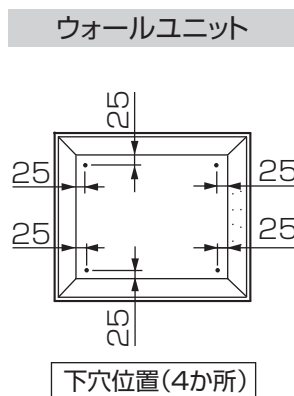
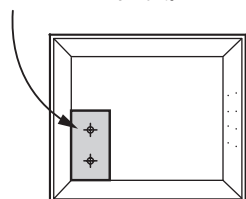
2. 扉の取り外し

ウォールユニットちょう番 **③** 部をつまんで扉を取り外す。



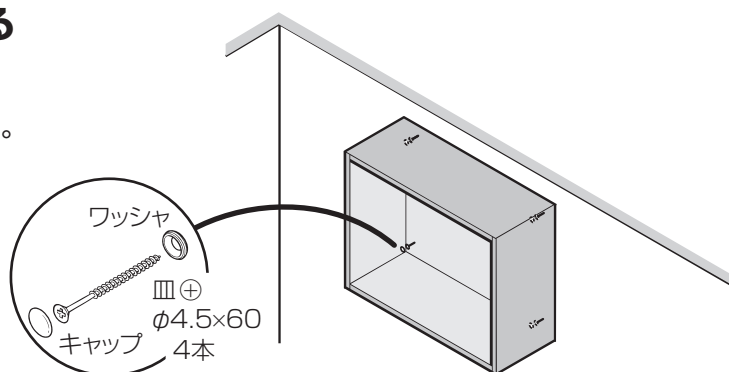
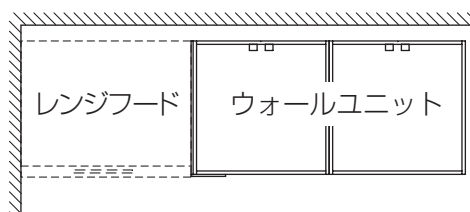
3. ウォールユニットの後板に固定用穴をあける

取付部品箱に付属のウォールユニット取付治具を使用して、下穴（ $\phi 4.0\text{mm}$ 、深さ15mm程度）をあけてください。



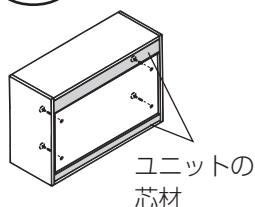
4. ウォールユニットを壁面固定する

- ① ウォールユニットを壁面固定する。
必ず下地棧に、指定のねじで固定してください。

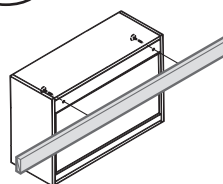


右記のような取り付けかたはしない。

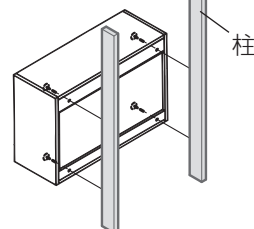
例1 位置誤り



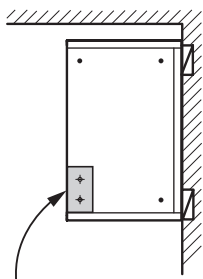
例2 必要数でない



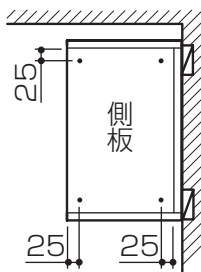
例3 下地棧でない



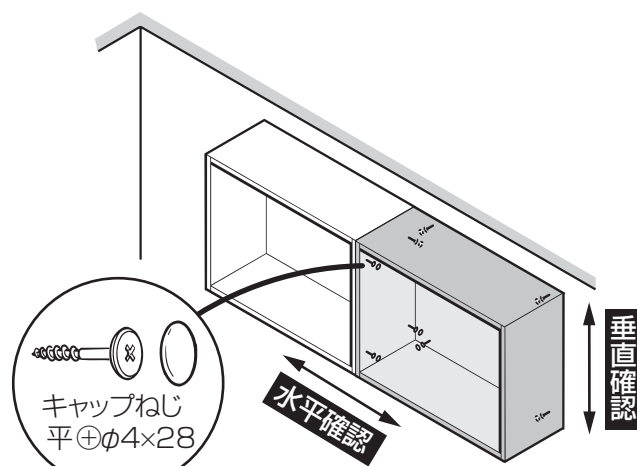
- ② ウォールユニットを連結してから、壁面固定する。
壁面に固定してから連結すると、ユニット接合部分に不具合が出ます。



取付部品箱に付属のウォールユニット取付治具を使用して、下穴(φ4.5 mm)をあけてください。



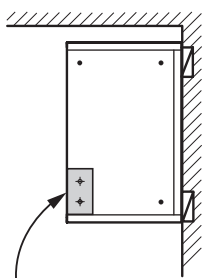
連結位置(4か所)



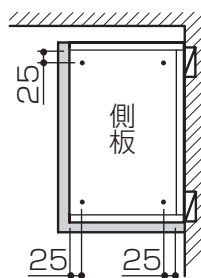
ユニットの連結
(隣がユニットの場合)

5. エンドパネルの取り付け

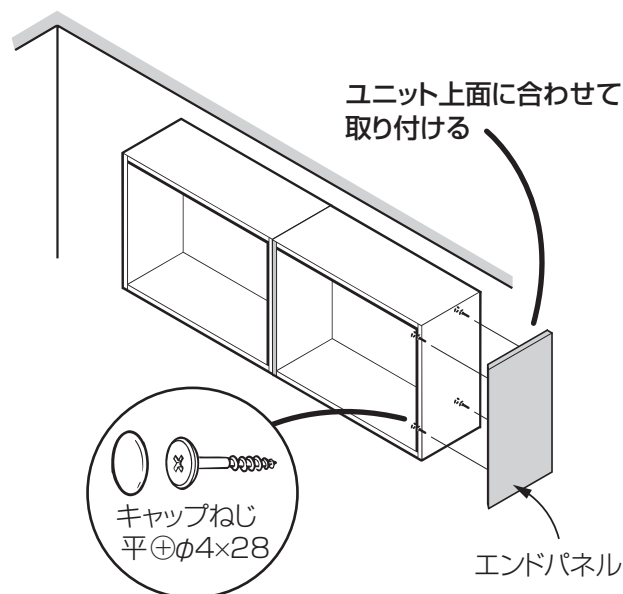
ユニット内側から付属のキャップねじでエンドパネルを取り付け、キャップを取り付ける。



取付部品箱に付属のウォールユニット取付治具を使用して、下穴(φ4.5 mm)をあけてください。



固定位置(4か所)

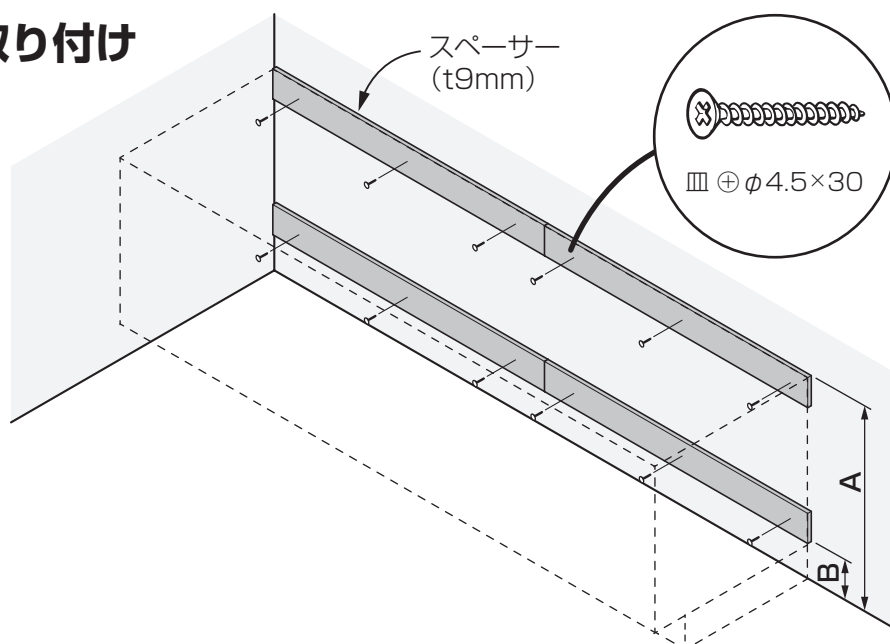


2 フロアユニットの取り付け

1. スペースの取り付け

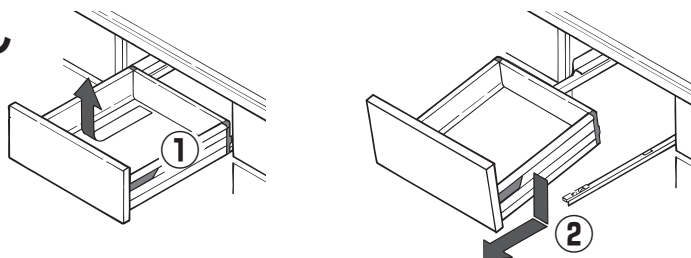
スペーサー (t9mm) を壁面にねじ固定する。

	H850プランの場合	H900プランの場合
A	820	870
B	267	317



2. フロアユニットの引出しの取り外し

- ① いっぱいまで引き出し、持ち上げる。
- ② いったんそのまま降ろし、引き抜く。



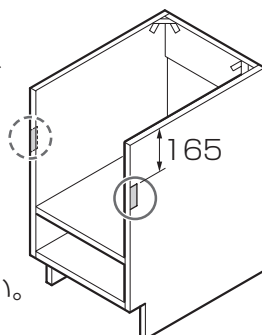
3. フロアユニットの穴加工

- ① 必要に応じた配管・配線の取出し穴をあける。
 ※輸入食洗機を設置する場合は、食洗機と隣接するユニットの食洗機側の側板奥下を切り欠いてください。
 ※横引き配管の場合は、配管の通る各フロアユニットの側板奥下を切り欠いてください。
 ※切り欠き寸法など詳細は、別紙の切り欠き寸法参考図をご参照ください。
- ② ねじ固定位置に、あらかじめ下穴 (φ4.5mm、深さ15mm程度) 加工する。
 ※詳細は、設備図や次ページ以降の記載をご参照ください。

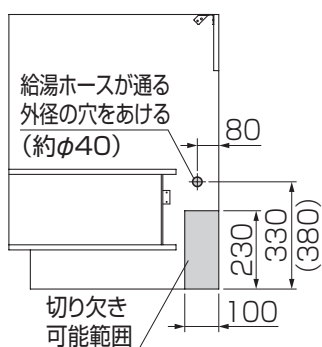
浅型食洗機を設置するユニットには以下の作業をしてください

■食洗機上設置

- ① 側板の外側に、同梱のシールを縦向き・前面合わせで貼り付ける。
 ※外観上、シールの貼り付けが必要です。
 ※手掛け部の色に合わせてシールの色を選んでください。



- ② シンク下ユニット側の側板に、給湯ホースを通す穴をあける。
 ※シンク下ユニットの側板にも、同じ位置に穴をあけてください。
 ※ () はH900プランの場合です。

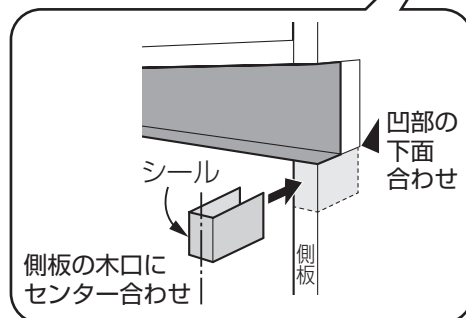
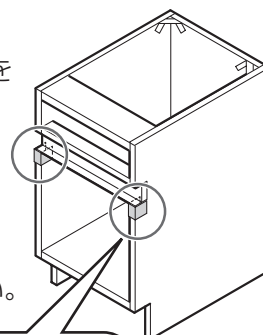


<側面図>

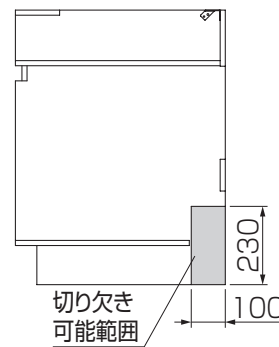
- ③ シンク下ユニット側の側板奥下を切り欠く。
 ※シンク下ユニット・台輪フロートユニットの食洗機側の側板奥下も同じ位置で切り欠いてください。

■食洗機下設置

- ① 下図の位置に、同梱のシールを横向き・コの字形にして貼り付ける。
 ※外観上、シールの貼り付けが必要です。
 ※手掛け部の色に合わせてシールの色を選んでください。



- ② シンク下ユニット側の側板奥下を切り欠く。
 ※シンク下ユニット・台輪フロートユニットの食洗機側の側板奥下も同じ位置で切り欠いてください。



<側面図>

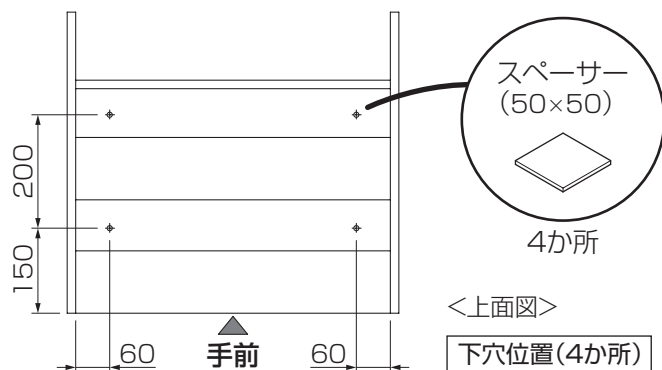
深型食洗機を設置するユニットには以下の作業をしてください

シンク下ユニット側の側板奥下を切り欠く。
※シンク下ユニット・台輪フロートユニットの食洗機側の側板奥下も同じ位置で切り欠いてください。



不陸調整のため、現場の状況に応じて台輪フロートユニットに以下の作業をしてください

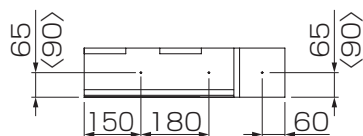
- ① 台輪フロートユニットの底板に下穴をあける。
- ② 穴をあけた位置に、底板裏面から両面テープなどでスペーサーを貼り付ける。



4. 化粧側板の取り付け

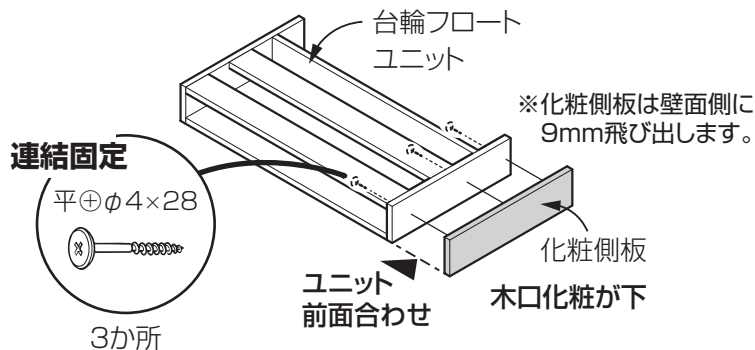
片側オープンプランの場合は、台輪フロートユニットのオープン側の側板に化粧側板を取り付ける。

※台輪フロートユニット側板の貫通穴を使用してください。



※〈 〉内寸法はH900の場合

連結位置(3か所)



食洗機なし または 浅型食洗機・深型食洗機を設置する場合

5. 台輪一体ユニットと台輪フロートユニットの取り付け

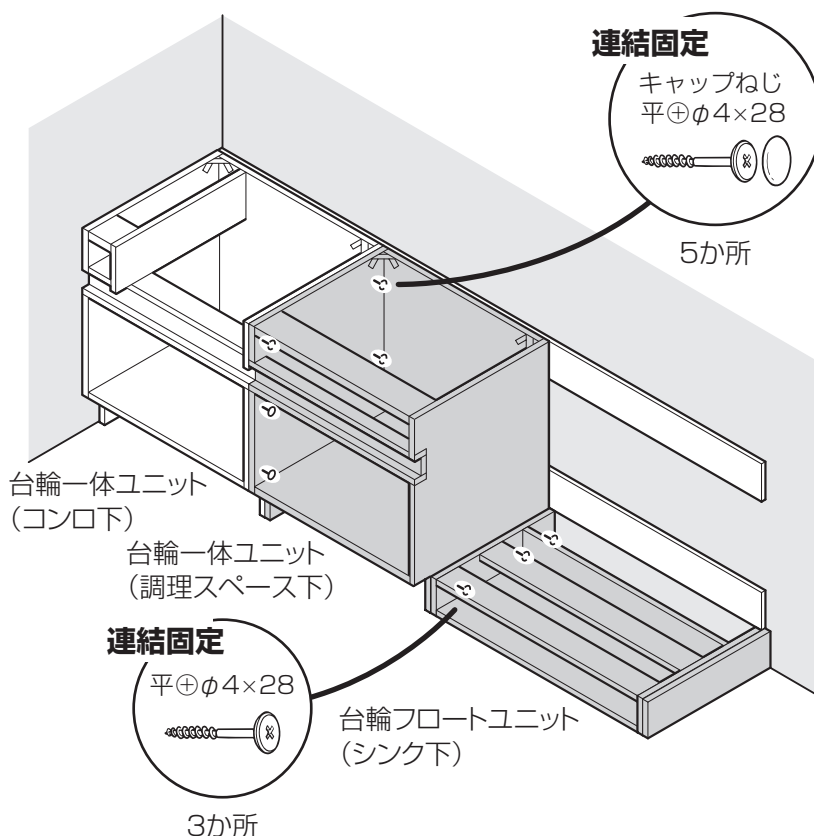
台輪一体ユニット・台輪フロートユニットを設置し、左右連結する。

※台輪一体ユニットに隣接する中央ユニットの側板に $\phi 4.5\text{mm}$ 、深さ15mm程度の下穴をあけてください。

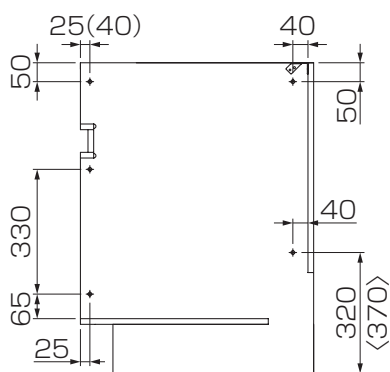
※台輪フロートユニットがある場合は、台輪フロートユニット側板の貫通穴を使用して、台輪フロートユニット側から左右連結固定してください。

※食洗機ユニットからは連結固定せず、隣のユニット側から左右連結固定してください。

※シンク下ユニットの幕板上部に梱包補強用板が前後に取り付けられていますので、外してから連結固定してください。補強板は現場破棄してください。



台輪一体ユニット

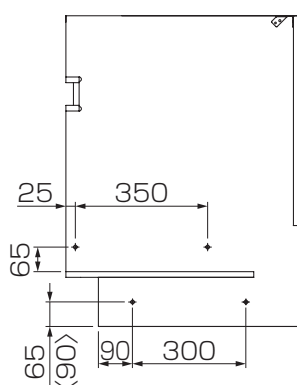


<側面図>

※ () 内寸法はシンク下の場合
 < > 内寸法はH900の場合

連結位置(5か所)

深型食洗機ユニットと隣接する場合

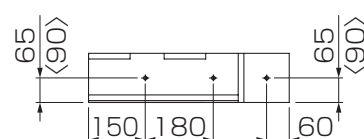


<側面図>

※ < > 内寸法はH900の場合

連結位置(4か所)

台輪フロートユニット



<側面図>

※ < > 内寸法はH900の場合

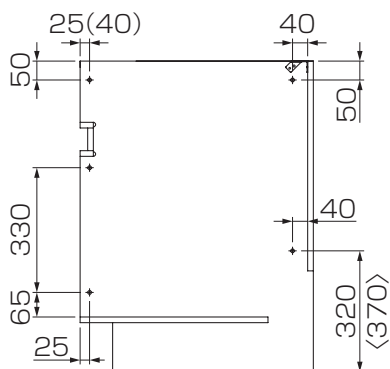
連結位置(3か所)

6. 台輪分離ユニットの取り付け

- ① 台輪分離ユニットを台輪フロートユニットの上に設置し、左右連結する。

※ $\phi 4.5$ mm、深さ15mm程度の下穴をあけてください。

※食洗機ユニットからは連結固定せず、隣のユニットから左右連結固定してください。

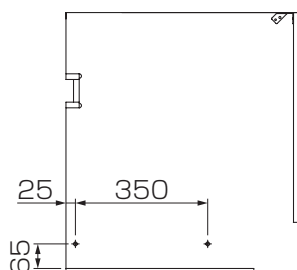


<側面図>

※ () 内寸法はシンク下の場合
 < > 内寸法はH900の場合

連結位置(5か所)

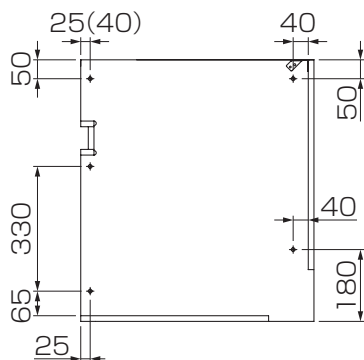
深型食洗機ユニットと隣接する場合



<側面図>

連結位置(2か所)

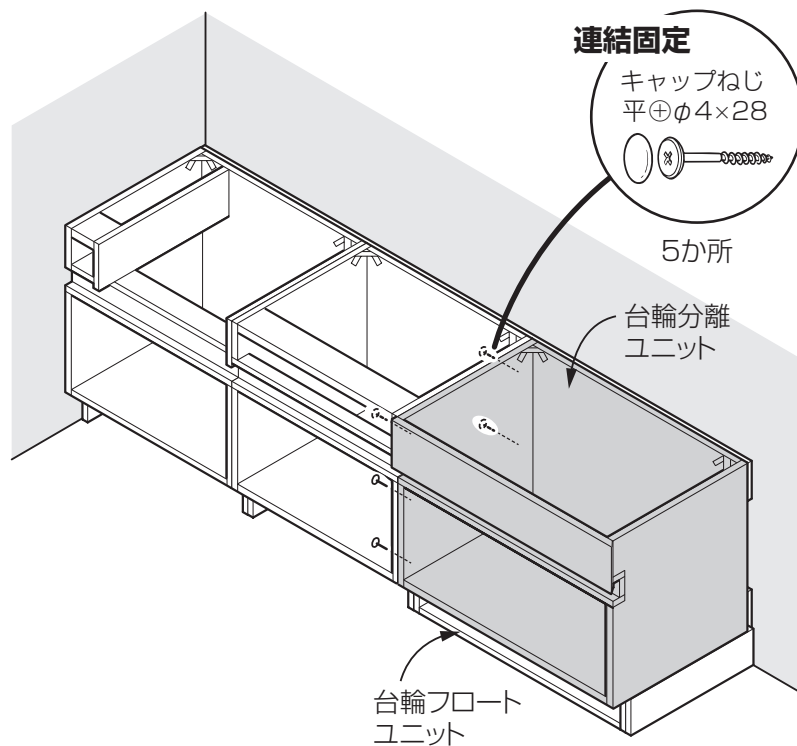
浅型食洗機ユニットと隣接する場合



<側面図>

※ () 内寸法はシンク下の場合

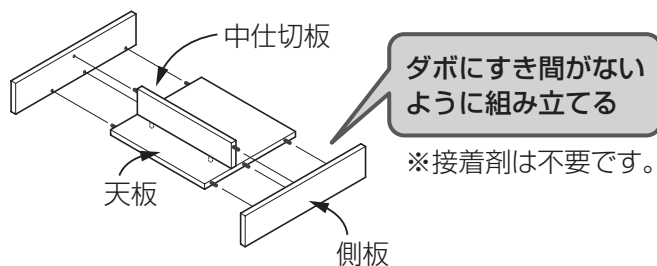
連結位置(5か所)



輸入食洗機を設置する場合

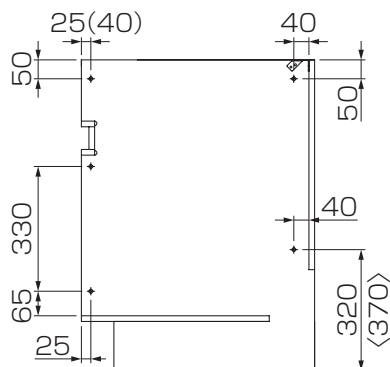
5. 台輪一体ユニットの取り付け

- ① 位置出しユニットを組み立てる。



- ② シンク下ユニット以外の台輪一体ユニットを左右連結する。

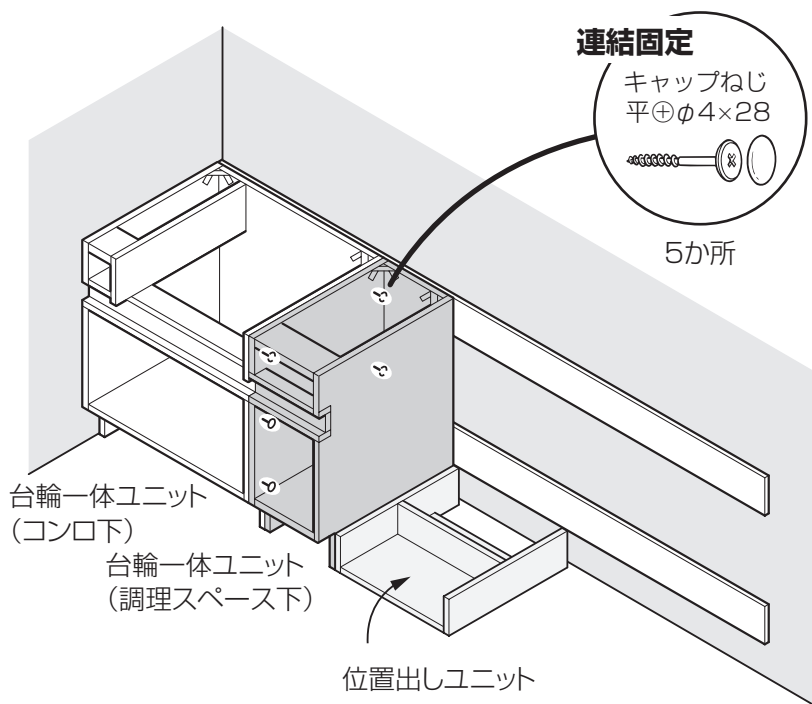
※台輪一体ユニットに隣接する中央ユニットの側板に $\phi 4.5\text{mm}$ 、深さ15mm程度の下穴をあけてください。



<側面図>

※ () 内寸法はシンク下の場合
 < > 内寸法はH900の場合

連結位置(5か所)

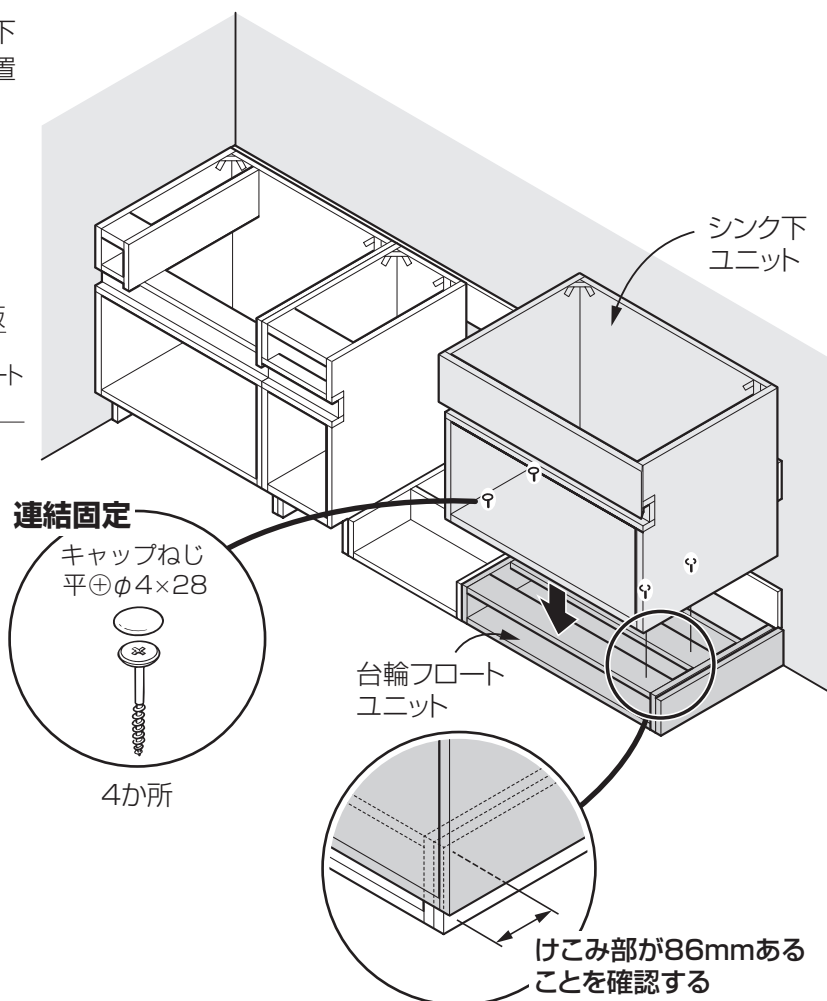
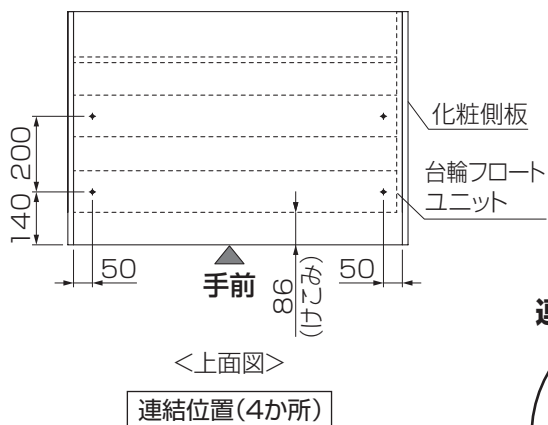


- ③ 輸入食洗機が入るスペースに位置出しユニットを仮置きする。

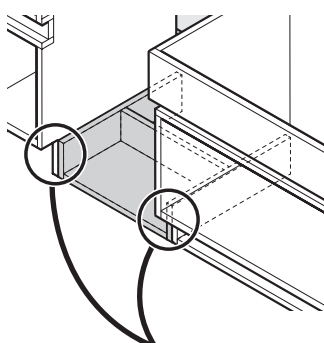
6. 台輪分離ユニットの取り付け

- ① 片側オープンプランの場合は、シンク下ユニットと台輪フロートユニットを位置出しして設置し、上下連結する。

※ $\phi 4.5$ mm、深さ15mm程度の下穴をあけてください。

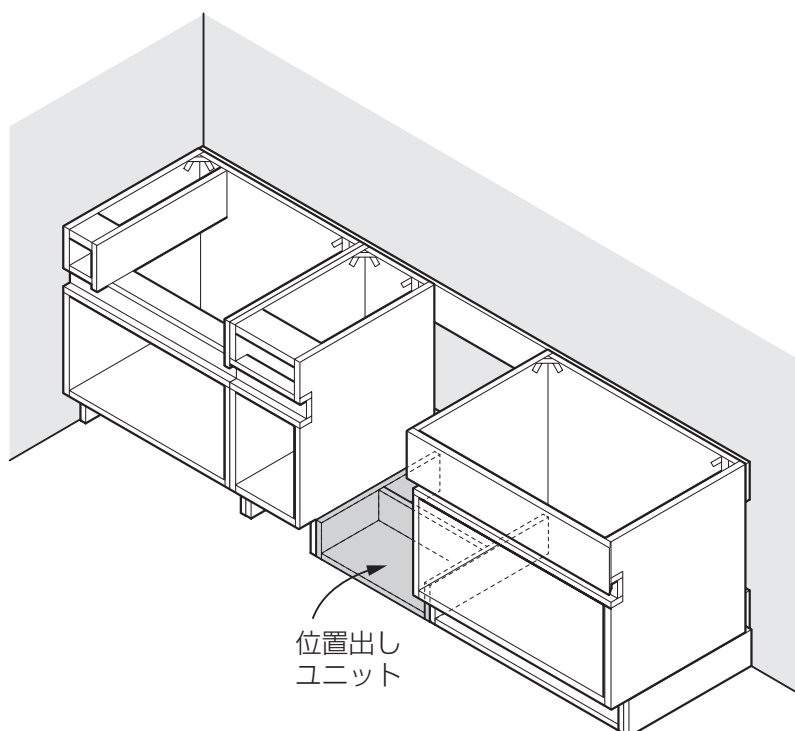


- ② 位置出しユニットを両側のユニットとクランプで仮固定する。



C型クランプ

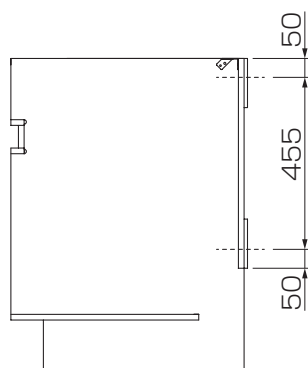
位置出しユニットを取り外すまで、C型クランプで両隣のユニットと固定したまま作業してください。



7. フロアユニットの壁面固定

ユニット後板と壁面を壁面固定する。

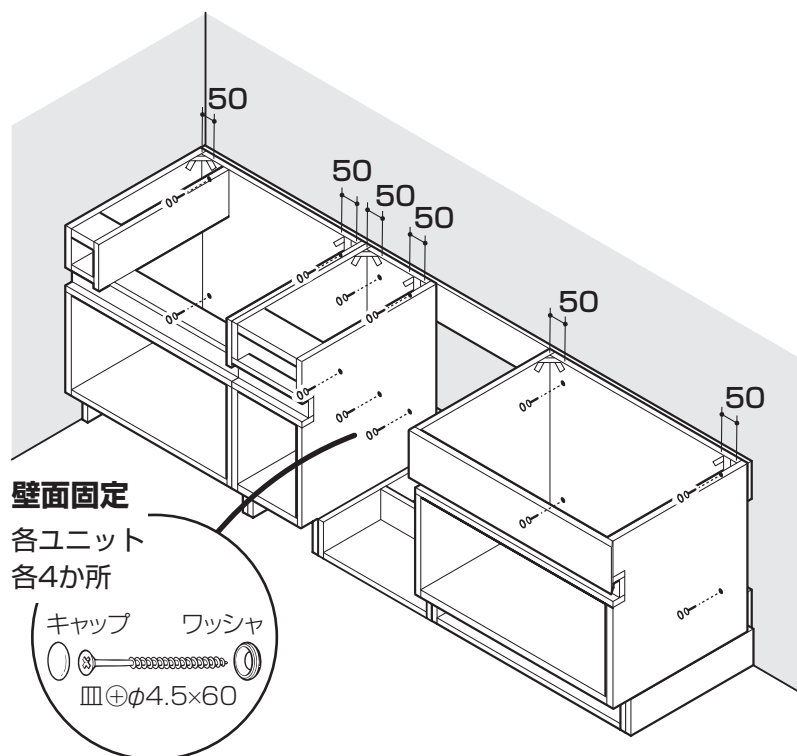
※ $\phi 4.5$ mm、深さ15mm程度の下穴をあけてください。



<側面図>

※横方向は内寸50mm

連結位置(4か所)



壁面固定

各ユニット
各4か所

キャップ ワッシャ
皿+ $\phi 4.5 \times 60$

3 エンドパネルの取り付け

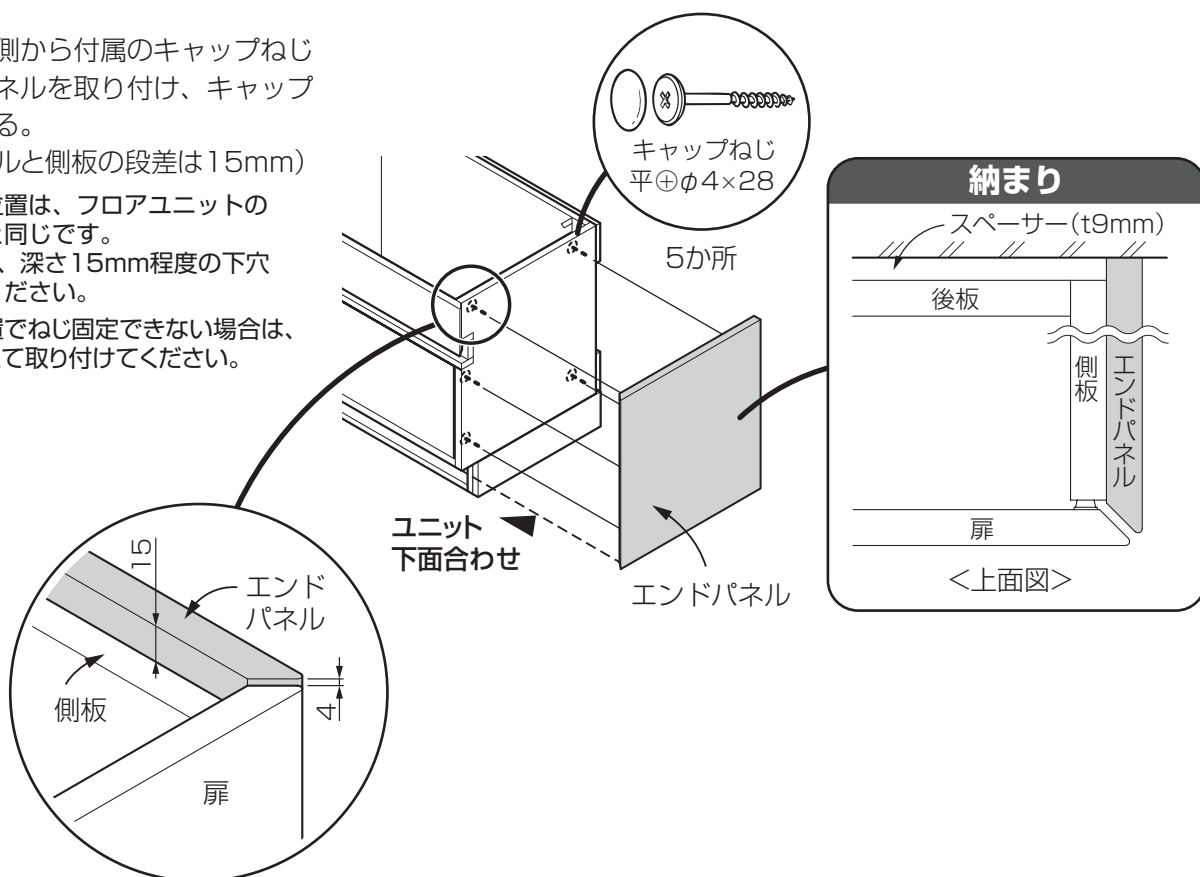
ユニット内側から付属のキャップねじでエンドパネルを取り付け、キャップを取り付ける。

(エンドパネルと側板の段差は15mm)

※ねじ固定位置は、フロアユニットの左右連結と同じです。

$\phi 4.5$ mm、深さ15mm程度の下穴をあけてください。

※指定の位置でねじ固定できない場合は、位置を変えて取り付けてください。

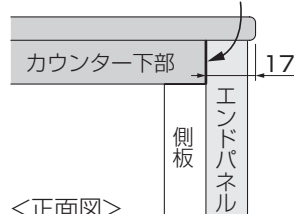


4 カウンターの取り付け

- ① シンク下ユニットにφ3の下穴をあけ、金具A(丸穴側)を取り付ける。
(左右の側板と後板中央に各1個)
- ② コンロ下ユニット、調理スペース下ユニットのユニット本体にねじ固定する個所には、φ4.5mm、深さ15mm程度の下穴をあける。
- ③ フロアユニットにカウンターを載せる。
- ④ カウンターとフロアユニットの位置を合わせる。

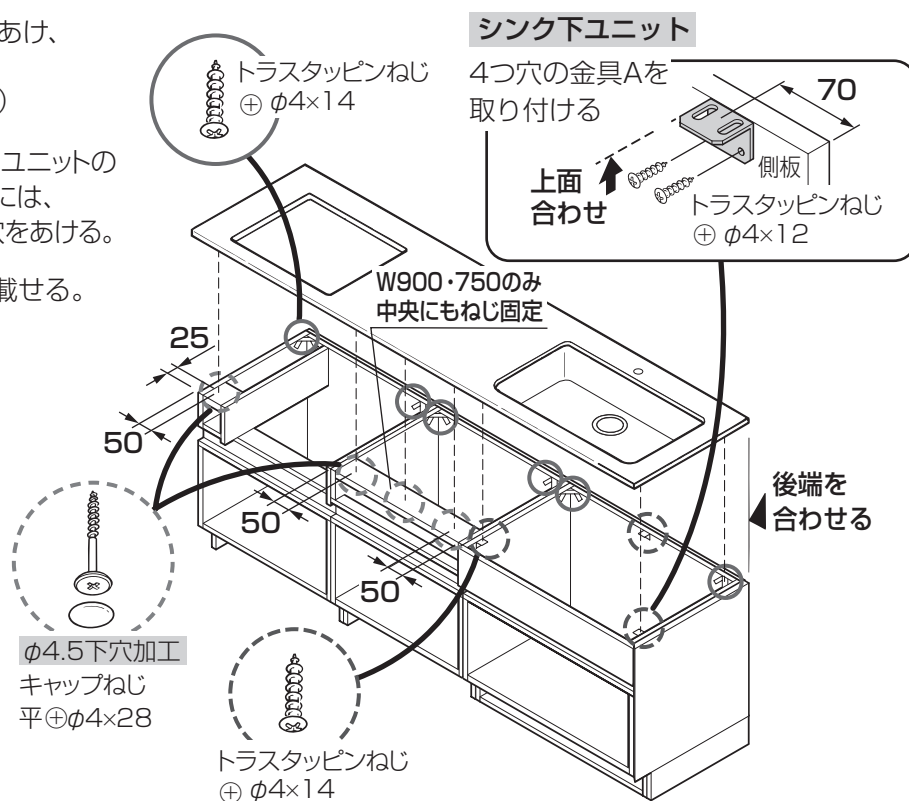
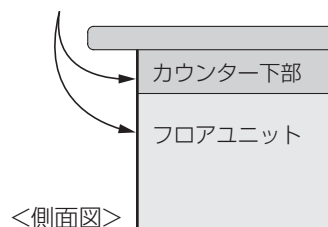
左右の位置調整

エンドパネルプランの場合は、
カウンター下部の側面をエンド
パネル裏面に当ててください。



前後の位置調整

カウンター下部の前面を、
フロアユニット前面よりも後ろに
下げないようにしてください。

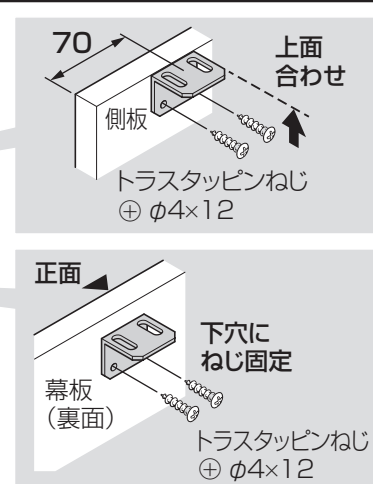
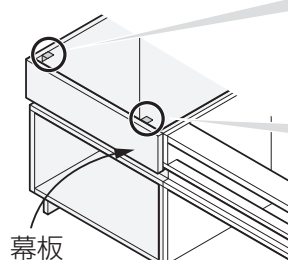


- 浅型食洗機下設置する個所のフロアユニットは、後部のカウンターとの
ねじ固定は不要です。
- 2100・2250プランで食洗機と
グリル有コンロ機器を設置する場合
のみ、コンロ下ユニットの側板に
金具Cを取り付けてください。
(右図参照)
- ※金具Cは長辺側を上面にして固定
してください。
- 
- 上面
合わせ
- 側板
- 食洗機側
- 5
- トラスタッピンねじ
⊕ φ4×12



- ⑤** フロアユニット後部の固定金具、前部の固定金具の順で固定する。
※ねじはすき間なく締め付けてください。すき間があると、がたつきの原因となります。
- ⑥** 位置出しユニットを取り外す。
(輸入食洗機を設置する場合のみ)

- グリルレス機器用コンロ下ユニットの場合は、幕板裏面の下穴と側板に、金具Aを2か所取り付け、カウンター固定してください。(右図参照)

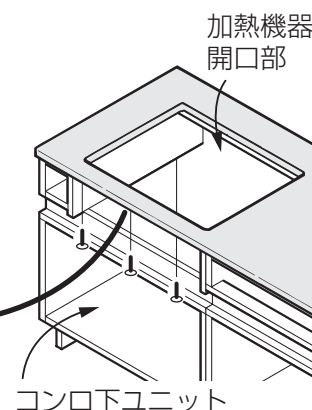
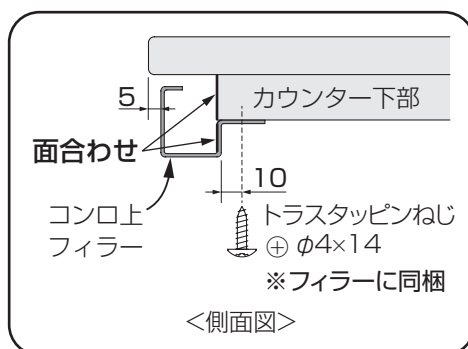


5 コンロ上フィラーの取り付け

コンロ下ユニットのカウンター下部に、コンロ上フィラーを取り付ける。(ねじ3か所)

※加熱機器開口部に対して、センター合わせで取り付けてください。

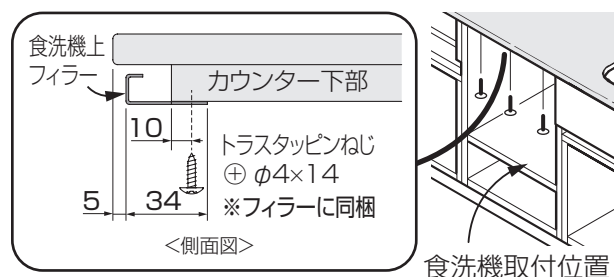
※φ3mmの下穴をあけてください。



6 <オプション>食洗機の取り付け

■浅型食洗機（上設置）または深型食洗機の場合

- ① 設置位置のカウンター下部に、食洗機上フィラーを取り付ける。(ねじ3か所)
※食洗機の取付位置に対して、センター合わせで取り付けてください。
※φ3mmの下穴をあけてください。
- ② 食洗機本体の取り付けは、食洗機に付属の説明書および本説明書の57～58ページに従い、正しく設置してください。
(浅型食洗機…57ページ、深型食洗機…58ページ)



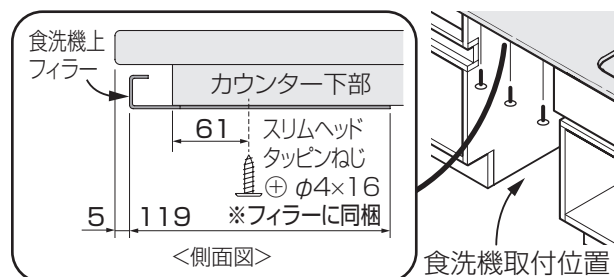
食洗機取付位置

■浅型食洗機（下設置）の場合

浅型食洗機に付属の説明書および本説明書の57ページに従い、正しく設置してください。

■輸入食洗機設置の場合

- ① 設置位置のカウンター下部に、食洗機上フィラーを取り付ける。(ねじ3か所)
※食洗機の取付位置に対して、センター合わせで取り付けてください。
※φ3mmの下穴をあけてください。
- ② 食洗機本体の取り付けは、食洗機に付属の説明書に従い、正しく設置してください。



食洗機取付位置

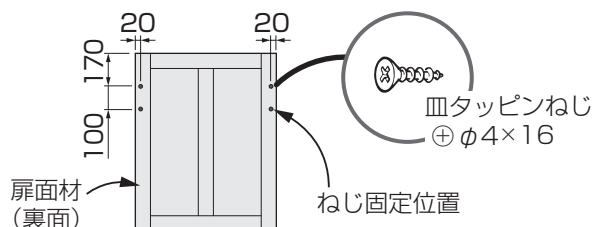
輸入食洗機用 扉面材について

裏面から、フィラーに同梱の皿タッピン⊕φ4×16でねじ固定してください。(4か所)

※φ3mmの下穴をあけてください。

※皿加工し、ねじ頭が飛び出ないようにしてください。

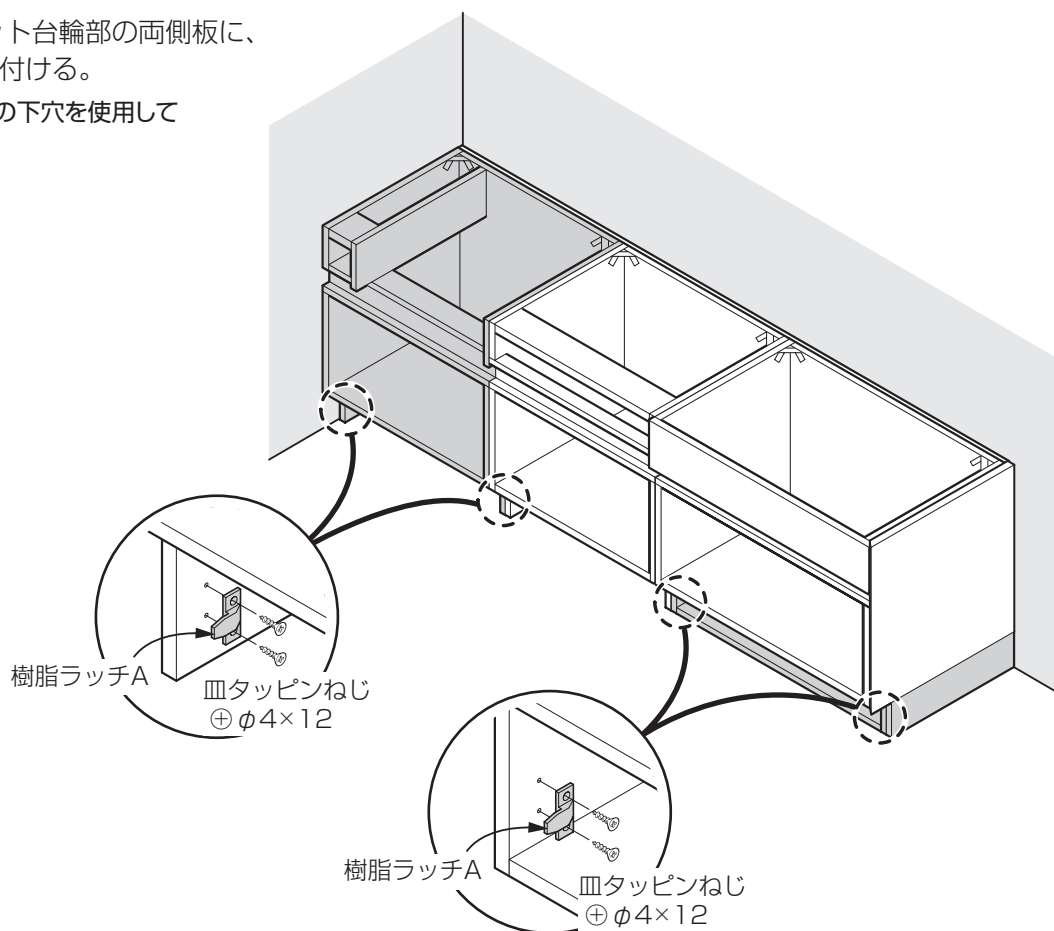
※締め付けすぎると、ねじが表面から飛び出るためご注意ください。



7 化粧前板の取り付け

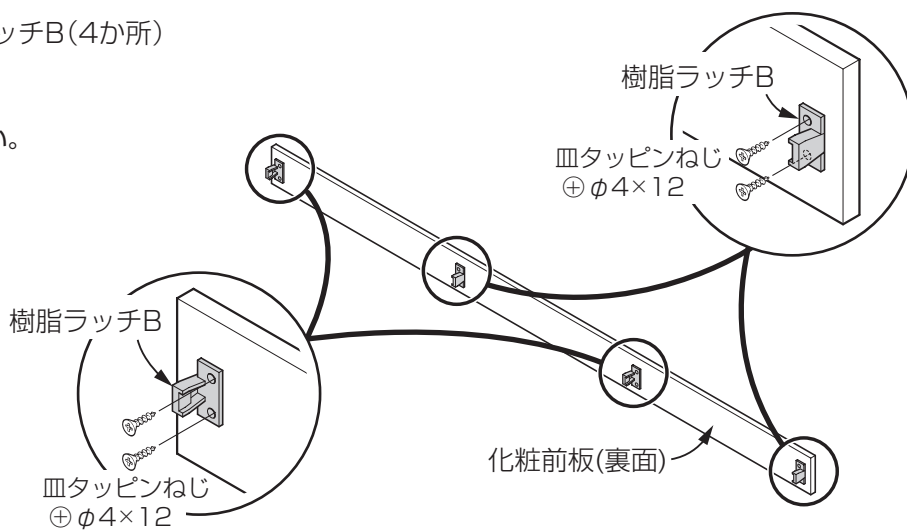
- ① プラン両端のユニット台輪部の両側板に、樹脂ラッチAを取り付ける。

※ユニット台輪部側板の下穴を使用して
ください。



- ② 化粧前板裏面の下穴に、樹脂ラッチB(4か所)をねじ固定する。

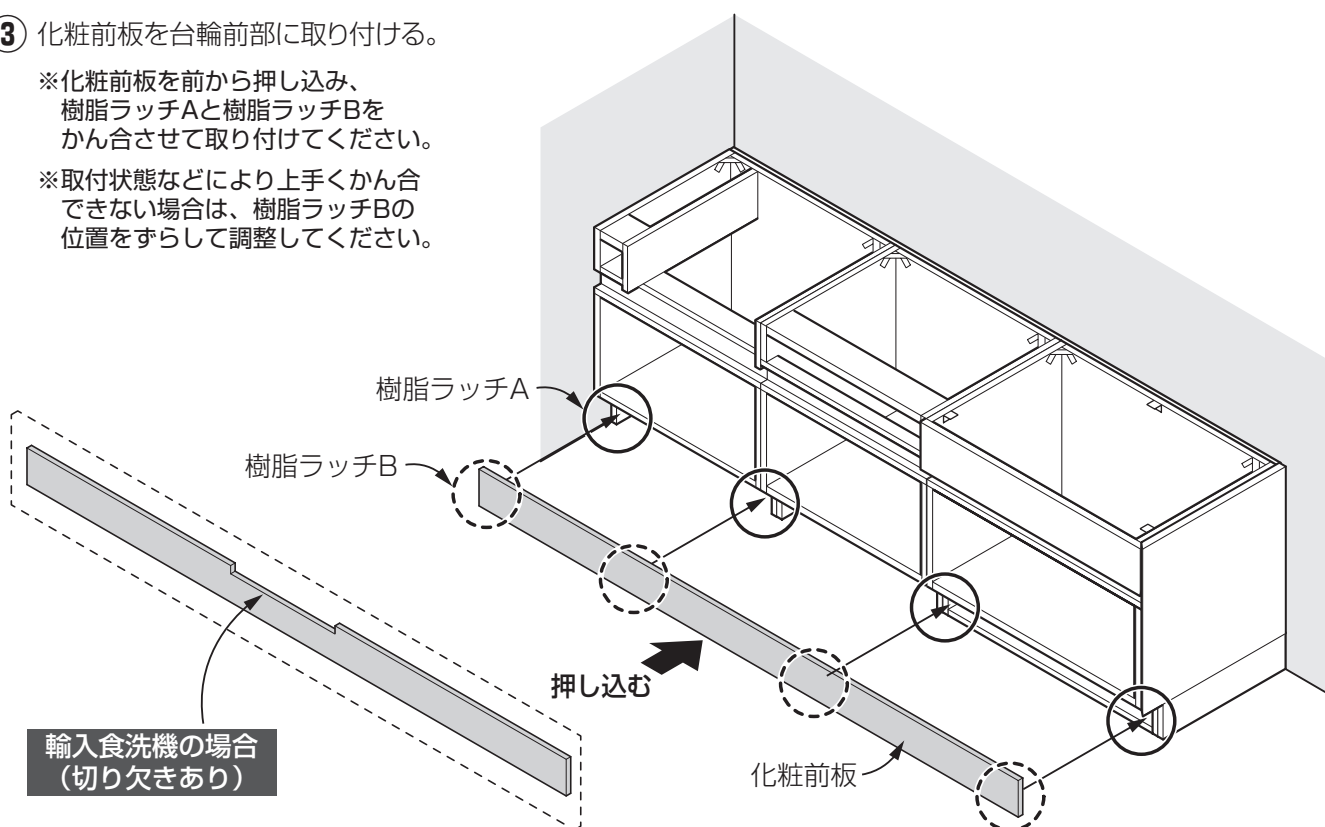
※組み立てた台輪の前面に仮置きし、
取付位置と向きを確認してください。



③ 化粧前板を台輪前部に取り付ける。

※化粧前板を前から押し込み、
樹脂ラッチAと樹脂ラッチBを
かん合させて取り付けてください。

※取付状態などにより上手くかん合
できない場合は、樹脂ラッチBの
位置をずらして調整してください。

**8** 水栓金具の取り付け

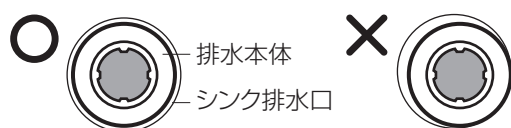
水栓金具に付属の説明書に従い、正しく設置してください。

9 排水トラップの取り付け

1. 排水本体・平パッキンをシンクの上から差し込み、トラップ固定ナットを手で仮締めする。
2. ① 排水本体の出口にエルボを奥まで差し込み、ホースナットを手締めで締め付ける。
※ホースナットを完全に締め付ける前に、もう一度エルボを押し込んでください。

ポイント

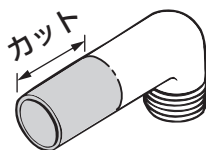
排水本体は、シンク排水口の中心に取り付けてください。



- ② エルボにSトラップを差し込み、手締めで固定する。

3. エルボ長さを現場に合わせてカットする。

- 切り口が斜めになったり、波打ったりしないようにカットしてください。
- カット部のバリや切削粉を必ず取り除いてください。



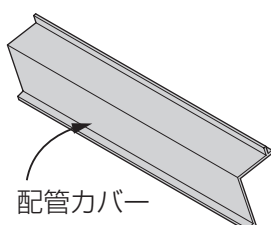
4. トラップ固定ナットを専用工具で固く締め付け、固定する。
※エルボがぐらつかないことを確認してください。



5. Sトラップのホース接続部に排水ホースを差し込み、G2袋ナットを締め付ける。

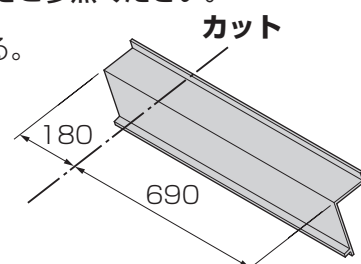
6. 配管カバーの取り付け ※以下の手順は代表例です。詳細は設備図をご参照ください。

- ① シンク下ユニットから、配管カバーを取り外す。



- ② 配管カバーをカットする。

※食洗機なし、または輸入食洗機プランの場合はカット不要です。



⚠ 注意

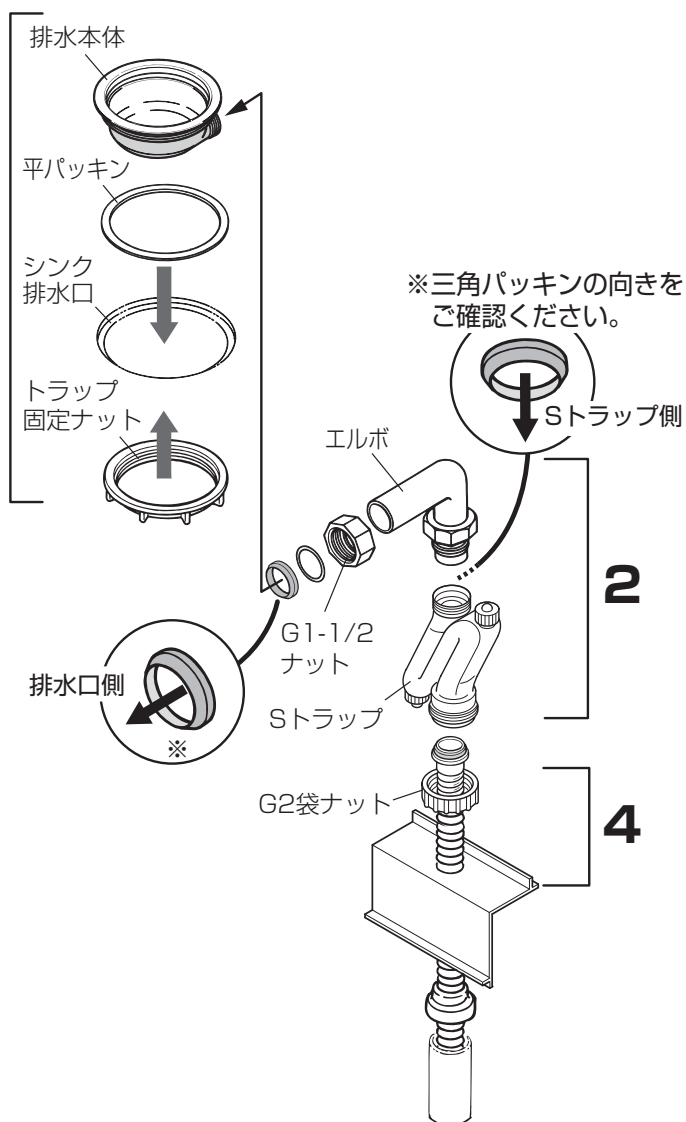


必ず守る

三角パッキンの向きを間違えない
水漏れなどの原因となります。

取り付け後、確実に取り付けられた
ことを必ず確認する
水漏れなどの原因となります。

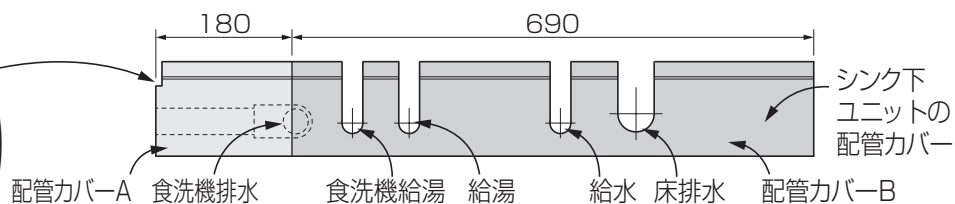
1



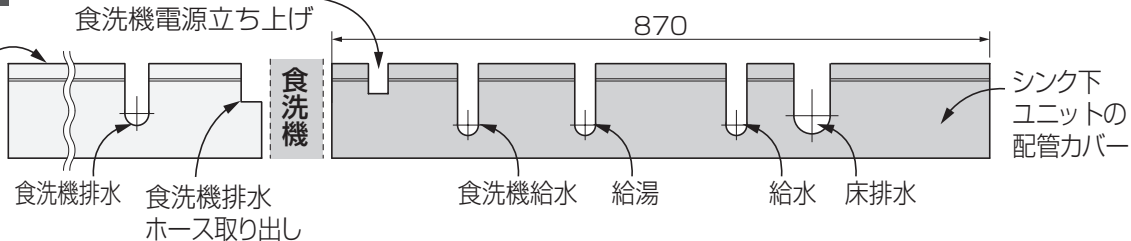
③ 穴加工をする。

※図は右シンクの場合です。

浅型食洗機・深型食洗機

食洗機電源立ち上げ
(給水ホース取り出し
※食洗機下設置・
深型食洗機の場合)

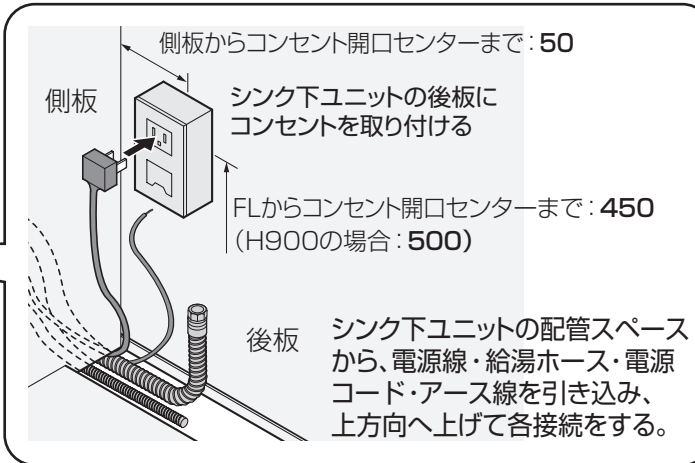
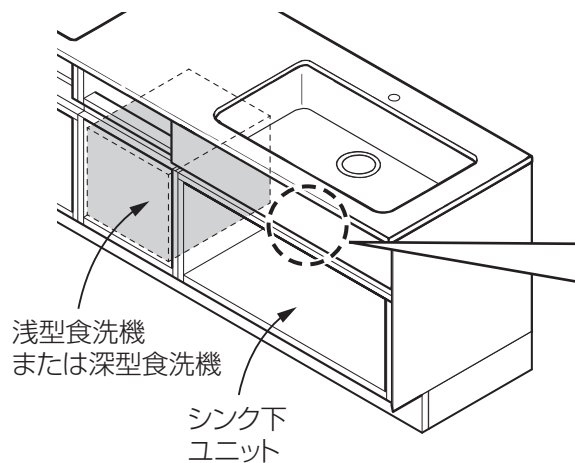
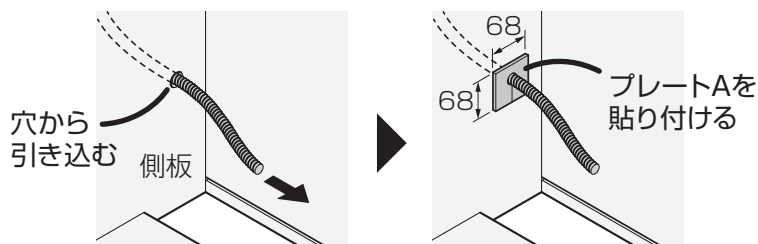
輸入食洗機

給水ホース取り出し・
食洗機電源立ち上げ調理スペース下
(またはコンロ下)
ユニットの配管
カバー

浅型食洗機・深型食洗機の給湯ホース・排水ホース・電源線・アース線について

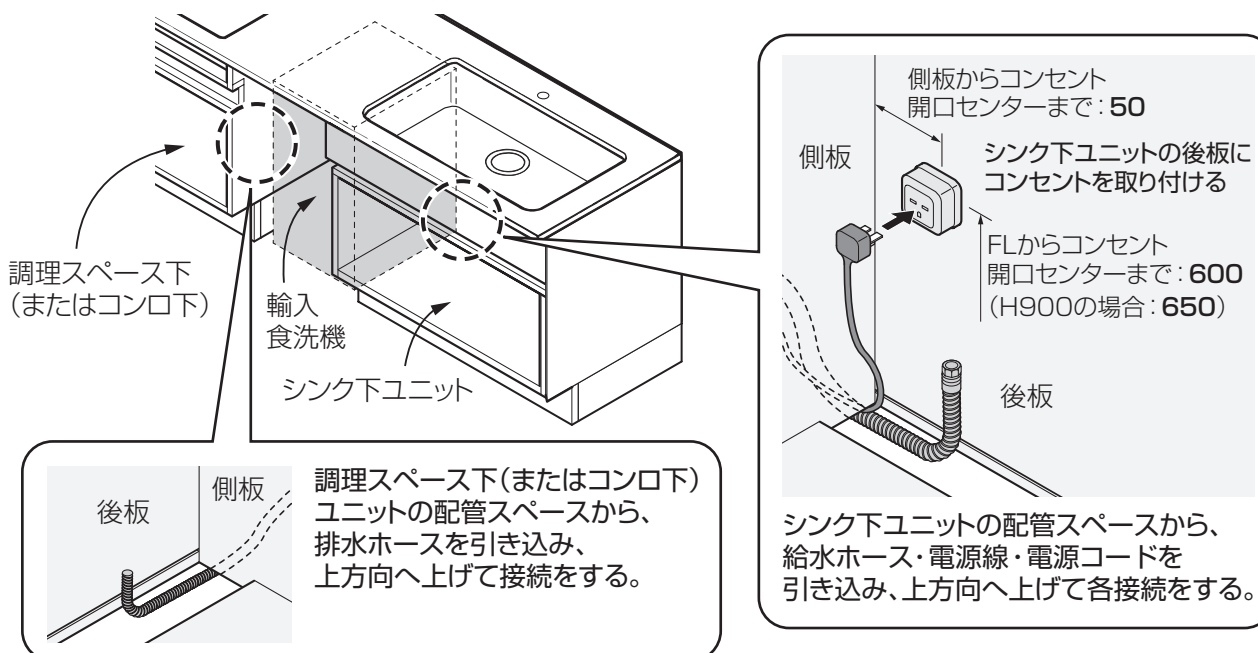
※輸入食洗機の場合は、次ページをご参照ください。

シンク下ユニットに、給湯ホース・排水ホース・電源線・電源コード・アース線を引き込んでください。(設備参考図参照)

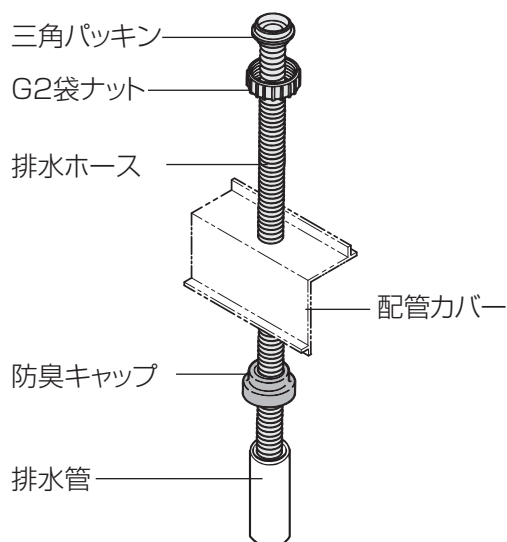
※浅型食洗機上設置の給湯ホースのみ、
側板にあけた穴から引き込む。
(設備参考図参照)

輸入食洗機の給湯ホース・排水ホース・電源線について

シンク下ユニットに、給湯ホース・電源線・電源コードを引き込んでください。(設備参考図参照)

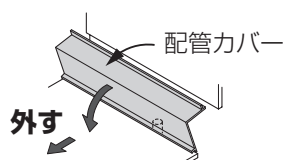


7. 排水ホースの取り付け



⚠ 注意	
禁止	排水ホースは排水管の底に当てたり、たるませて取り付けない 排水能力が低下してシンクから水があふれ、周囲を汚損するおそれがあります。ホースを適切な長さに切断してください。 二重トラップ状態で取り付けない。 10cm以上 離す
	配管カバー取付時、ジャバラホースから防臭キャップが外れないように注意する 必ず守る 防臭キャップと排水管の接続は接着剤またはシーリング材で必ずシールする シールが不完全な場合、湯気が上がり、ユニットや床などが腐るおそれがあります。

- ① 配管カバーを手前に倒してユニットから外す。

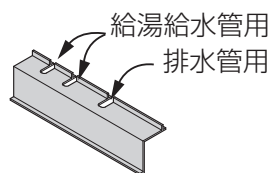


② 配管カバーに排水管の配管を通す切り欠きをあける。

※排水管の位置に合わせてあけてください。

※給湯給水管の位置に合わせてあけてください。

〈床立ち上げ配管の場合〉

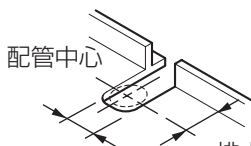


切り欠き寸法

※配管中心基準より

排水管：
45 mm以内

給湯給水管：
30 mm以内



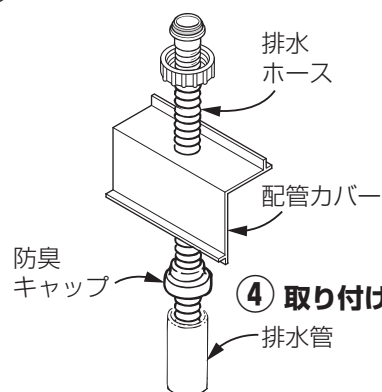
排水管：49 mm

給湯給水管：64 mm

③ 排水ホースを配管カバーに通す。 配管カバーには前後の方向があります。 ご注意ください。（裏面に「手前」の刻印あり）

- ④ 排水ホースを防臭キャップに差し込み、
ホースがたるまない位置まで調整する。
防臭キャップの溝にシーリング材を塗布して
排水管に確実に取り付け。
※排水ホースが長い場合は適切な長さに切断してください。
※排水管の中にゴミなどの異物が入っていないことを確認してください。
※必要に応じテープ止めなどを行い、確実に固定してください。

③ 取り付ける

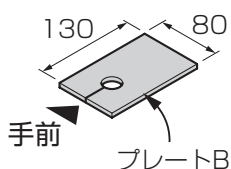


④ 取り付ける

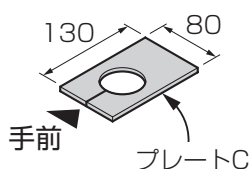
⑤ 配管カバーをユニットに取り付ける。

⑥ 付属のプレート在给湯・給水・排水管の配管カバー引き込み部に貼り付ける。 (大きい場合はカットする)

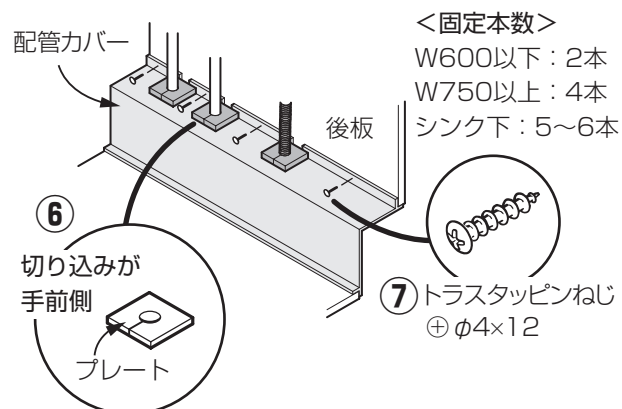
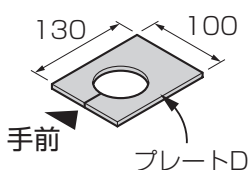
給水・給湯管用



排水管用 φ36



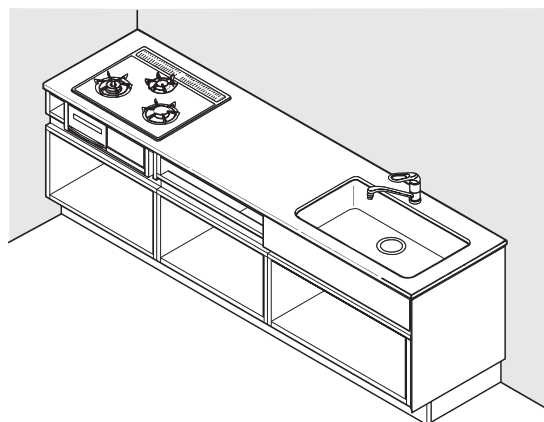
輸入食洗 排水用 φ50



- ⑦ 後板に下穴をあけ、配管カバーをねじ固定する。
※配管カバーの取り付けは水平を確保して取り付けてください。

10 機器の取り付け

加熱機器やその他の機器の取り付けは、それぞれの機器本体に付属の説明書に従い、正しく設置してください。

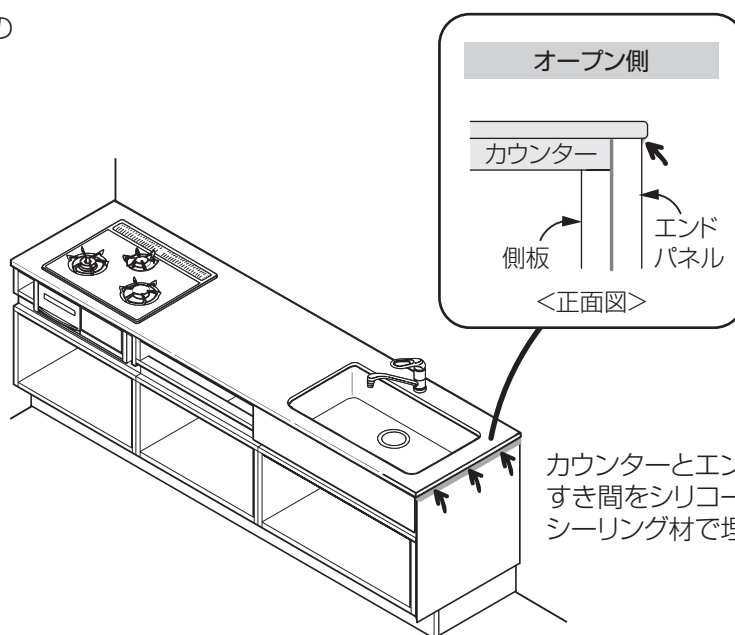


食洗機なし・浅型食洗機・深型食洗機

輸入食洗機

11 目地処理

オープン側のカウンターとエンドパネルのすき間をシリコン系シーリング材（現場調達）で埋める。



ウォール型ブライン

アイランド・ペニンシュラ型プラン〈パネルタイプ〉 [寸法単位: mm]

食洗機なし・浅型食洗機・深型食洗機

輸入食洗機

アイランド・ペニンシュラ型プラン〈パネルタイプ〉

取り付けかた

1 フロアユニットの取り付け

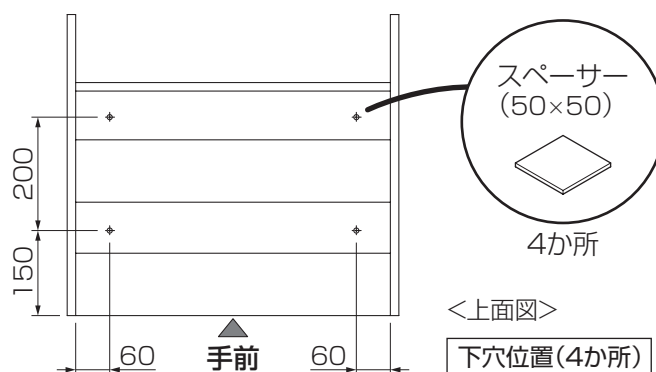
1. フロアユニットの引出しの取り外し

2. フロアユニットの穴加工

本説明書の「ウォール型プラン」11ページをご参照ください。

不陸調整のため、現場の状況に応じて台輪フロートユニットに以下の作業をしてください

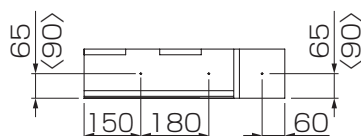
- ① 台輪フロートユニットの底板に下穴をあける。
- ② 穴をあけた位置に、底板裏面から両面テープなどでスペーサーを貼り付ける。



3. 化粧側板の取り付け

台輪フロートユニットのオープン側の側板に化粧側板を取り付ける。

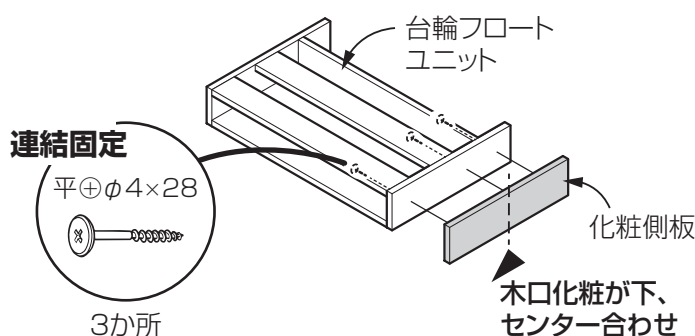
※台輪フロートユニット側板の貫通穴を使用してください。



側面図

※〈 〉内寸法はH900の場合

連結位置(3か所)



食洗機なし または 浅型食洗機・深型食洗機を設置する場合

4. 台輪一体ユニットと台輪フロートユニットの取り付け

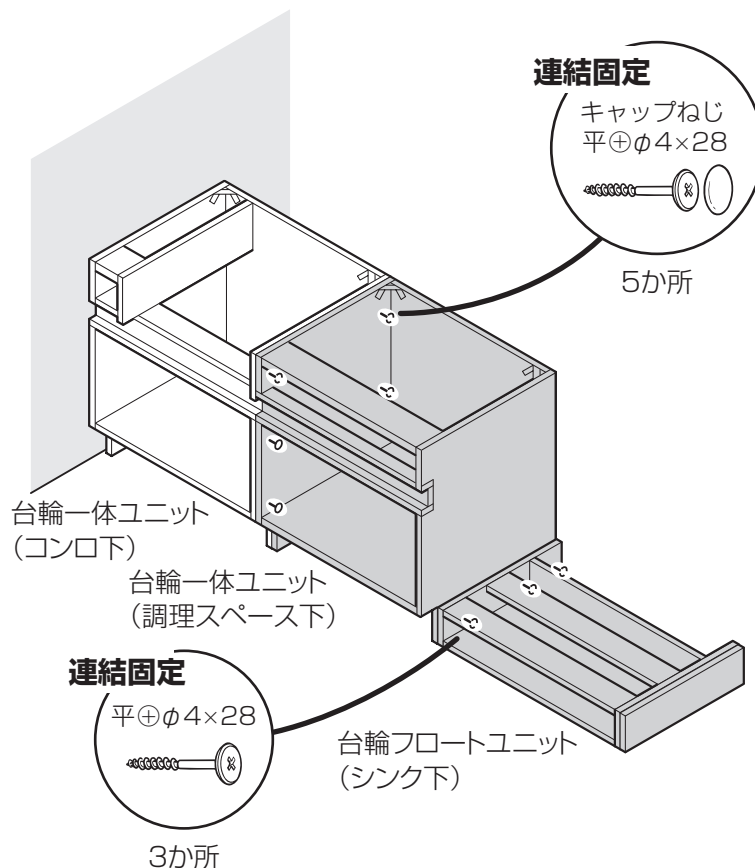
- ① 台輪一体ユニット・台輪フロートユニットを設置し、左右連結する。

※台輪一体ユニットに隣接する中央ユニットの側板に $\phi 4.5\text{mm}$ 、深さ15mm程度の下穴をあけてください。

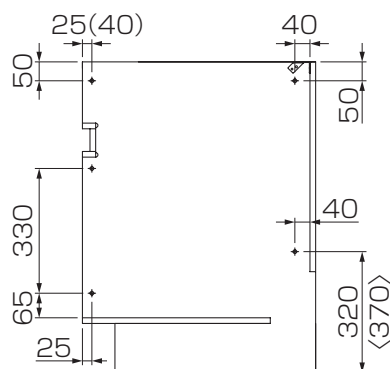
※台輪フロートユニットがある場合は、台輪フロートユニット側板の貫通穴を使用して、台輪フロートユニット側から左右連結固定してください。

※食洗機ユニットからは連結固定せず、隣のユニット側から左右連結固定してください。

※シンク下ユニットの幕板上部に梱包補強板が前後に取り付けられていますので、外してから連結固定してください。補強板は現場破棄してください。



台輪一体ユニット

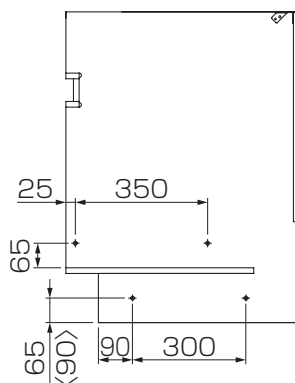


<側面図>

※ () 内寸法はシンク下の場合
 < > 内寸法はH900の場合

連結位置(5か所)

深型食洗機ユニットと隣接する場合



<側面図>

※ < > 内寸法はH900の場合

連結位置(4か所)

台輪フロートユニット

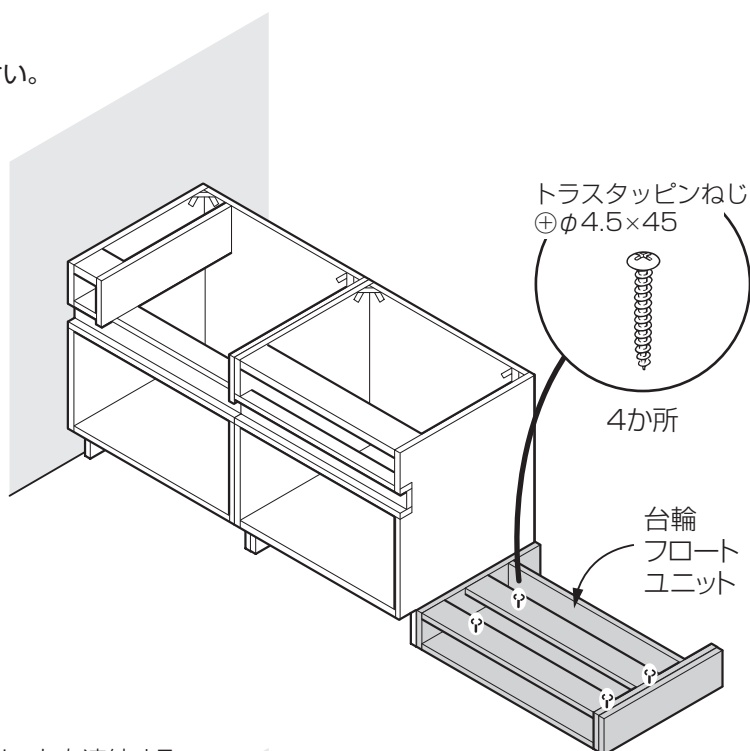
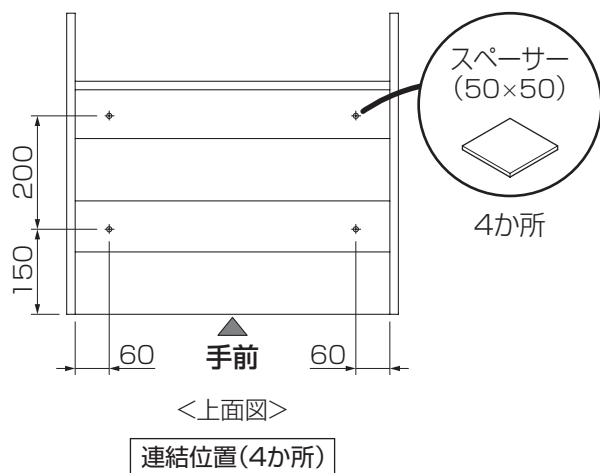


<側面図>

※ < > 内寸法はH900の場合

連結位置(3か所)

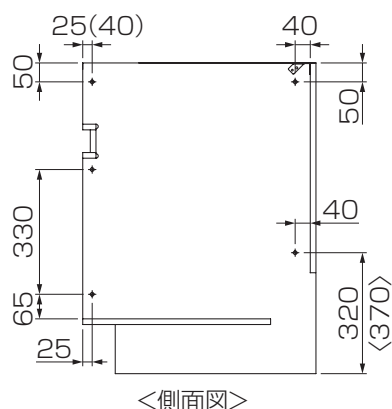
- ② 台輪フロートユニットを床固定する。
 ※ $\phi 4.5$ mm、深さ15mm程度の下穴をあけてください。
 ※現場の状況に応じて、穴をあけた位置に底板裏面から両面テープなどでスペーサーを貼り付けてください。



5. 台輪分離ユニットの取り付け

- ① 台輪分離ユニットを台輪フロートユニットの上に設置し、左右連結する。

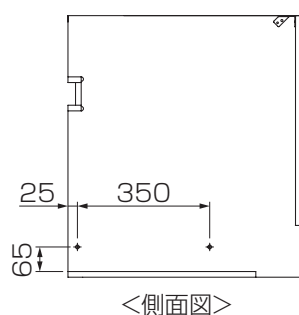
※台輪分離ユニットに隣接する中央ユニットの側板に $\phi 4.5$ mm、深さ15mm程度の下穴をあけてください。



※ () 内寸法はシンク下の場合
 < > 内寸法はH900の場合

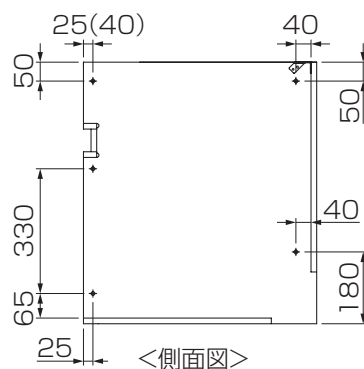
連結位置(5か所)

深型食洗機ユニットと隣接する場合



連結位置(2か所)

浅型食洗機ユニットと隣接する場合



※ () 内寸法はシンク下の場合

連結位置(5か所)

連結固定

キャップねじ
 平 $\oplus \phi 4 \times 28$

5か所

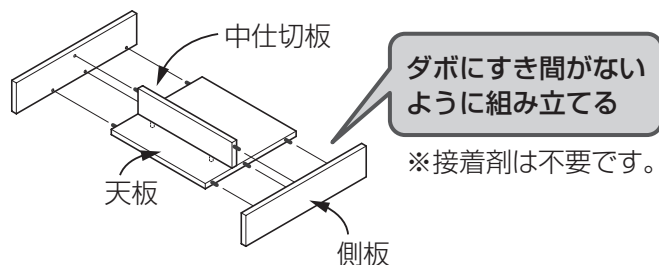
台輪分離
 ユニット

台輪フロート
 ユニット

輸入食洗機を設置する場合

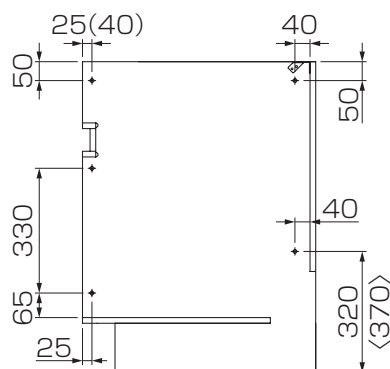
4. 台輪一体ユニットと台輪フロートユニットの取り付け

- ① 位置出しユニットを組み立てる。



- ② 台輪一体ユニット・台輪フロートユニットを左右連結する。

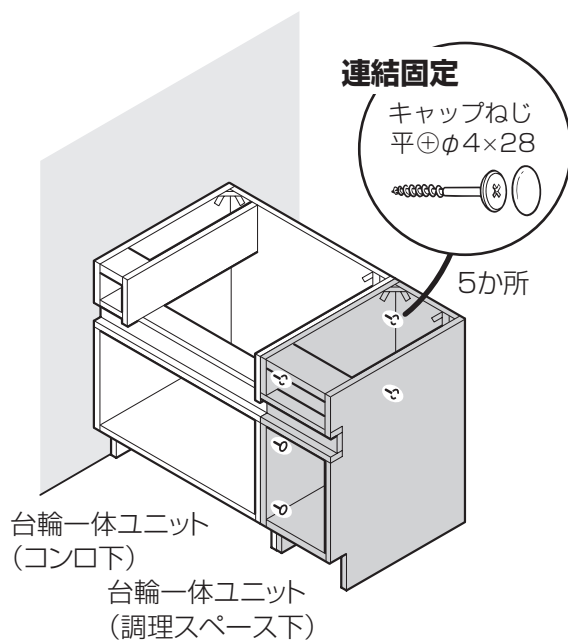
※ $\phi 4.5\text{mm}$ 、深さ15mm程度の下穴をあけてください。



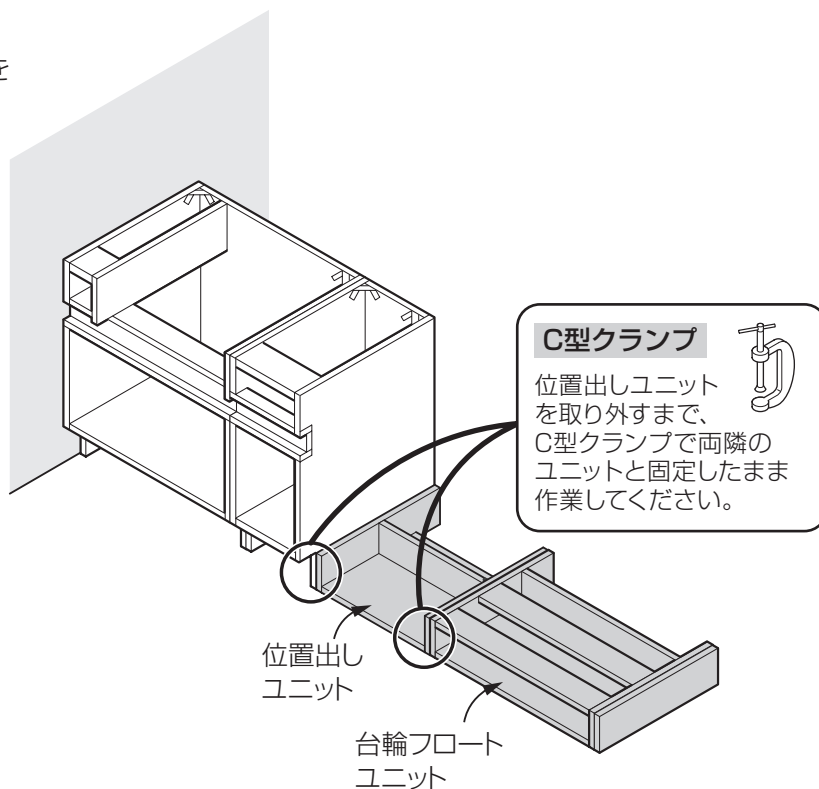
<側面図>

※（ ）内寸法はシンク下の場合
 〈 〉内寸法はH900の場合

連結位置(5か所)



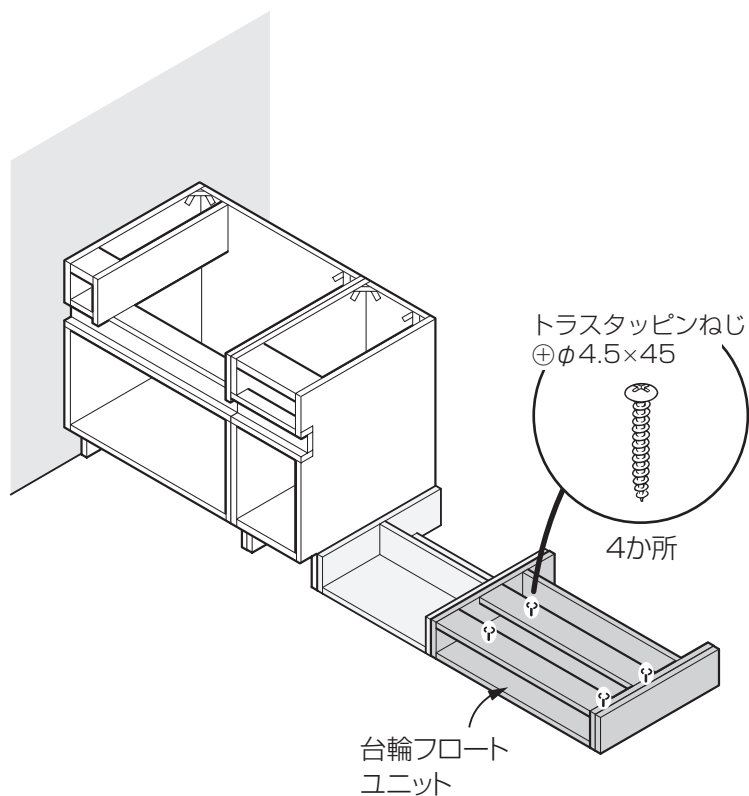
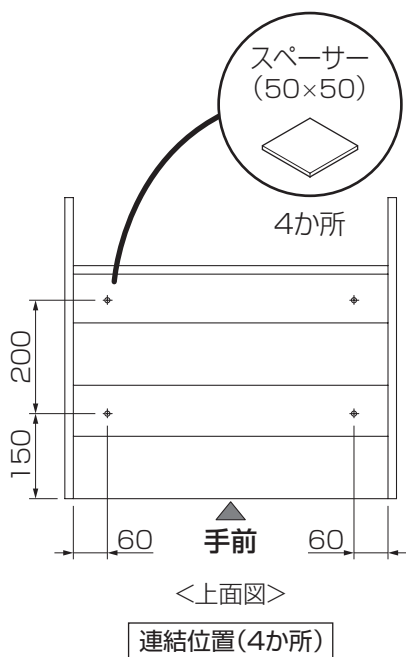
- ③ 輸入食洗機が入るスペースに位置出しユニット、隣に台輪フロートユニットをそれぞれ仮置きし、C型クランプで固定する。



- ④ 台輪フロートユニットを床固定する。

※ $\phi 4.5\text{mm}$ 、深さ15mm程度の下穴をあけてください。

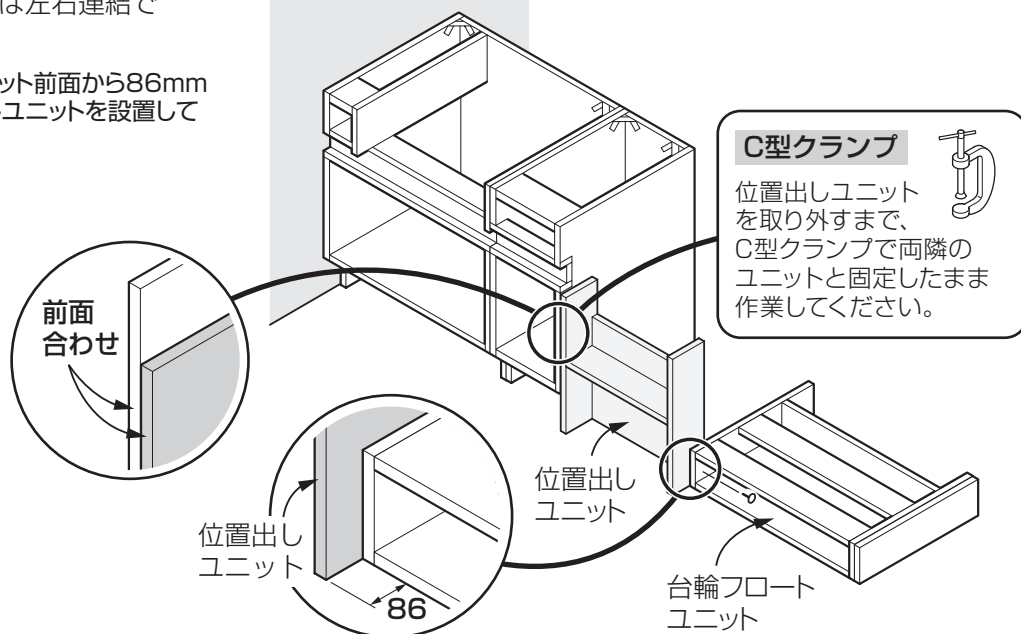
※現場の状況に応じて、穴をあけた位置に底板裏面から両面テープなどでスペーサーを貼り付けてください。



5. 台輪分離ユニットの取り付け

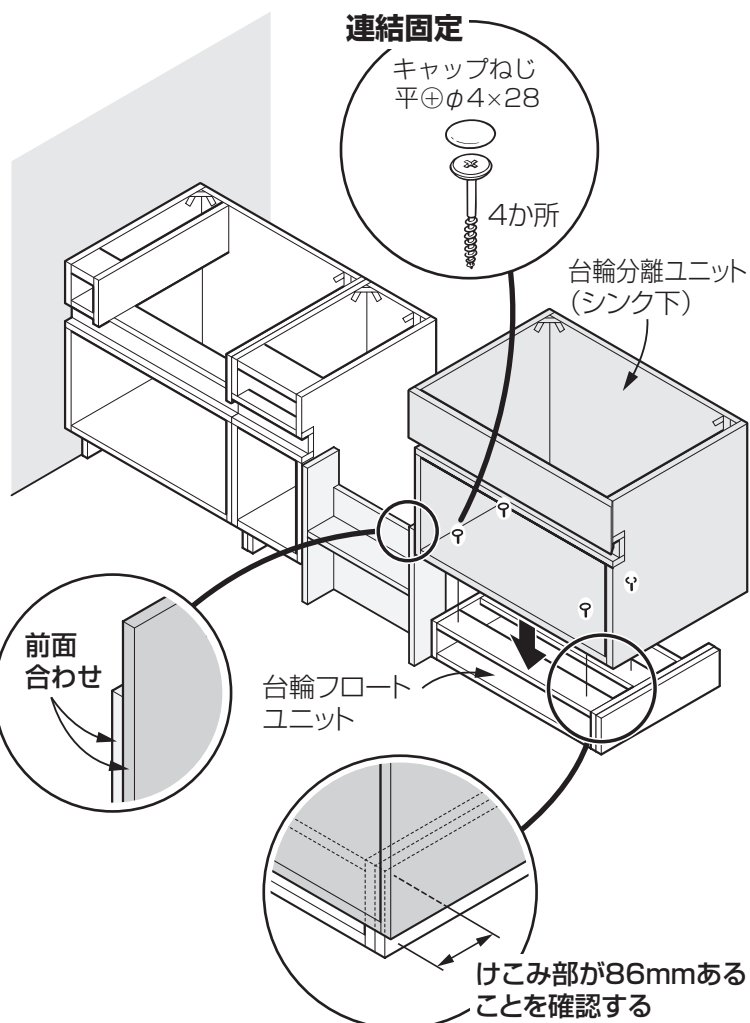
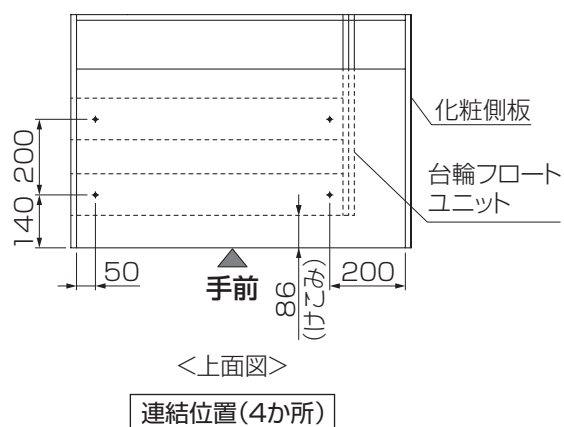
- ① 位置出しユニットを縦置きにし、隣接ユニットと前面を合わせ、C型クランプまたは左右連結で仮固定する。

※台輪フロートユニット前面から86mmの位置に位置出しユニットを設置してください。



- ② 台輪分離ユニットと台輪フロートユニットを上下連結する。

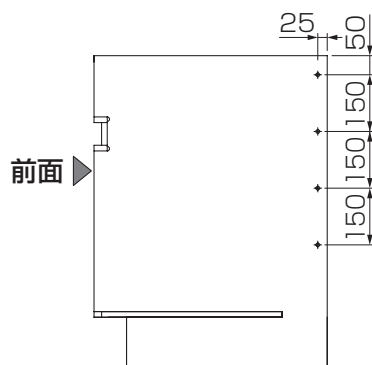
※ $\phi 4.5\text{mm}$ 、深さ15mm程度の下穴をあけてください。



③ 食洗機を設置する位置の背面に、
後板スペーサーを取り付ける。

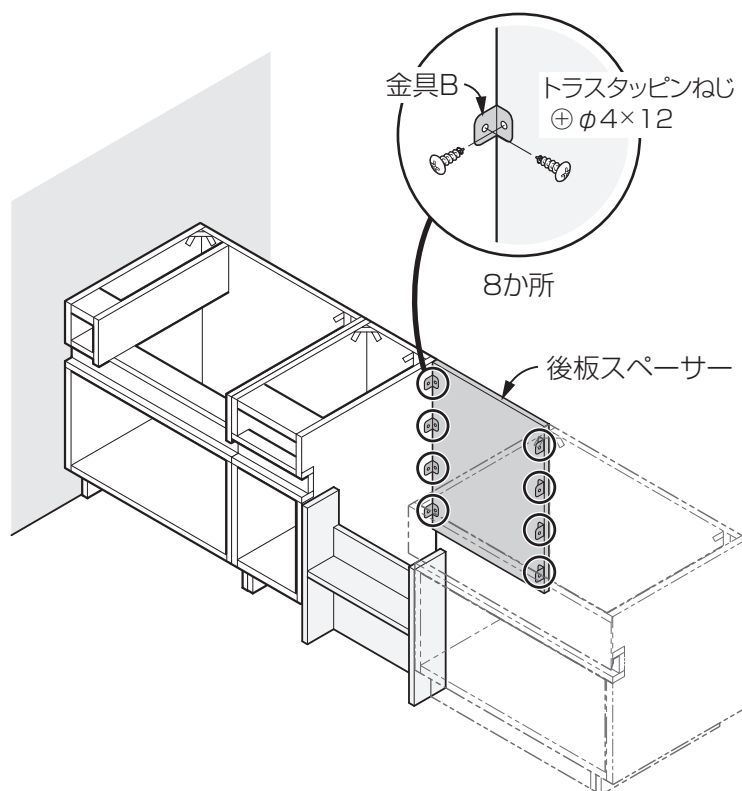
※位置出しユニットは、取り外さないで
ください。

※両隣のユニットの側板にφ3の下穴
をあけ、後板スペーサーをねじ固定
してください。



<側面図>

金具B取付位置(8か所)



食洗機なし・浅型食洗機・深型食洗機

輸入食洗機

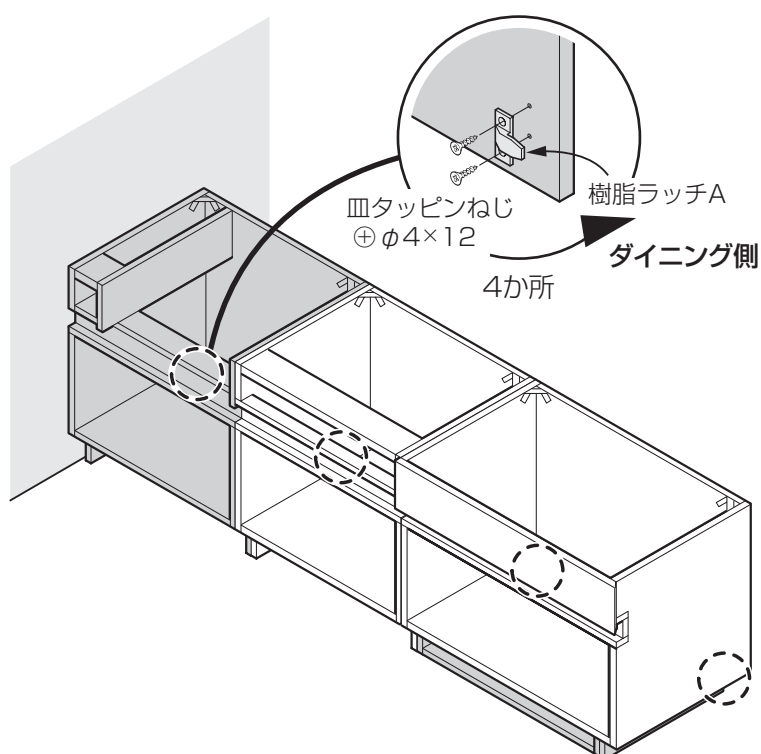
6. 化粧後板の取り付け

① プラン両端のユニット台輪部の
両側板（ダイニング側）に、樹脂ラッチA
を取り付ける。

※ユニット台輪部側板の下穴を使用してください。

※食洗機プランの場合、切り欠いた側板への
樹脂ラッチAの取付は不要です。

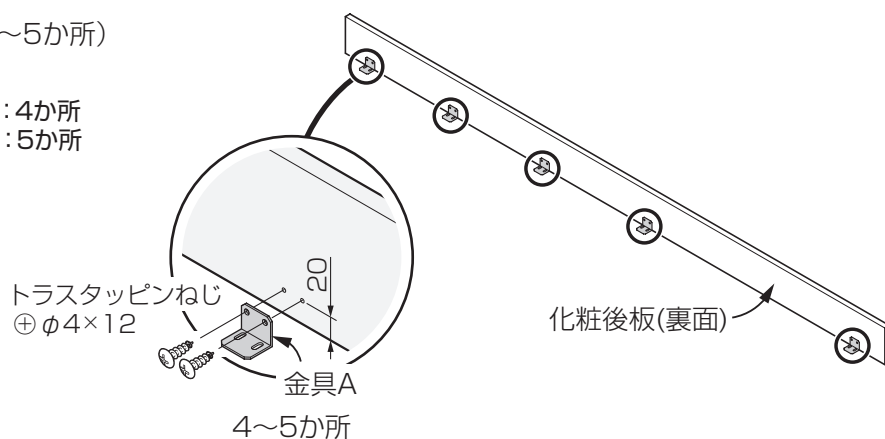
※横引き配管の場合は、別梱の後板固定金物を使用し、
付属の説明書に従って取り付けてください。
(ペニンシュラ型<パネルタイプ>食洗機なし・浅型
食洗機上設置・深型食洗機の場合のみ対象)



アイランド・ペニンシュラ型プラン（パネルタイプ）

- ② 化粧後板裏面の下穴に、金具A (4～5か所) をねじ固定する。

※化粧後板の長さが1950以下の場合：4か所
2100以上の場合：5か所

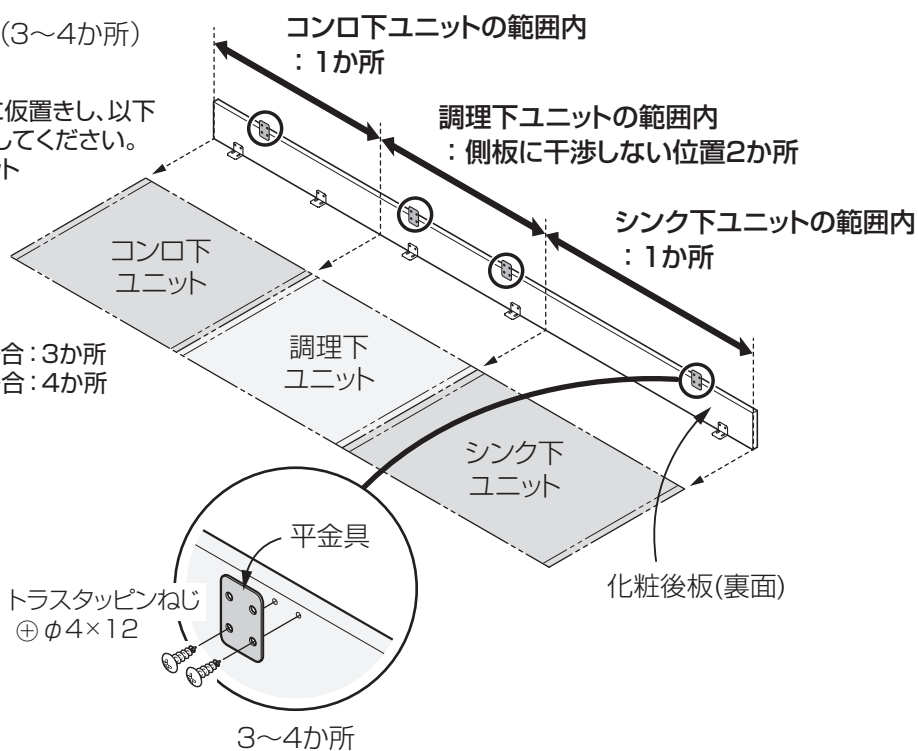


- ③ 化粧後板裏面の下穴に、平金具 (3～4か所) をねじ固定する。

※組み立てたフロアユニットの後ろに仮置きし、以下に従って平金具の取付位置を確認してください。

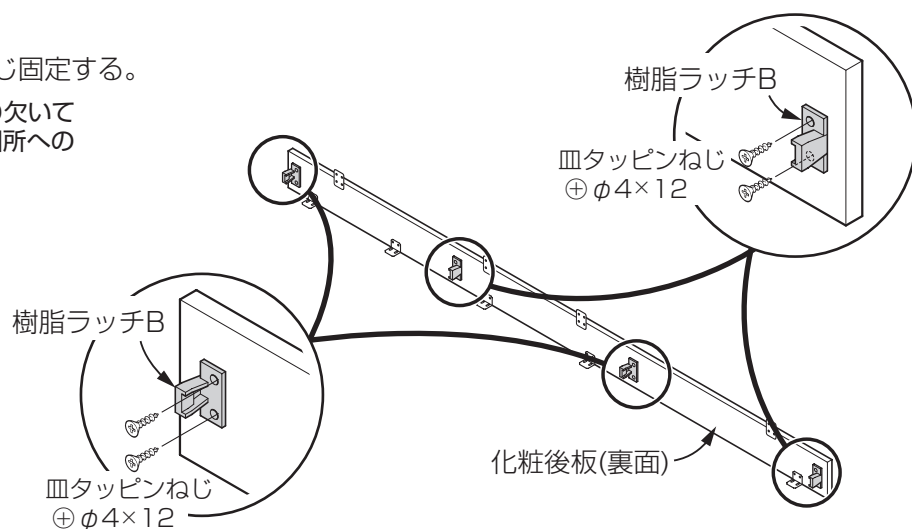
- シンク下ユニット、コンロ下ユニット
それぞれの範囲に入る取付位置、各1か所
- 調理下ユニットの範囲に入る
取付位置のうち、ユニット側板に干渉しない、いずれか2か所

※化粧後板の幅がW2100以下の場合：3か所
W2250以上の場合：4か所



- ④ 化粧後板裏面の下穴に、樹脂ラッチB (最大4か所) をねじ固定する。

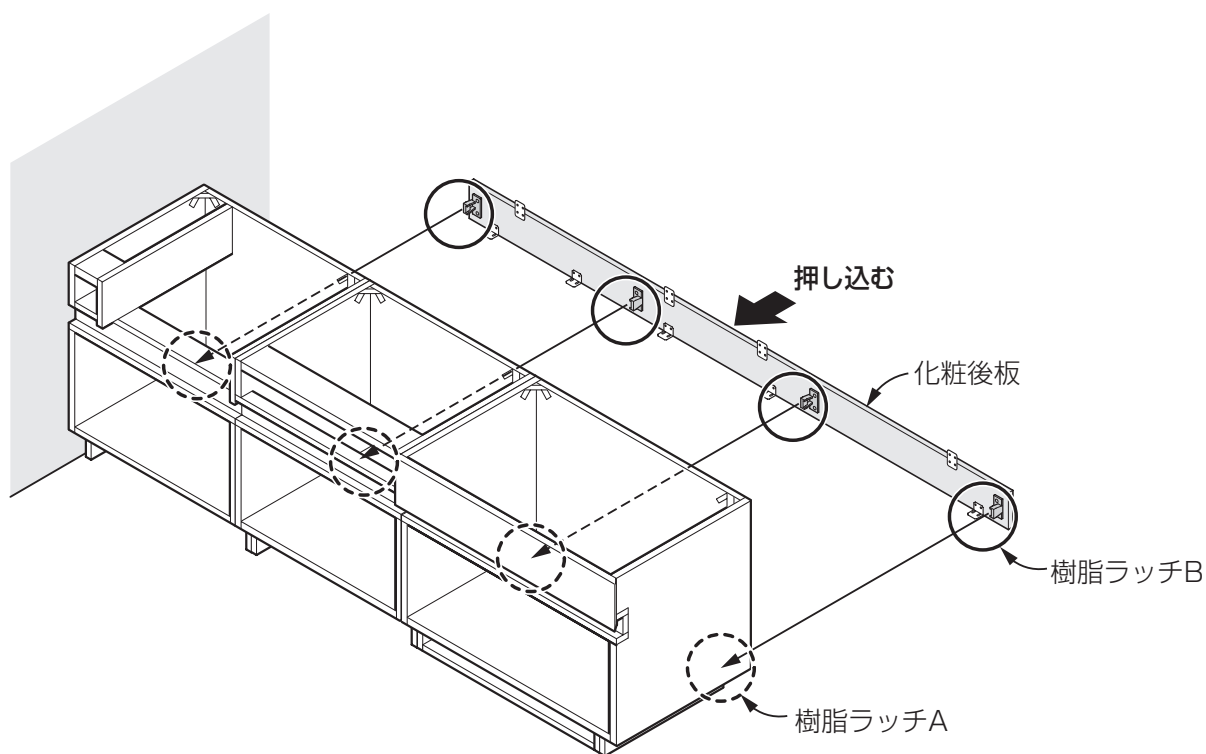
※樹脂ラッチBは、ユニット側板を切り欠いて樹脂ラッチAを取り付けていない個所への取り付けは不要です。



⑤ 化粧後板を台輪後部に取り付ける。

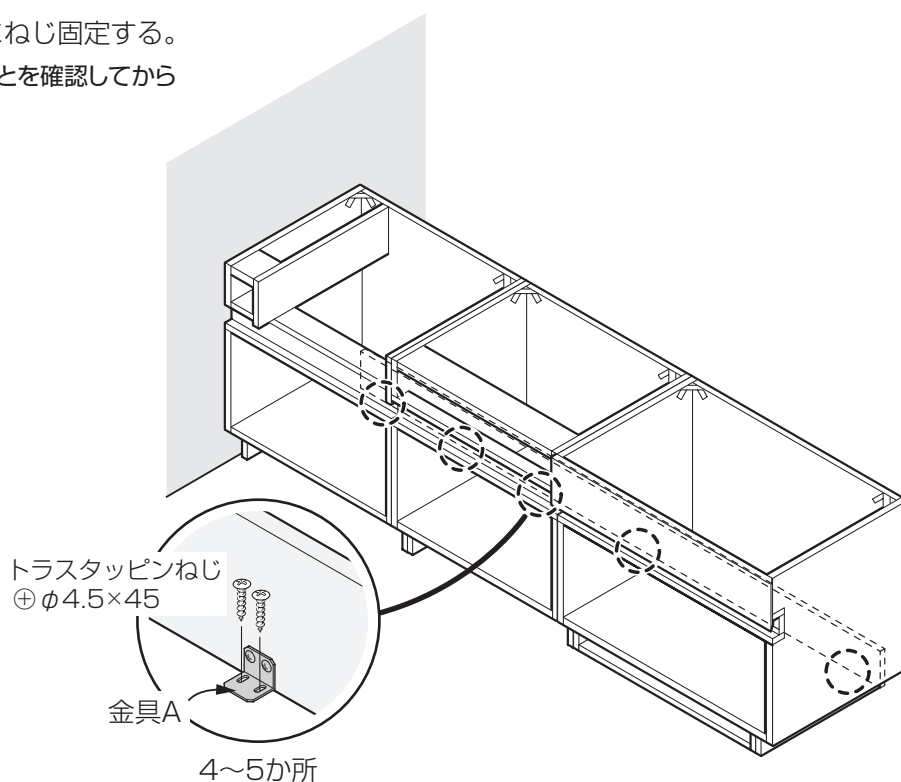
※化粧後板を前から押し込み、樹脂ラッチAと樹脂ラッチBをかん合させて取り付けてください。

※取付状態などにより上手くかん合できない場合は、樹脂ラッチBの位置をずらして調整してください。



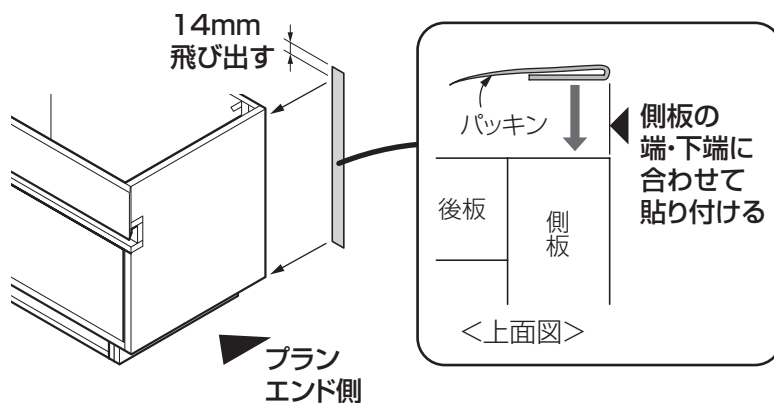
⑥ 庫内から化粧後板の金具Aを床にねじ固定する。

※化粧後板がまっすぐになっていることを確認してから床固定を行ってください。

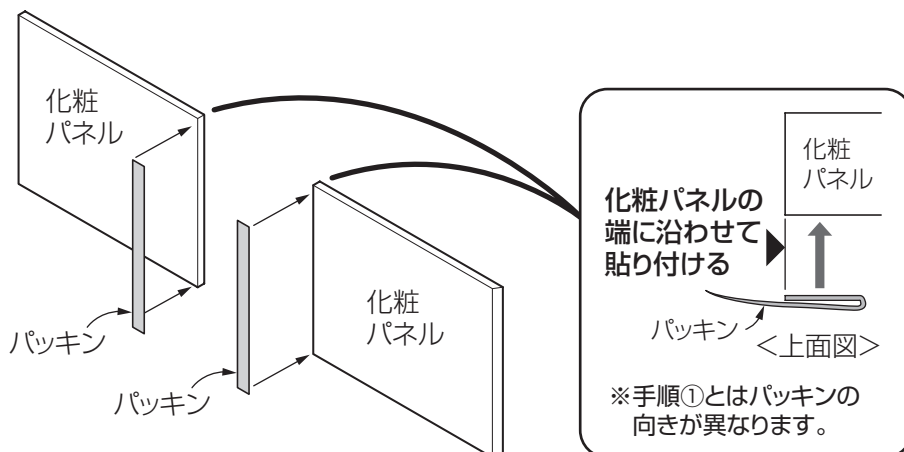


7. ダイニング側の取り付け

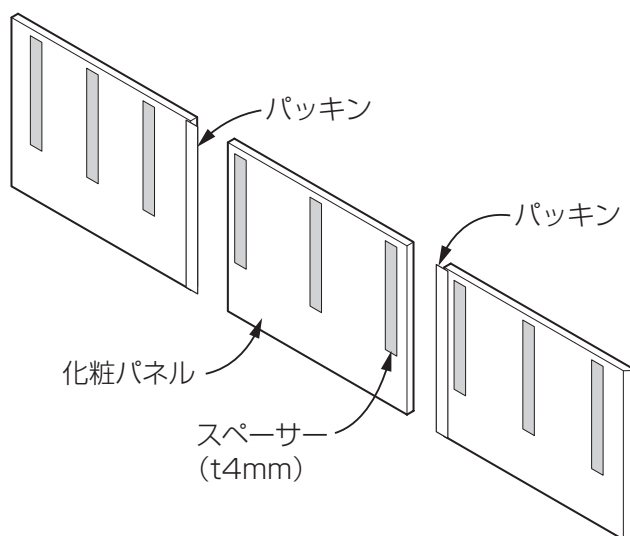
- ① プランエンド側のユニット背面に、パッキンを貼り付ける。
(壁付け側も貼り付ける)



- ② 両側に取り付ける化粧パネルの裏面・内側に、パッキンを貼り付ける。



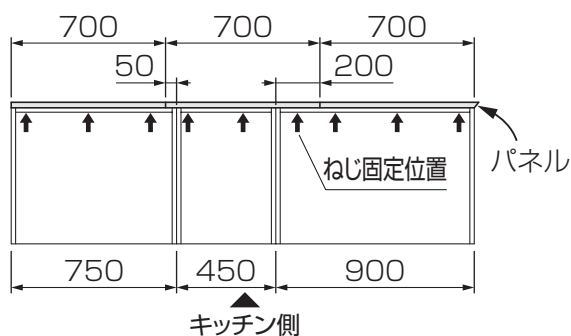
- ③ 化粧パネル裏面のねじ固定位置に、スペーサー (t4mm) を両面テープ (現場調達) で貼り付ける。
※ねじ固定位置・スペーサー貼付位置は 39~43ページを参照してください。



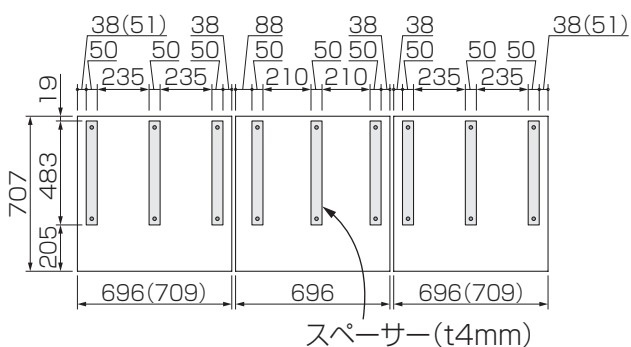
ねじ固定位置・スペーサー貼付位置(プランにより異なります)

■W2100

上面図



パネル正面図



※()内の寸法は、オープン側の場合です。

※図は右シンクの場合です。

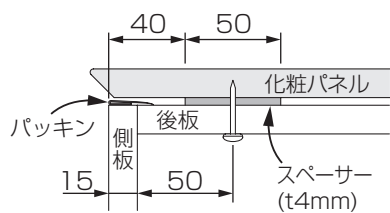
左シンクの場合は左右反転となります。

食洗機なし・浅型食洗機・深型食洗機

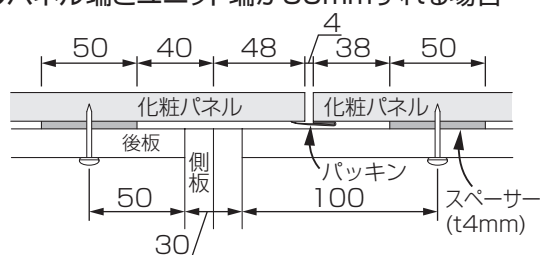
輸入食洗機

納まり

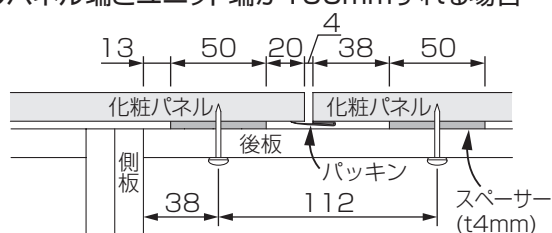
●オープン側



●パネル端とユニット端が50mmずれる場合

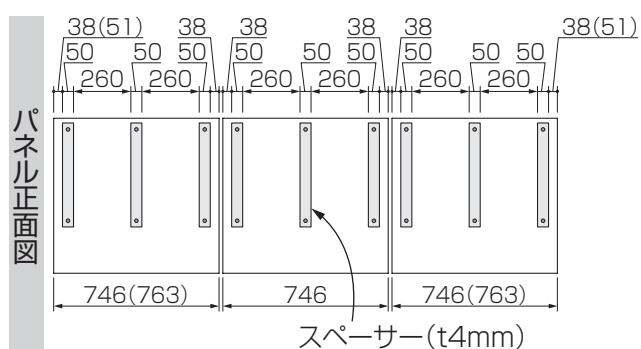
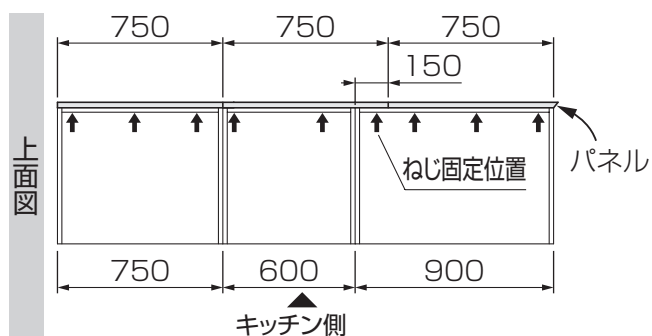


●パネル端とユニット端が100mmずれる場合



アイランド・ペニンシュラ型プラン (パネルタイプ)

■W2250(食洗機なし)



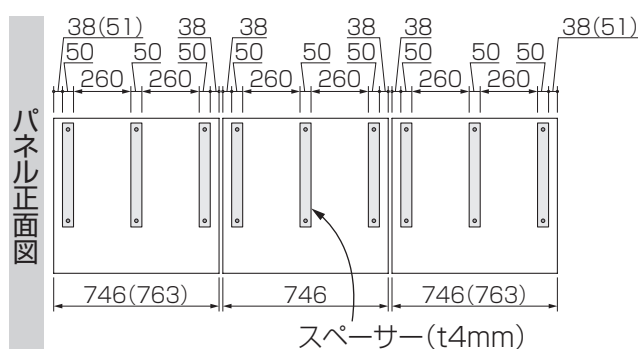
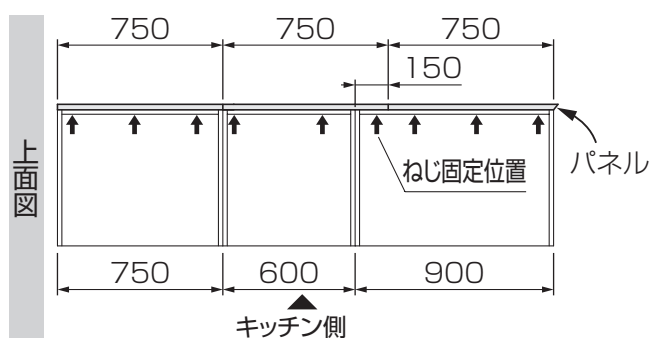
※ () 内の寸法は、オープン側の場合です。

※ 図は右シンクの場合です。

左シンクの場合は左右反転となります。

※ 納まりの詳細は、39ページをご参照ください。

■W2250(W600輸入食洗機)



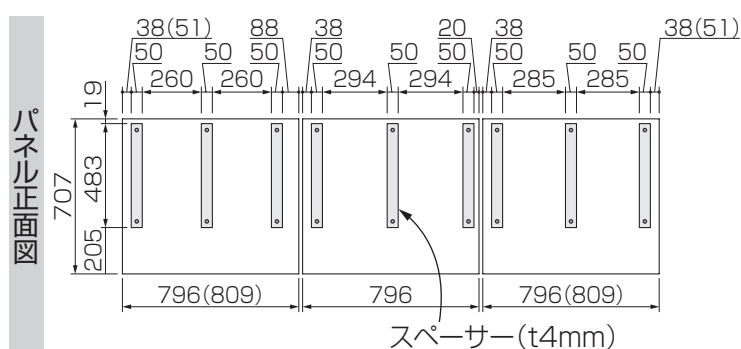
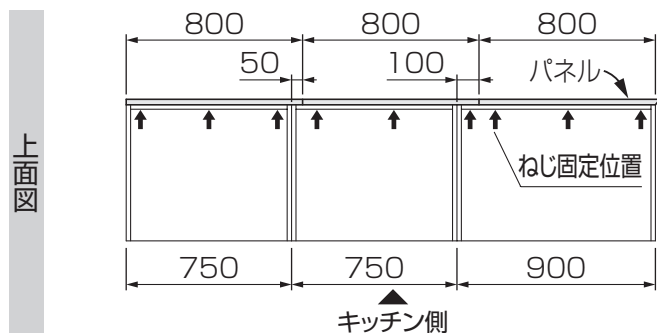
■W2250(浅型食洗／深型食洗／W450輸入食洗機)



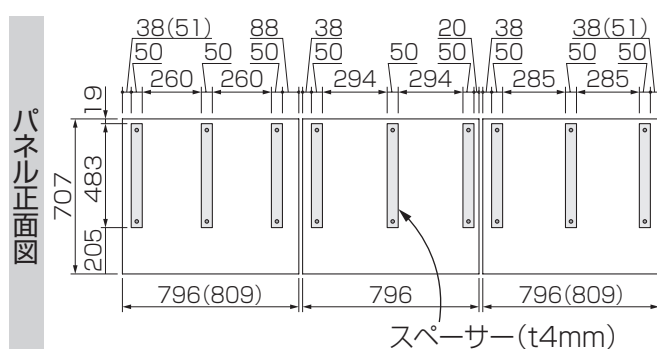
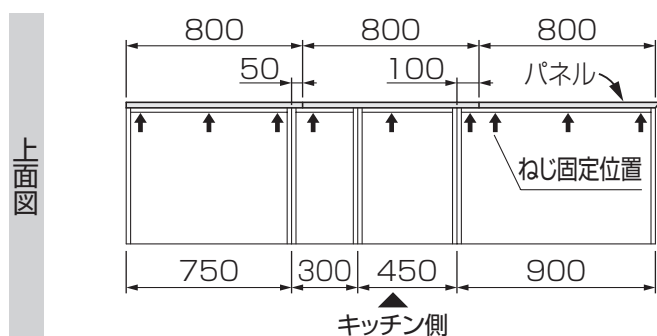
左図と同じ

※（ ）内の寸法は、オープン側の場合です。
 ※図は右シンクの場合です。
 左シンクの場合は左右反転となります。
 ※納まりの詳細は、39ページをご参照ください。

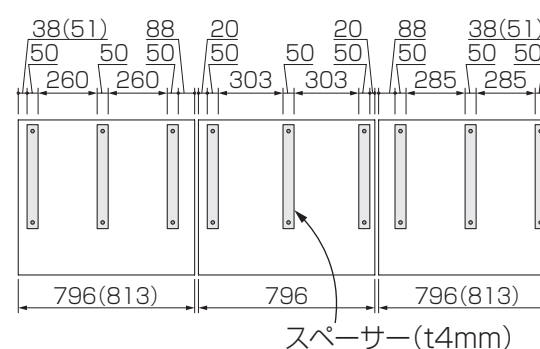
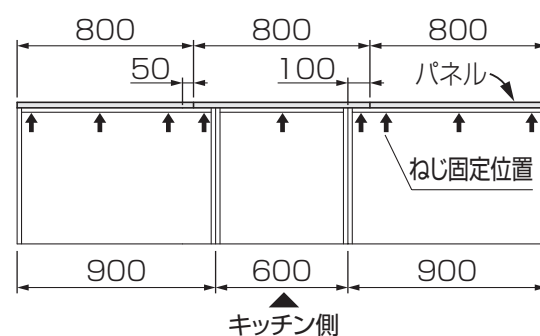
■W2400(食洗機なし)



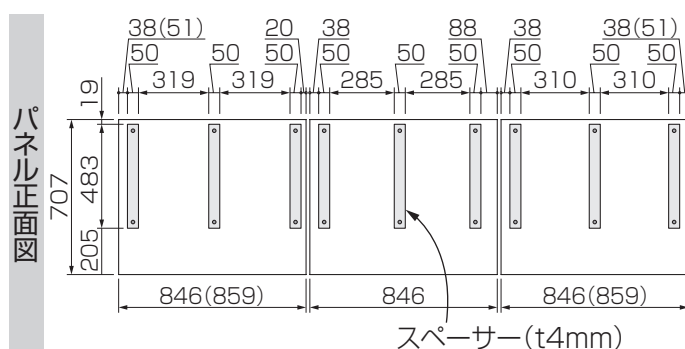
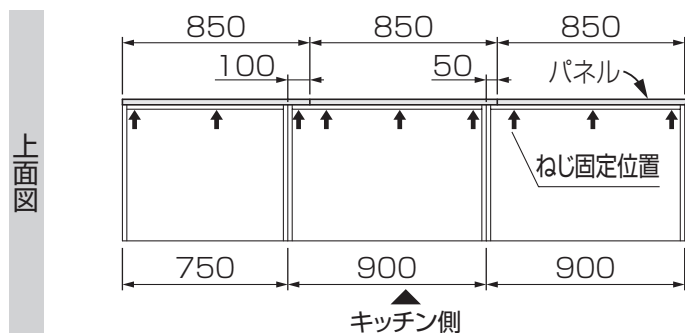
■W2400(浅型食洗機／W450輸入食洗機)



■W2400(W600輸入食洗機)



■W2550(食洗機なし)



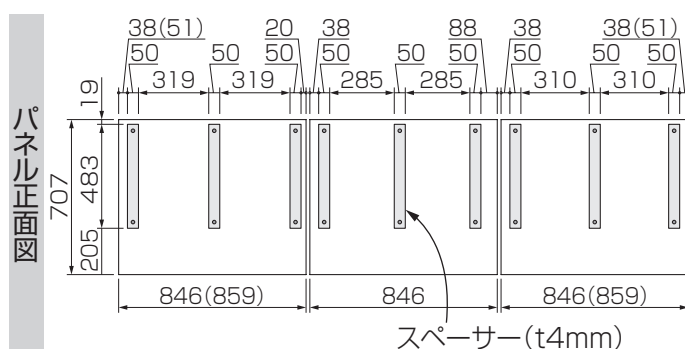
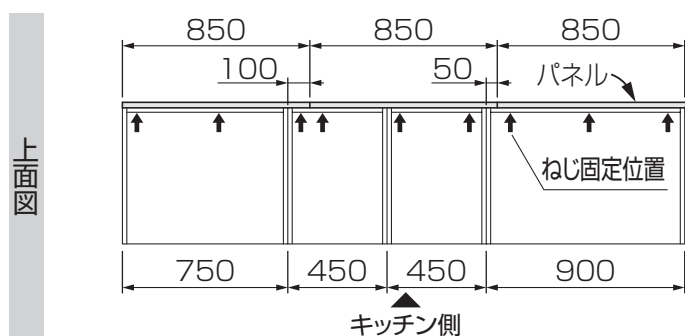
※()内の寸法は、オープン側の場合です。

※図は右シンクの場合です。

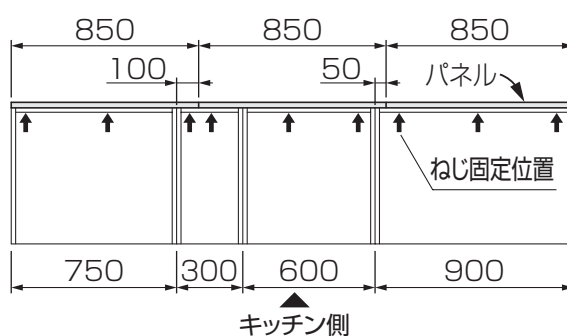
左シンクの場合は左右反転となります。

※納まりの詳細は、39ページをご参照ください。

■W2550(浅型食洗機／W450輸入食洗機)



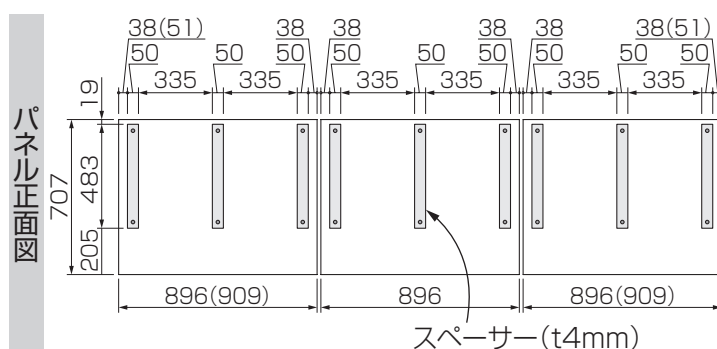
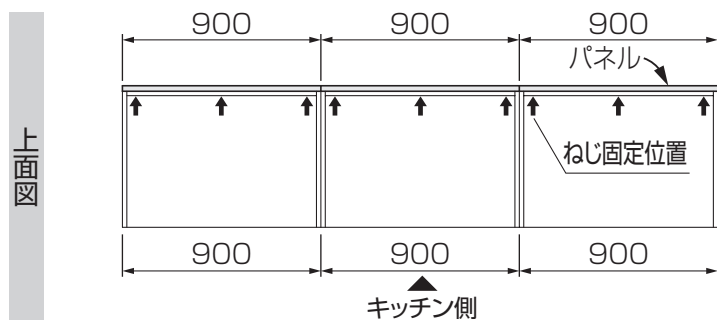
■W2550(W600輸入食洗機)



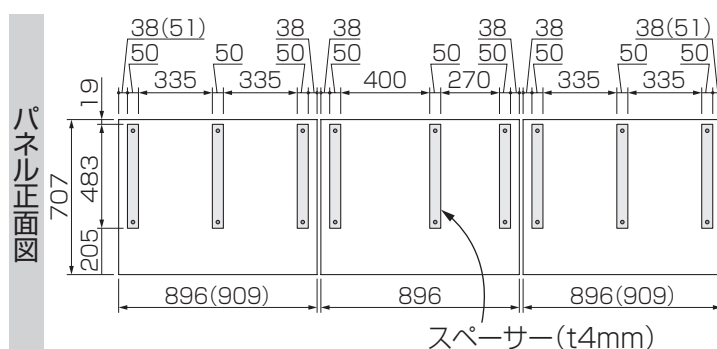
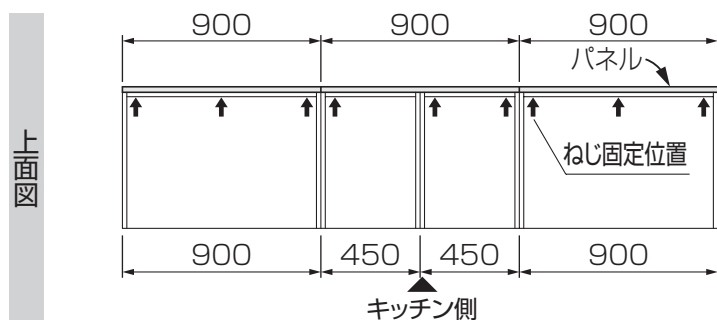
左図と同じ

※（ ）内の寸法は、オープン側の場合です。
 ※図は右シンクの場合です。
 左シンクの場合は左右反転となります。
 ※納まりの詳細は、39ページをご参照ください。

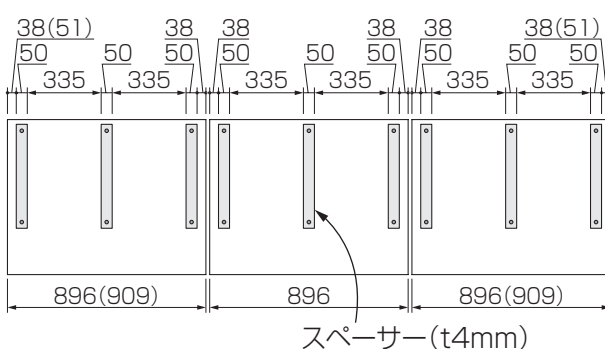
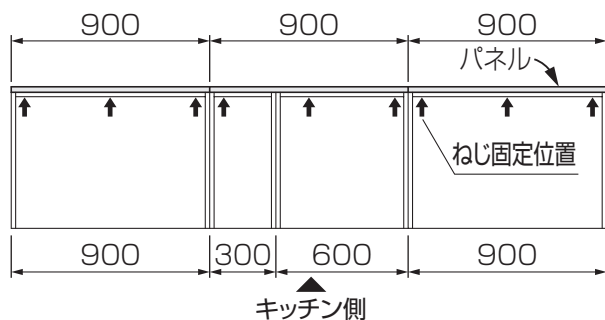
■W2700(食洗機なし)



■W2700(浅型食洗機／W450輸入食洗機)

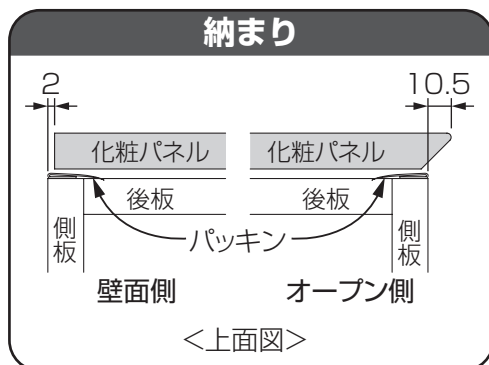
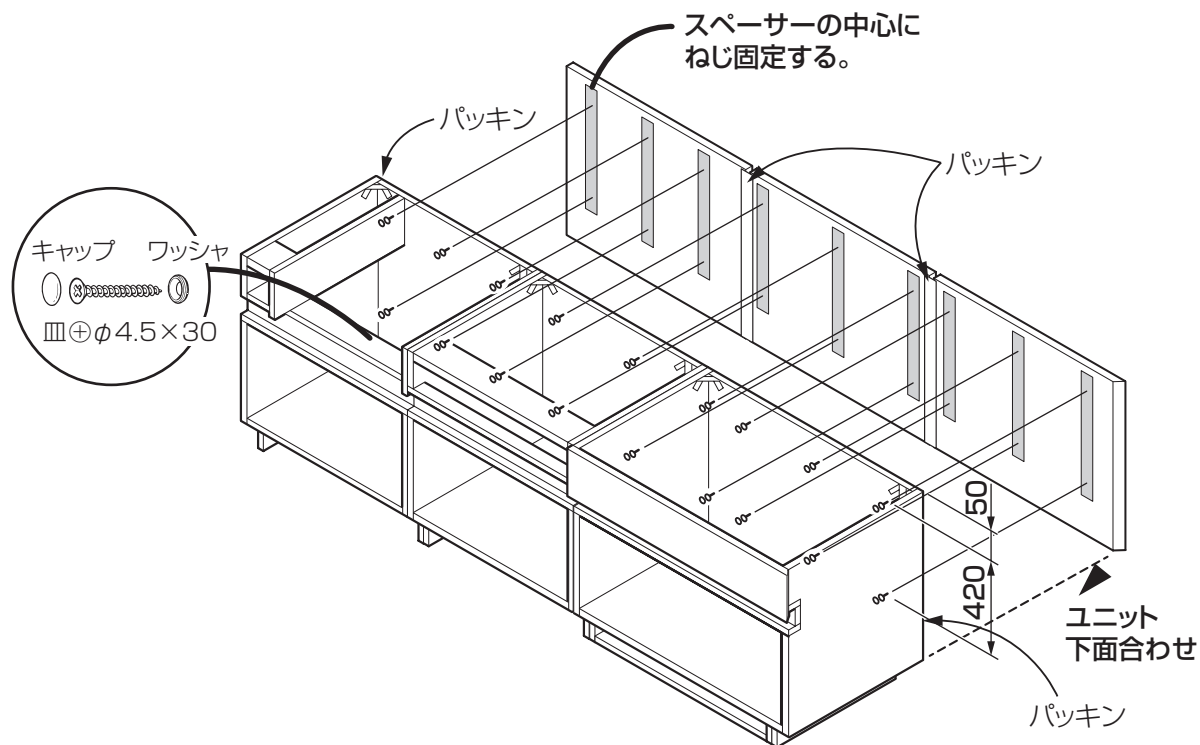


■W2700(W600輸入食洗機)



④ 化粧パネルをユニットに取り付ける。

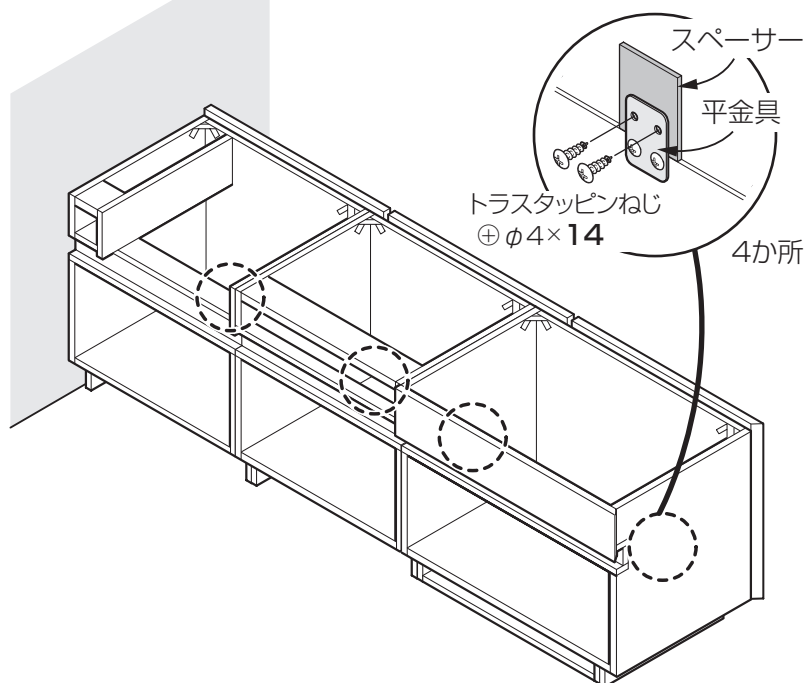
※化粧パネルとキャビネットを位置合わせし、
スペーサーの中心になるようにφ4.5mm、
深さ15mm程度の下穴をあけてください。



※中央の化粧パネルは、左右のクリアランスが
均等になるように取り付けてください。

- ⑤ 化粧後板に取り付けた平金具と化粧パネルとのすき間に50mm角のスペーサーをはさみ、庫内からねじ固定する。

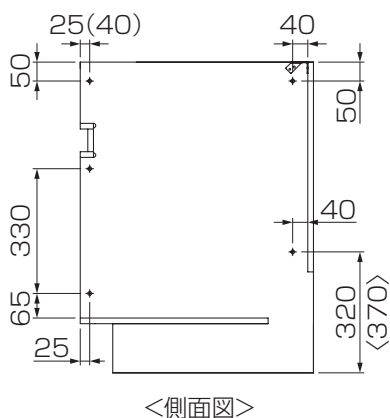
※50mm角スペーサーに $\phi 4.5$ mmの貫通穴をあけてください。



7. フロアユニットの壁面固定（ペニンシュラのみ）

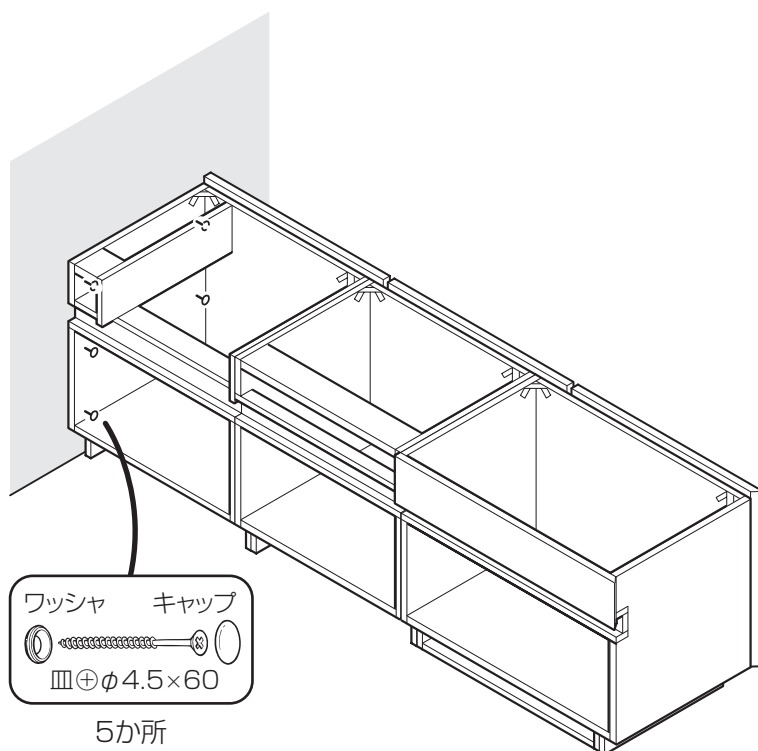
フロアユニットと壁面をねじ固定する。

※ $\phi 4.5$ mm、深さ15mm程度の下穴をあけてください。



※（ ）内寸法はシンク下の場合
〈 〉内寸法はH900の場合

連結位置(5か所)

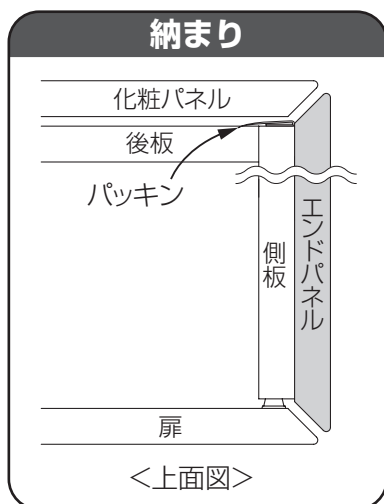


2 エンドパネルの取り付け

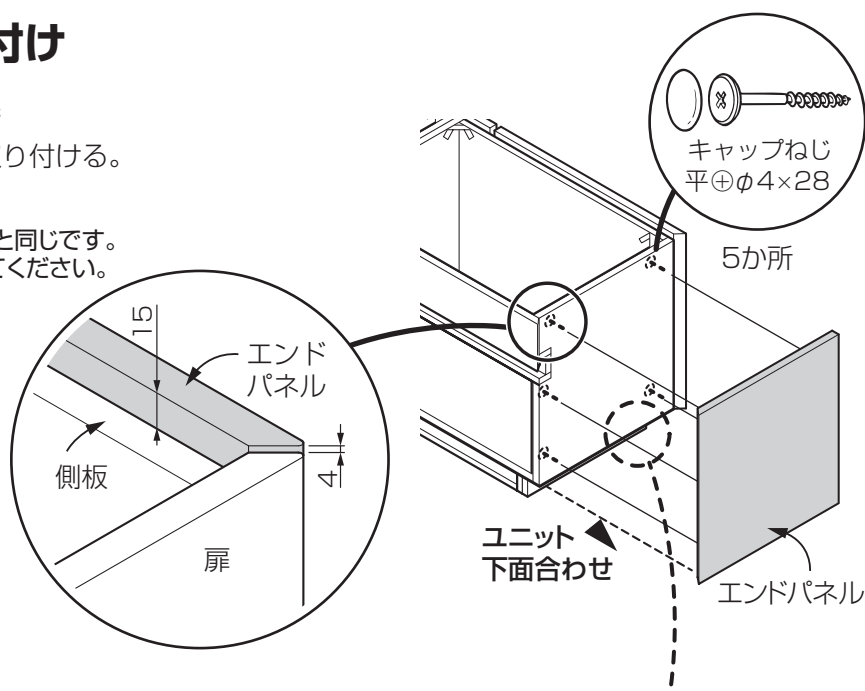
ユニット内側から付属のキャップねじで
エンドパネルを取り付け、キャップを取り付ける。
(エンドパネルと側板の段差は15mm)

※ねじ固定位置は、フロアユニットの左右連結と同じです。
φ4.5mm、深さ15mm程度の下穴をあけてください。

※指定の位置でねじ固定できない場合は、
位置を変えて取り付けてください。

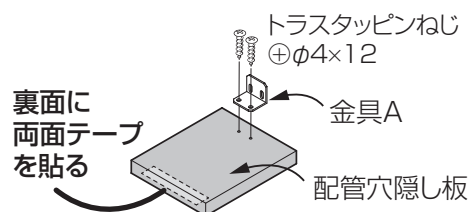


※前後のクリアランスを均等にして
取り付けてください。

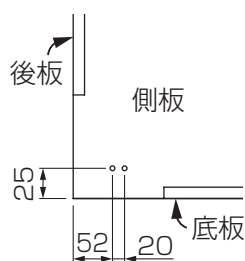


配管穴隠し板の取り付け

- ① 配管隠し板の下穴にL金具Aを取り付け、両面テープを貼る。
(丸穴を使用)

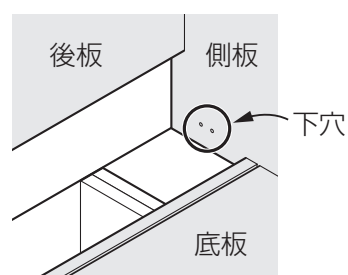


- ② 配管隠し板の取付位置の側板に下穴をあける。



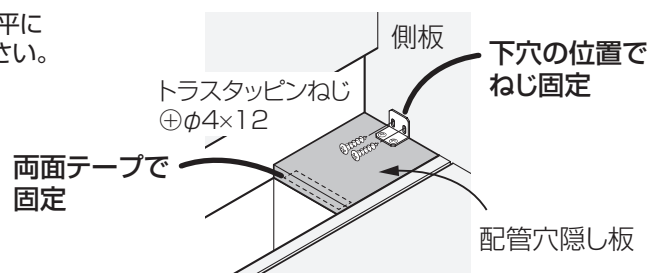
<側面図>

下穴位置(2か所)



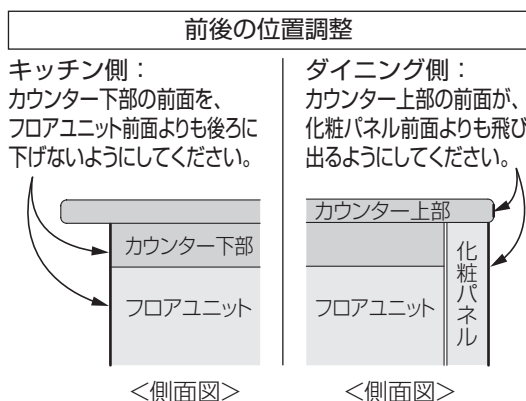
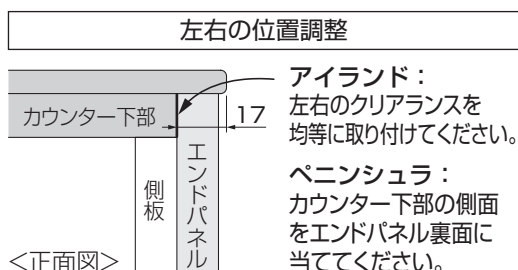
- ③ 配管隠し板を側板に取り付ける。

※配管隠し板は水平に
取り付けてください。

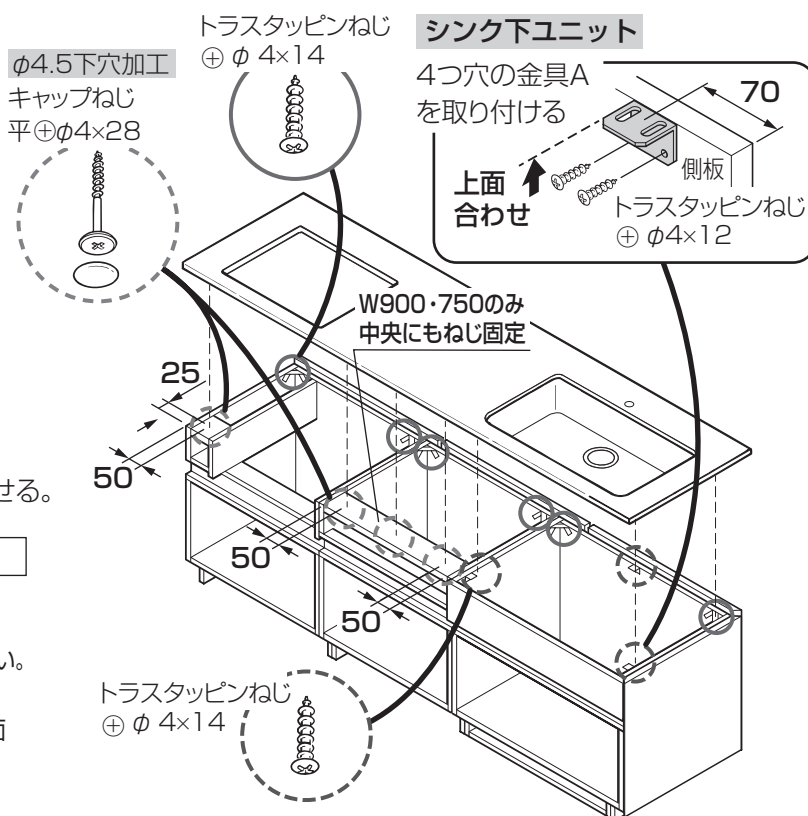


3 カウンターの取り付け

- ① シンク下ユニットにφ3の下穴をあけ、金具A（丸穴側）を取り付ける。
（左右の側板と後板中央に各1個）
- ② コンロ下ユニット、調理スペース下ユニットのユニット本体にねじ固定する個所には、φ4.5mm、深さ15mm程度の下穴をあける。
- ③ フロアユニットにカウンターを載せる。
- ④ カウンターとフロアユニットの位置を合わせる。



- ⑤ フロアユニット後部の固定金具、前部の固定金具の順で固定する。
※ねじはすき間なく締め付けてください。
すき間があると、がたつきの原因となります。
- ⑥ 位置出しユニットを取り外す。
（輸入食洗機を設置する場合のみ）

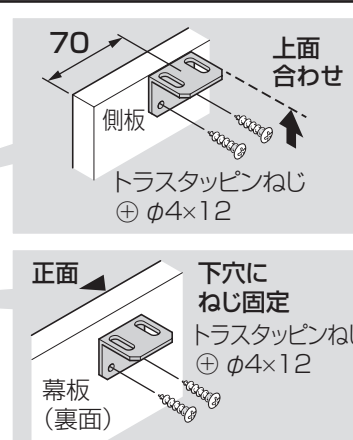
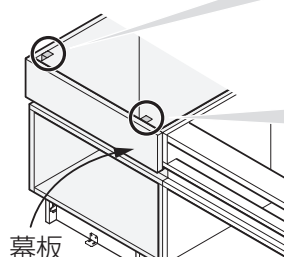


- 浅型食洗機下設置する個所のフロアユニットは、後部のカウンターとのねじ固定は不要です。

- 2100・2250プランで食洗機とグリル有コンロ機器を設置する場合のみ、コンロ下ユニットの側板に金具Cを取り付けてください。（右図参照）
※金具Cは長辺側を上面にして固定してください。



- グリルレス機器用コンロ下ユニットの場合は、幕板裏面の下穴と側板に、金具Aを2か所取り付けて、カウンター固定してください。（右図参照）



4 コンロ上フィラーの取り付け

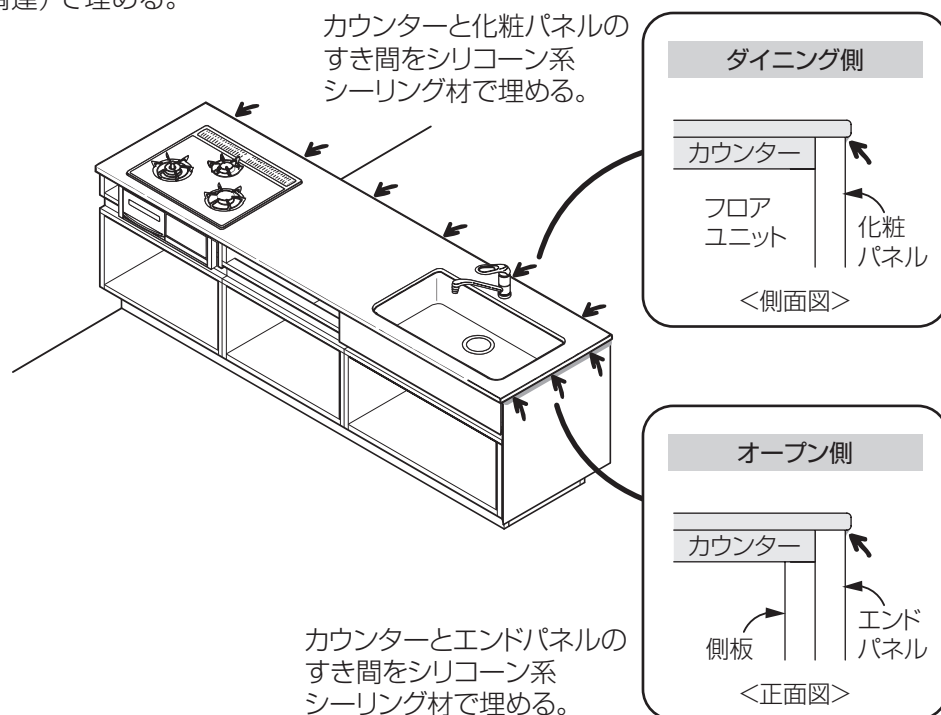
↓

9 機器の取り付け

本説明書の「ウォール型プラン」20～27ページ
をご参照ください。

10 目地処理

ダイニング側のカウンターと化粧パネルの間、
オープン側のカウンターとエンドパネルのすき間を
シリコン系シーリング材（現場調達）で埋める。



取り付けかた

1 フロアユニットの取り付け

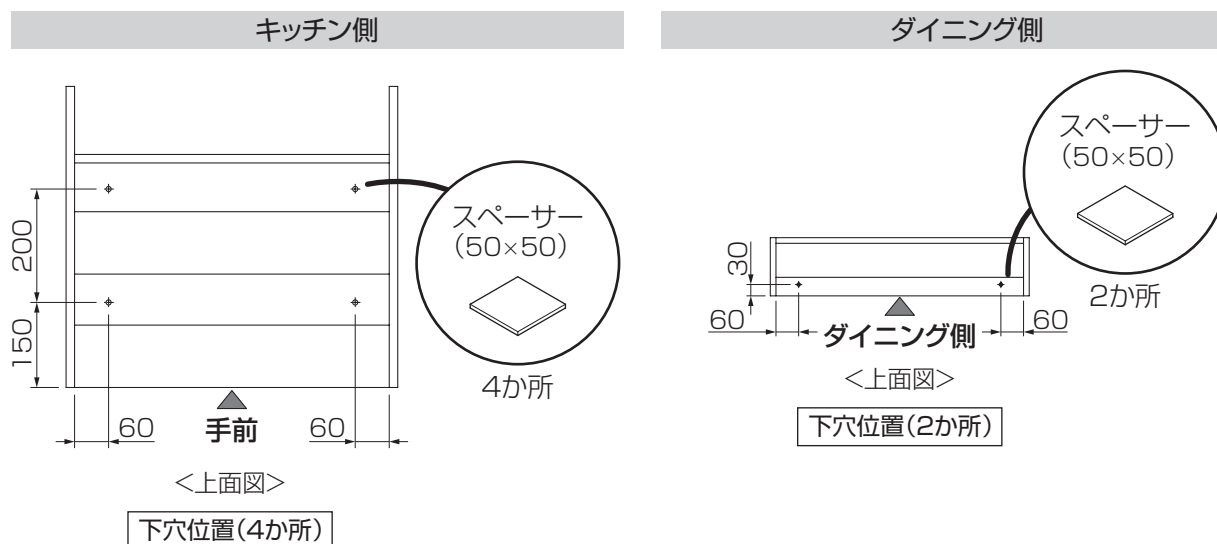
1. フロアユニットの引出し・扉の取り外し

本説明書の「ウォール型プラン」
9・11ページをご参照ください。

2. フロアユニットの穴加工

不陸調整のため、現場の状況に応じて台輪フロートユニットに以下の作業をしてください

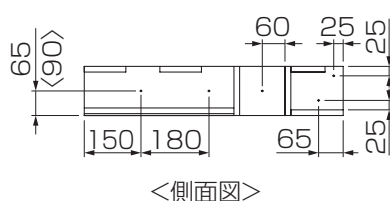
- ① 台輪フロートユニットの底板に下穴をあける。
- ② 穴をあけた位置に、底板裏面から両面テープなどでスペーサーを貼り付ける。



3. 化粧側板の取り付け

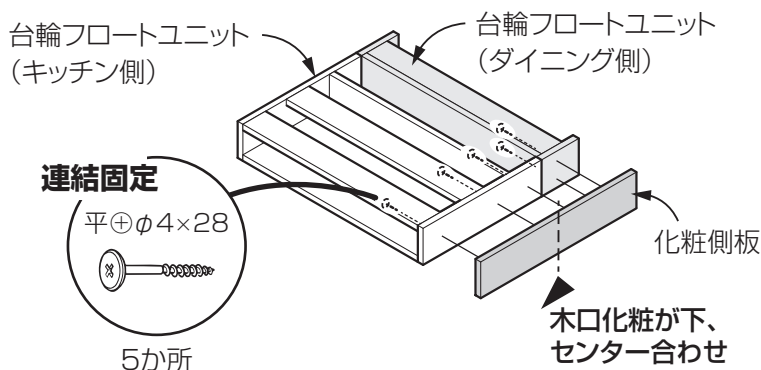
キッチン側とダイニング側それぞれの台輪フロートユニットを揃えて、化粧側板を取り付ける。

※台輪フロートユニット側板の貫通穴を使用してください。



※ 〈 〉 内寸法はH900の場合

連結位置(5か所)



4. 台輪一体ユニットと台輪フロートユニットの取り付け

5. 台輪分離ユニットの取り付け

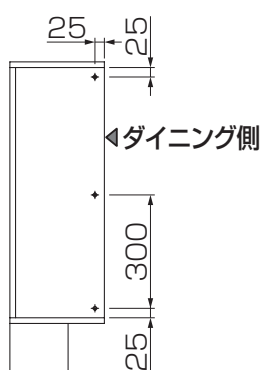
6. 台輪化粧後板の取り付け

7. ダイニング側の取り付け

本説明書の「アイランド・ペニンシュラ型プラン（パネルタイプ）」29～37ページをご参照ください。

- ① 台輪一体ユニット・台輪フロートユニットをそれぞれ左右連結する。
 ※φ4.5mm、深さ15mm程度の下穴をあけてください。
 ※台輪フロートユニットは側板の貫通穴を使用してください。

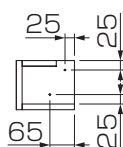
台輪一体ユニット



<側面図>

連結位置(3か所)

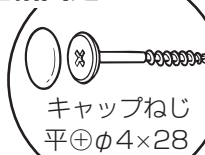
台輪フロートユニット



<側面図>

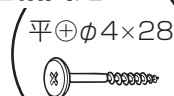
連結位置(2か所)

連結固定

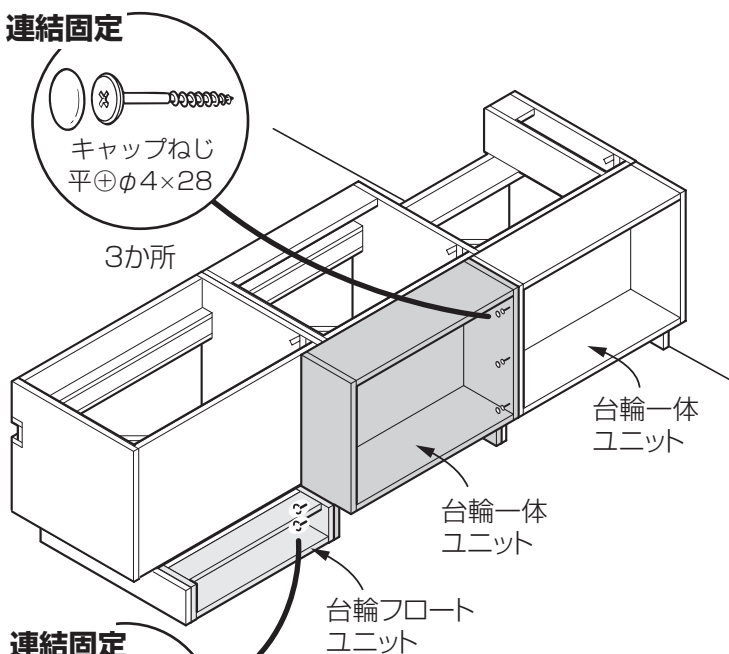


3か所

連結固定

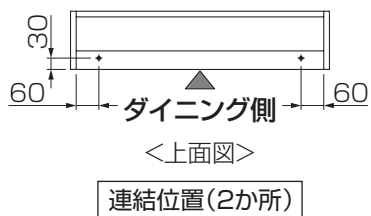


2か所



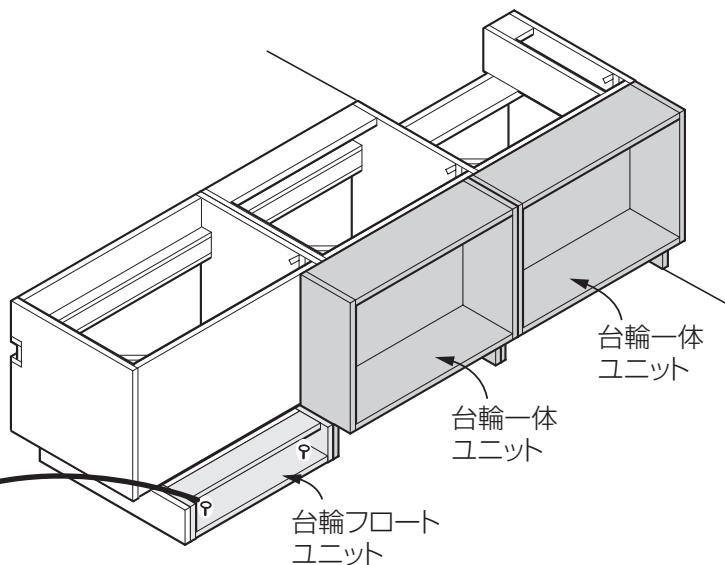
- ② ダイニング側の台輪一体ユニットを仮置きし、台輪フロートユニットを床に固定する。

※ $\phi 4.5$ mm、深さ15mm程度の下穴をあけてください。



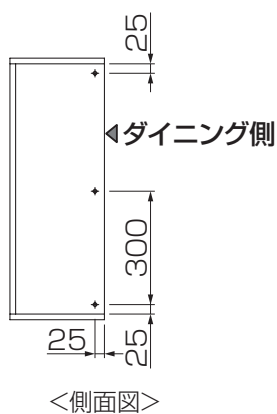
トラスタッピンねじ
 $\oplus \phi 4.5 \times 45$

2か所



- ③ 台輪分離ユニットを台輪フロートユニットの上に設置し、中央ユニットと連結する。

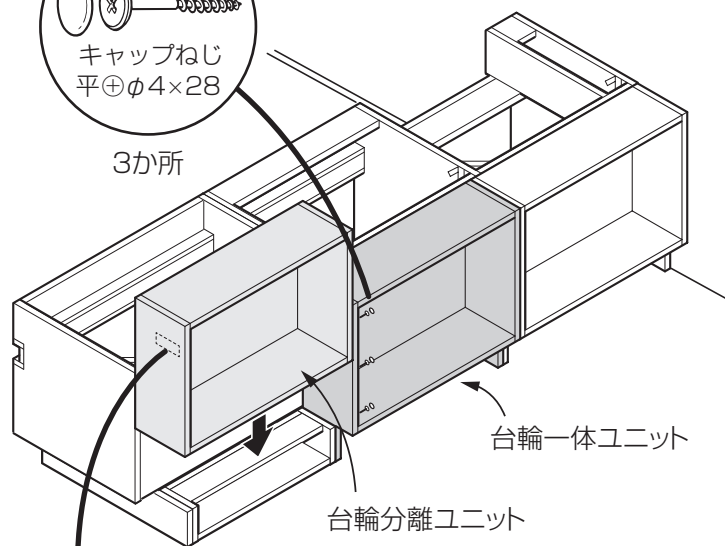
※ $\phi 4.5$ mm、深さ15mm程度の下穴をあけてください。



連結固定

キャップねじ
平 $\oplus \phi 4 \times 28$

3か所



オープン側に設置するユニットの内側には
注意ラベルが貼り付けられています

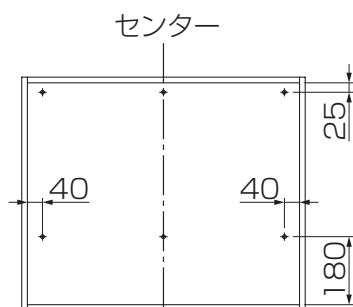
注意ラベルを貼り付けている側板が
オープン側にくるように設置してください。



- ④ ユニットを取り付け位置に合わせ、ダイニング側ユニットとキッチン側ユニットをねじ固定する。(各6か所)

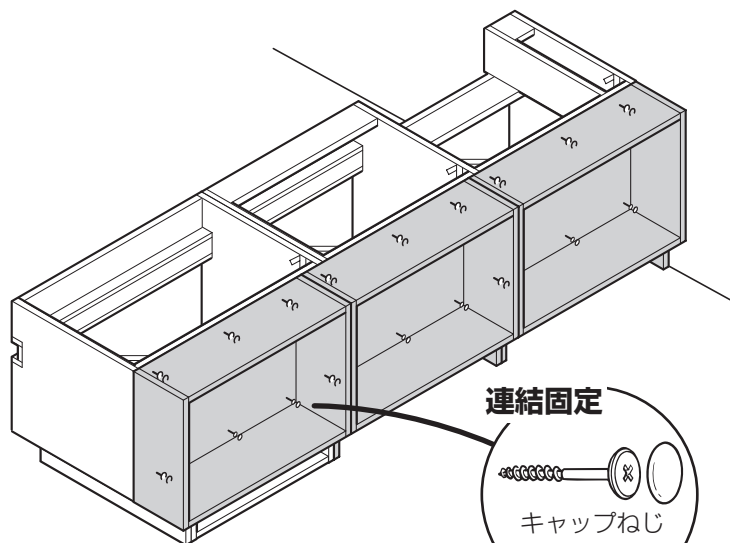
※ $\phi 4.5\text{mm}$ 、深さ15mm程度の下穴をあけてください。

※W2700プランの場合、中央ユニットはセンターを避けて固定してください。

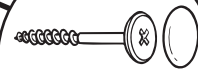


＜正面図＞

固定位置(6か所)



連結固定



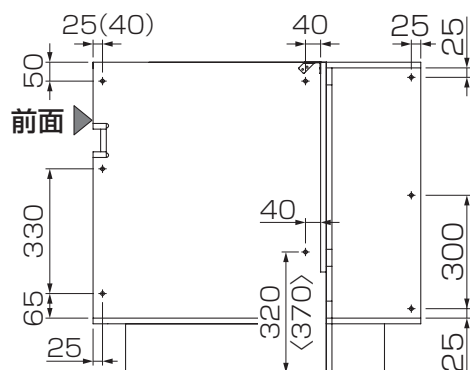
キャップねじ
平 $\phi 4 \times 28$

各6か所

8. 壁面固定 (ペニンシュラのみ)

フロアユニットと壁面をねじ固定する。

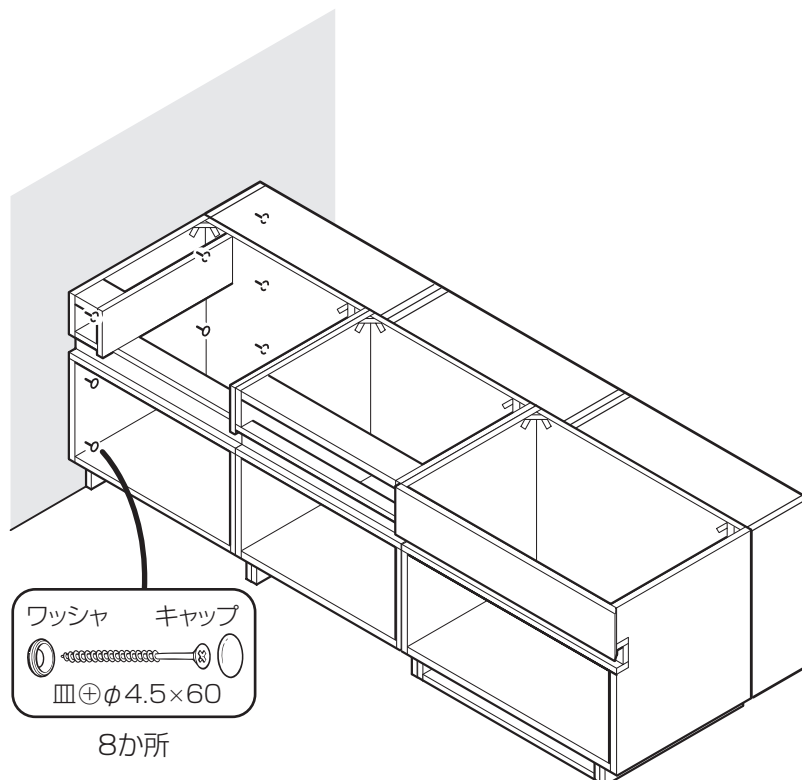
※ $\phi 4.5\text{mm}$ 、深さ15mm程度の下穴をあけてください。



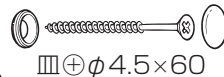
＜側面図＞

※〈 〉内寸法はH900の場合

固定位置(8か所)



ワッシャ キャップ



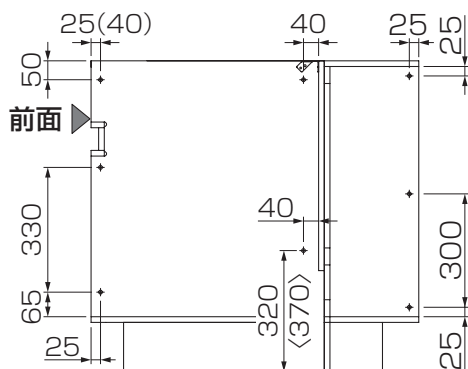
皿 $\phi 4.5 \times 60$

8か所

2 エンドパネルの取り付け

ユニット内側から付属のキャップねじで
エンドパネルを取り付け、キャップを取り付ける。
(エンドパネルと側板の段差は15mm)

※ $\phi 4.5$ mm、深さ15mm程度の下穴をあけてください。

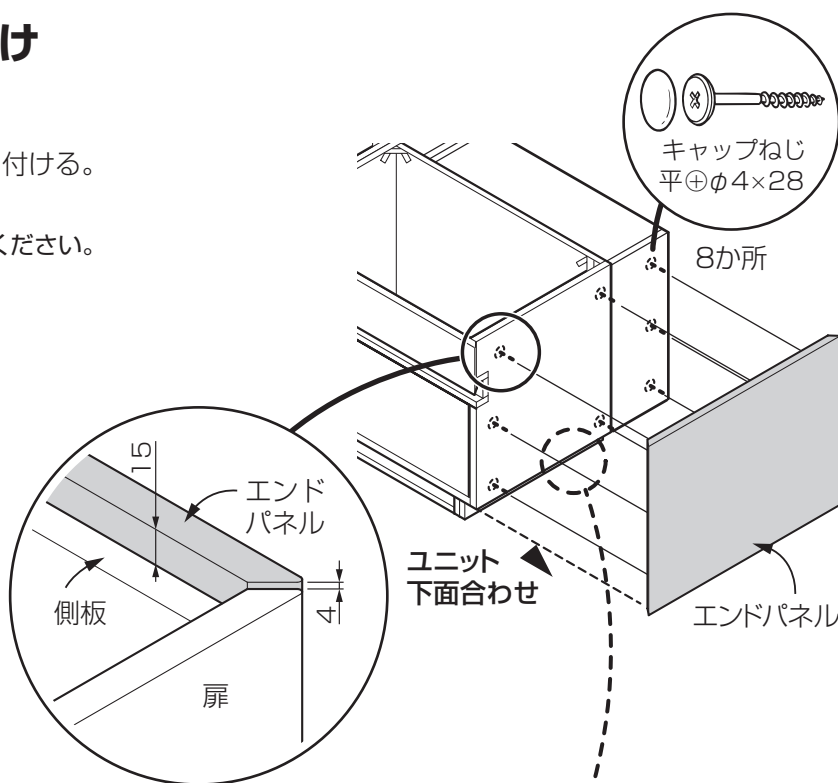


<側面図>

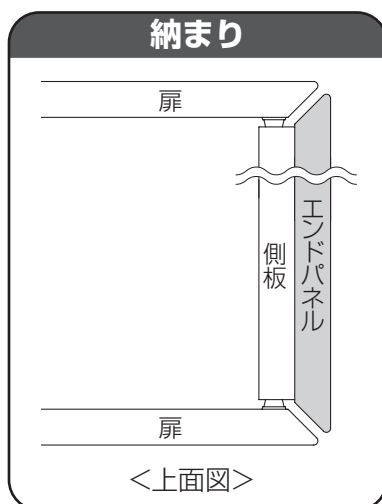
※〈 〉内寸法はH900の場合

固定位置(8か所)

※指定の位置でねじ固定できない場合は、
位置を変えて取り付けてください。



納まり

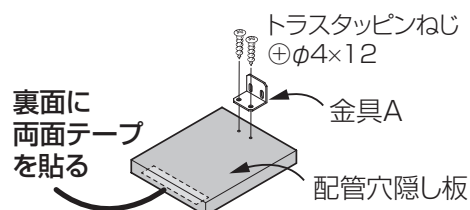


<上面図>

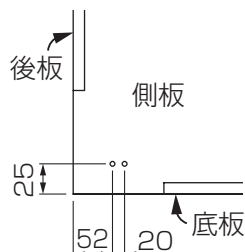
※前後のクリアランスを均等にして
取り付けてください。

配管穴隠し板の取り付け

① 配管隠し板の下穴にL金具Aを
取り付け、両面テープを貼る。
(丸穴を使用)

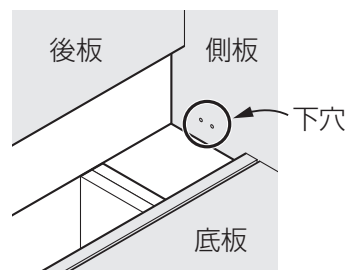


② 配管隠し板の取付位置の側板に下穴をあける。



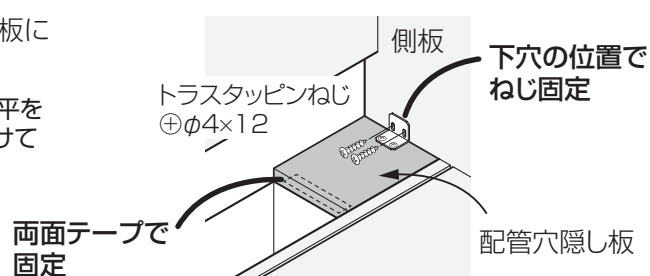
<側面図>

下穴位置(2か所)



③ 配管隠し板を側板に
取り付ける。

※配管隠し板の水平を
確保して取り付けて
ください。



3 カウンターの取り付け

- ① シンク下ユニットにφ3の下穴をあけ、金具A（丸穴側）を取り付ける。
（左右の側板と後板中央に各1個）

- ② コンロ下ユニット、調理スペース下ユニット、ダイニング側ユニットのユニット本体にねじ固定する個所には、φ4.5mm、深さ15mm程度の下穴をあける。

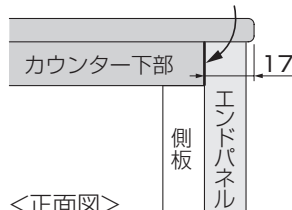
- ③ フロアユニットにカウンターを載せる。

- ④ カウンターとフロアユニットの位置を合わせる。

左右の位置調整

アイランド：
左右のクリアランスを均等に
取り付けてください。

ペニンシュラ：
カウンター下部の側面を
エンドパネルに当ててください。



<正面図>

前後の位置調整

前後のクリアランスを均等に
取り付けてください。

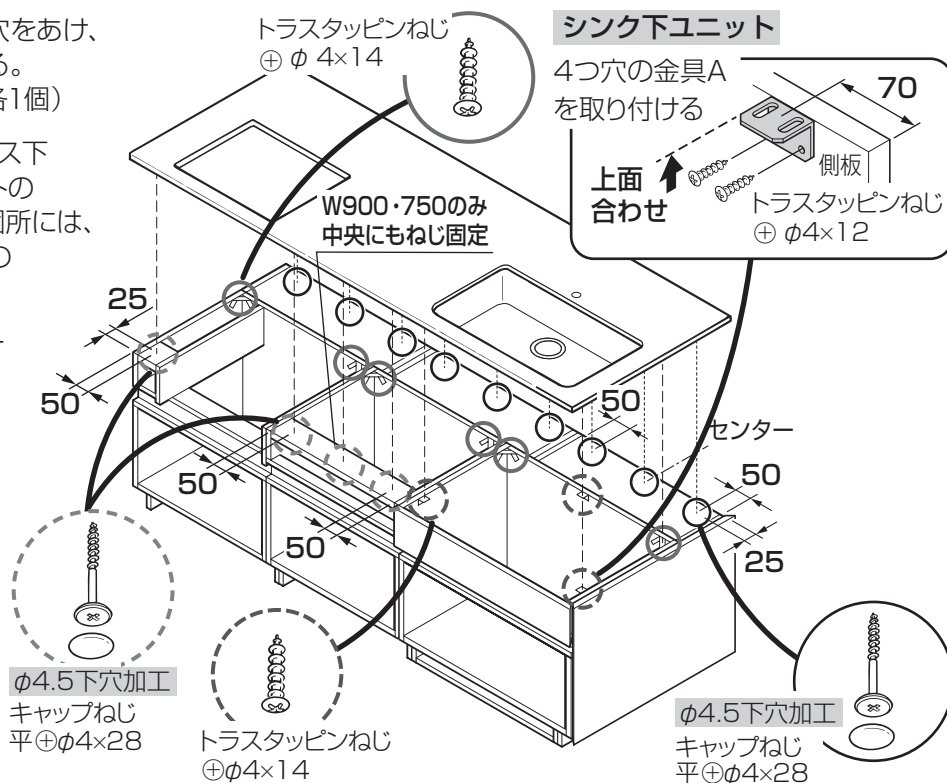
- ⑤ フロアユニット後部の固定金具、前部の固定金具の順で固定する。

※ねじはすき間なく締め付けて
ください。
すき間があると、がたつきの
原因となります。

- ⑥ ダイニング側ユニットの天板と
カウンターを固定する。

※カウンターはすき間なく締め付けて
ください。
すき間があると、がたつきの原因と
なります。

- ⑦ 位置出しユニットを取り外す。
（輸入食洗機を設置する場合のみ）



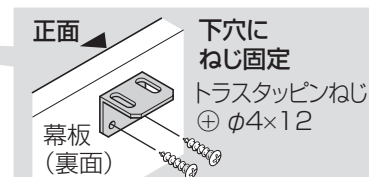
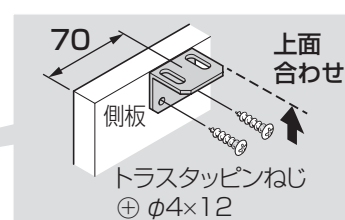
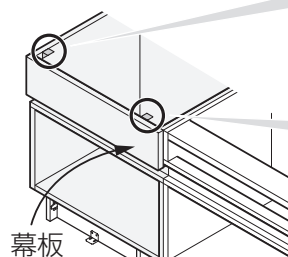
- 浅型食洗機下設置する個所のフロアユニットは、後部のカウンターとのねじ固定は不要です。

- 2100・2250プランで食洗機とグリル有コンロ機器を設置する場合のみ、コンロ下ユニットの側板に金具Cを取り付けてください。（右図参照）

※金具Cは長辺側を上面にして固定してください。



- グリルレス機器用コンロ下ユニットの場合は、幕板裏面の下穴と側板に、金具Aを2か所取り付け、カウンター固定してください。（右図参照）



4 コンロ上フィラーの取り付け

5 <オプション>食洗機の取り付け

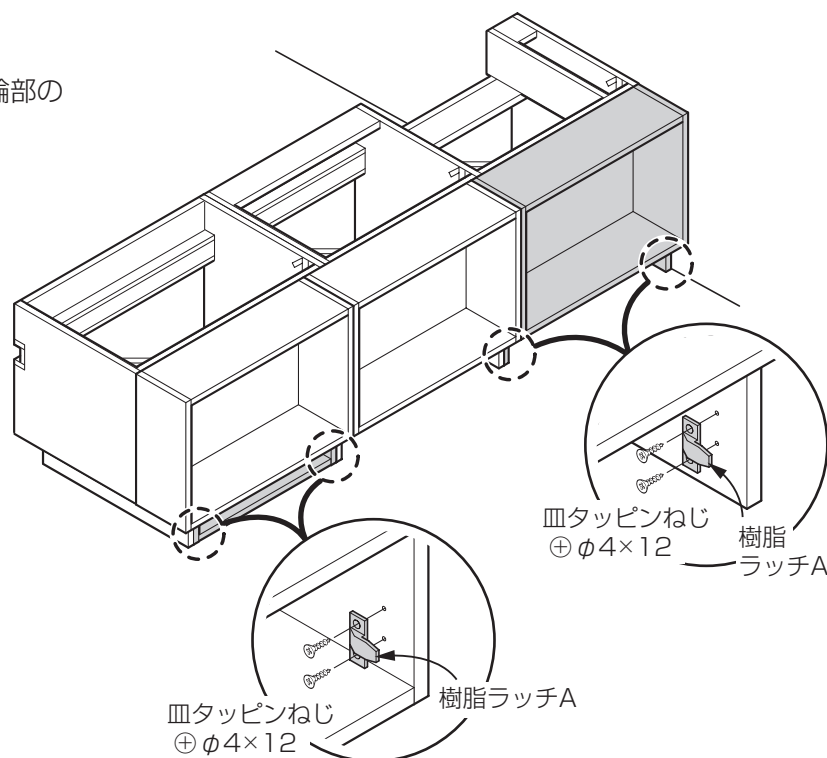
本説明書の「ウォール型プラン」
20～22ページをご参照ください。

6 化粧前板の取り付け

7 化粧後板の取り付け

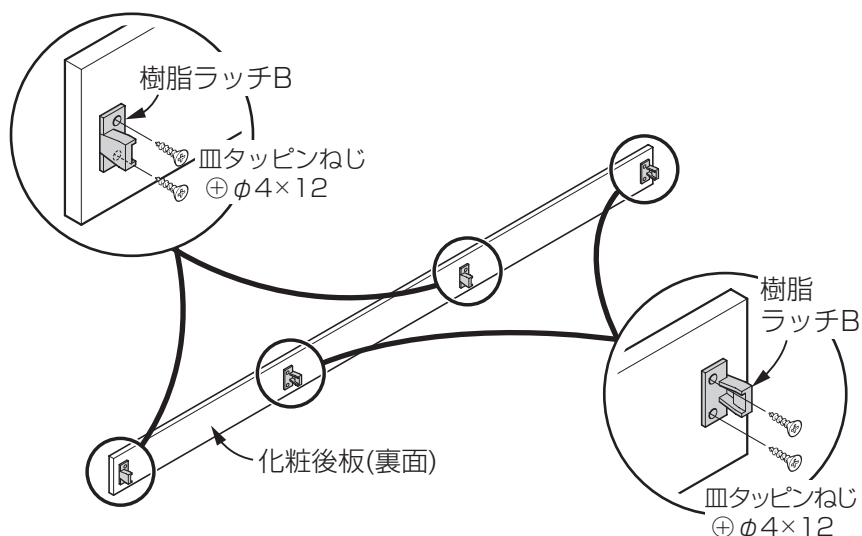
- ① プラン両端のダイニング側ユニット台輪部の
両側板に、樹脂ラッチAを取り付ける。

※ユニット台輪部側板の下穴を使用して
ください。



- ② 化粧後板裏面の下穴に、樹脂ラッチB(4か所)
をねじ固定する。

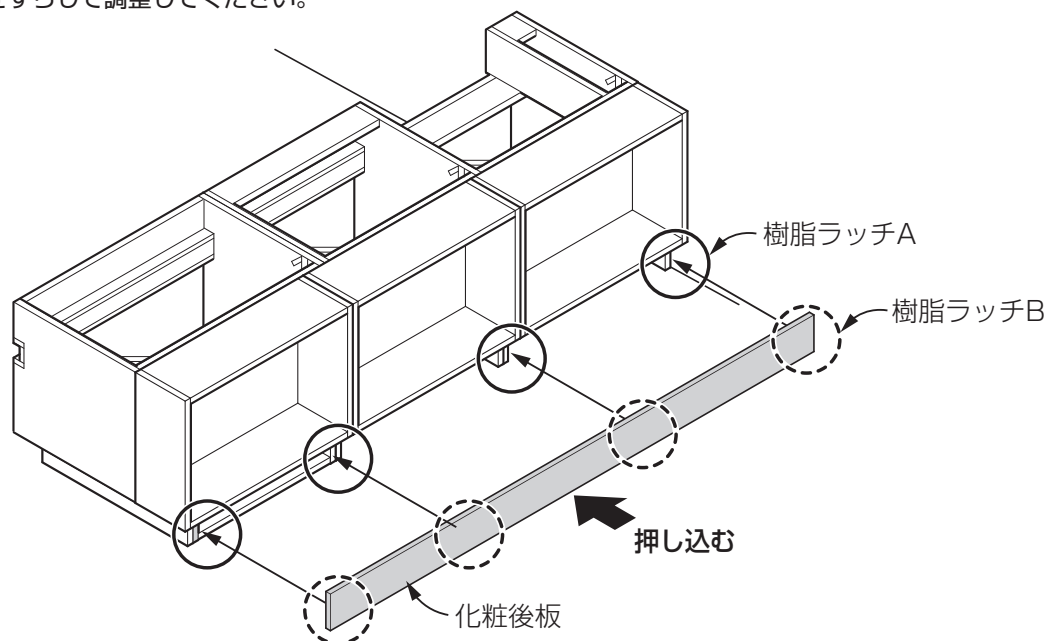
※組み立てた台輪の後部に仮置きし、
取付位置と向きを確認してください。



③ 化粧後板を台輪後部に取り付ける。

※化粧後板を前から押し込み、樹脂ラッチAと樹脂ラッチBをかん合させて取り付けてください。

※取付状態などにより上手くかん合できない場合は、樹脂ラッチBの位置をずらして調整してください。

**8** 排水トラップの取り付け**9** 機器の取り付け**10** <オプション> ガラスパーティションの取り付け

天板に開いている取付穴(2か所)を使用し、ガラスパーティションに同梱の説明書に従い、正しく設置してください。設置位置の詳細は、別紙のガラスパーティション設置図をご参照ください。

11 目地処理

本説明書の「ウォール型プラン」27ページをご参照ください。

本説明書の「ウォール型プラン」23～27ページ
をご参照ください。

食洗機の設置のしかた

国産浅型食洗機固定金具の場合

■対象品番 : EW-45**** (三菱電機 浅型食洗機)

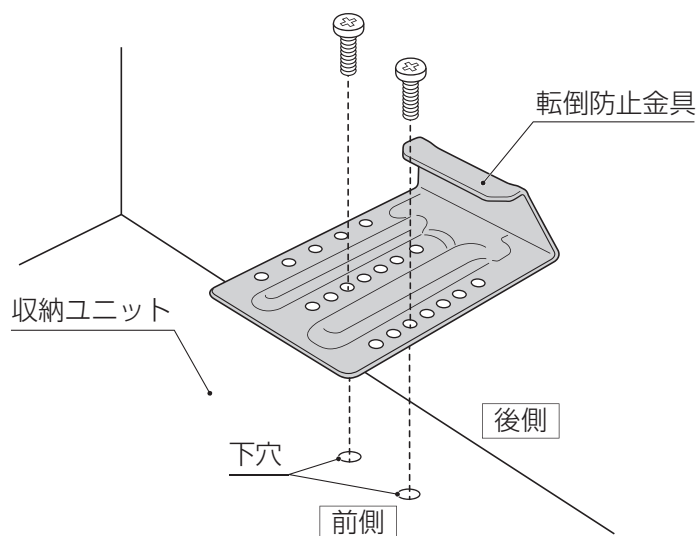
転倒防止金具・前ズレ防止金具位置は、食洗機に同梱の型紙に合わせて同梱のねじで固定してください。
(ユニットの前面小口に、型紙の前端を合わせてください。)

※電動ドライバーは使用せず、手締めしてください。

1 転倒防止金具の取り付け

食洗機同梱の据付説明書に従い、同梱のねじで
転倒防止金具を固定する。

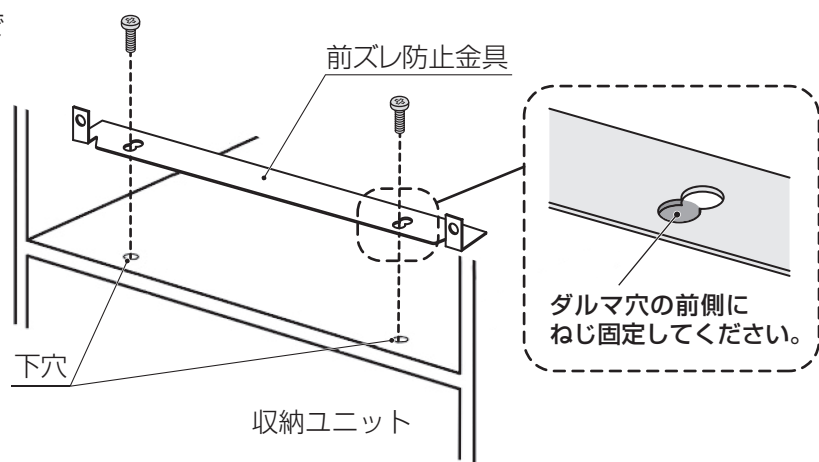
※キリなどで下穴をあけて、2本の固定用ねじ（食洗機同梱）
で必ず手締めしてください。



2 前ズレ防止金具の取り付け

食洗機同梱の据付説明書に従い、同梱のねじで
前ズレ防止金具を固定する。

※キリなどで下穴をあけて、2本の固定用ねじ
（食洗機同梱）で必ず手締めしてください。



3 食洗機の設置

食洗機同梱の据付説明書に従い、
食洗機を設置する。

⚠ 警告



必ず守る

電気工事・アース接地は据付説明書通りに確実に
行う
漏電・感電のおそれがあります。

国産深型食洗機固定金具の場合

■対象品番：EW-45****（三菱電機 深型食洗機）

転倒防止金具・前ズレ防止金具位置は、食洗機に同梱の型紙に合わせて同梱のねじで固定してください。（ユニットの前面小口に、型紙の前端を合わせてください。）

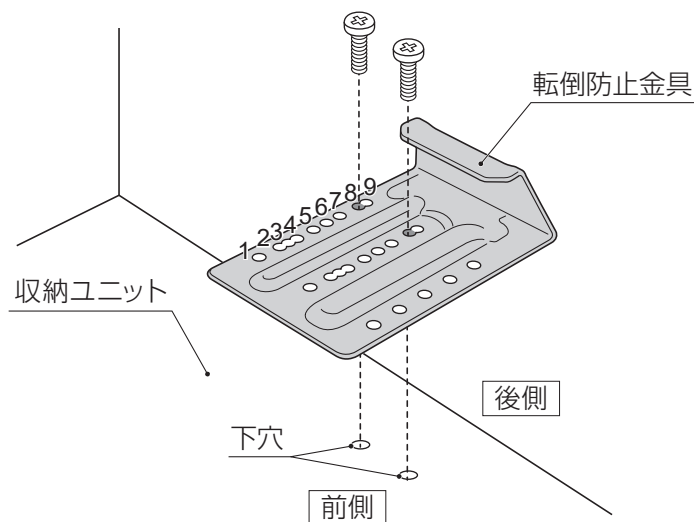
※電動ドライバーは使用せず、手締めしてください。

1 転倒防止金具の取り付け

食洗機同梱の据付説明書に従い、同梱のねじで転倒防止金具を固定する。

※2本の固定用ねじ（食洗機同梱）で、必ず手締めしてください。

※転倒防止金具は、[8]のねじ固定穴位置で固定してください。



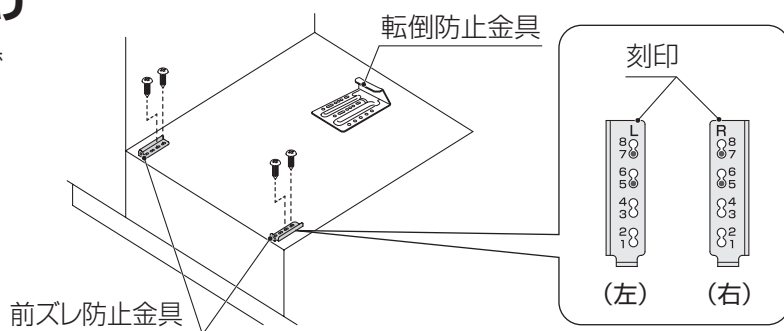
2 前ズレ防止金具の取り付け

食洗機同梱の据付説明書に従い、同梱のねじで前ズレ防止金具を固定する。

※2本の固定用ねじ（食洗機同梱）で、必ず手締めしてください。

※前ズレ防止金具は、[5]と[7]のねじ固定穴位置で固定してください。

※前ズレ防止金具の刻印（L（左）・R（右））を確認してください。



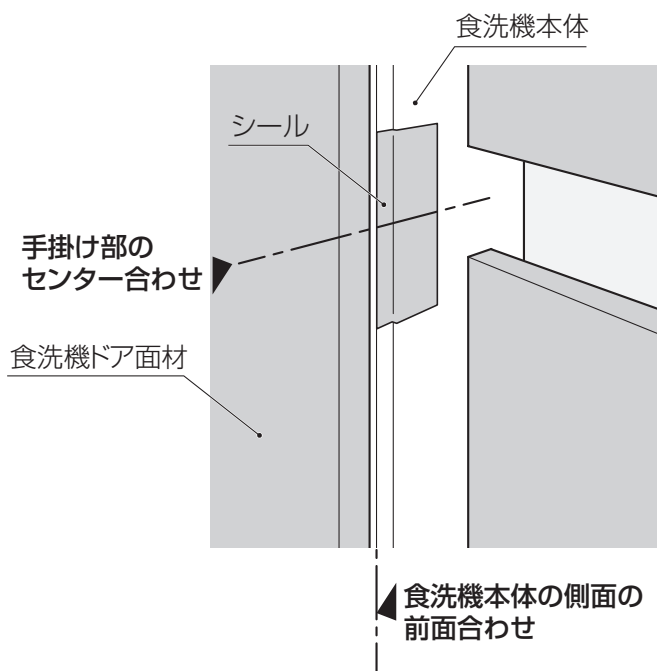
3 食洗機の設定

① 食洗機本体を完全にビルトインする前に、シール（キッチン取付部品セット同梱）を、縦向き・食洗機本体側面の前面合わせで貼り付ける。

※外観上、シールの貼り付けが必要です。

※手掛け部の色に合わせてシールの色を選んでください。

② 食洗機同梱の据付説明書に従い、食洗機を設置する。



警告

電気工事・アース接地は据付説明書通りに確実に
必ず守る 漏電・感電のおそれがあります。

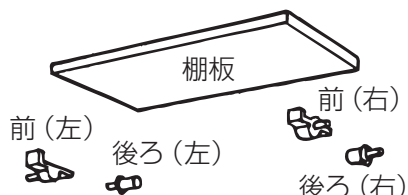
部材の取り付け

1 棚板の取り付け

棚板はユニットに付属しています。

(棚受けはユニット内に貼り付けています。)

棚受けには前後があります。



⚠ 注意

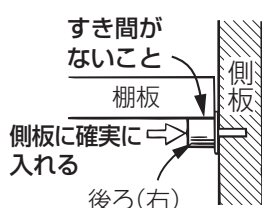
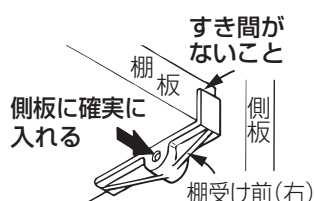


必ず守る

棚受けのユニットへの取り付け、棚のセットは確実にを行う

棚板が落下し、けがをするおそれがあります。

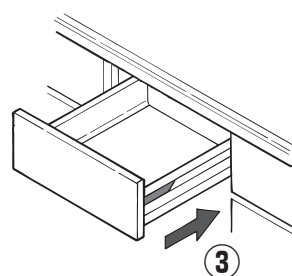
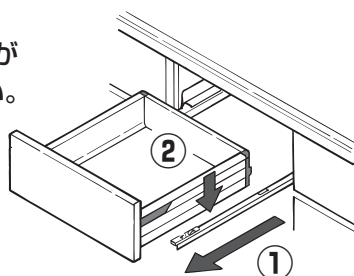
〈棚受け(前)の取り付け〉 〈棚受け(後)の取り付け〉



2 引出しの取り付け

引出しを入れた後は、2、3回開閉して必ず引出しが確実に取り付けられていることを確認してください。

- ① レールをいっぱいまで引き出す。
- ② 引出しを適当な位置にのせる。
- ③ そのまま奥まで押し込む。

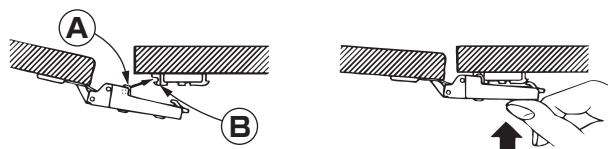


部材の取り付け

3 扉の取り付け

扉の取り付け (丁番の固定)

- ① (A) を (B) に差し込む。 ② 「ガチッ」と鳴るまで押さえる。

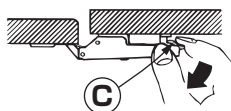


お願い

取り付け後、扉を持って2、3回開閉し、丁番が確実に固定されていることを確認してください。

扉の取り外し

- (C) をつまんで外す。

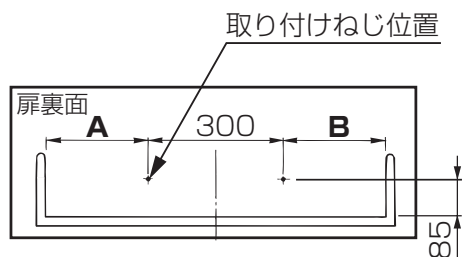


4 包丁差しの取り付け

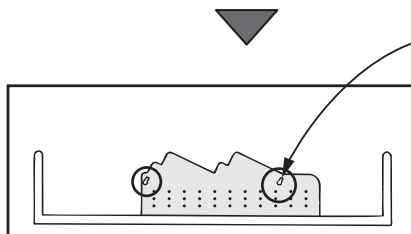
ななめ包丁差し

下記を参照し、図の位置に取付用下穴加工をする。

包丁差しの取り付けねじ位置の中心をシンク下ユニットの扉の中心に合わせて取り付ける。



取り付けねじは上記の寸法で扉の中央になるようにすること。
($A=B$) また A および B は95 mm以上のこと。



固定方法

カギ型穴部を取り付けねじに差し込み、本体を斜め下方に軽くスライドさせる。

⚠ 注意

必ず指定の位置に固定する

包丁差しが脱落し、けがをするおそれがあります。

必ず包丁差しに付属のねじを使用する

包丁差しが外れて、けがをするおそれがあります。

設置完了後は、ねじのゆるみや、浮きがないことを必ず確認する

使用中に包丁差しが外れて、けがをするおそれがあります。



必ず守る

調整

1 引出し・扉



注意



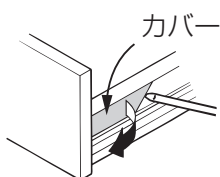
必ず守る

設置完了後、扉の傾き、がたつき、丁番（ヒンジ）の緩みがないことを必ず確認する
使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。

1. 調整のしかた

引出し（前板）

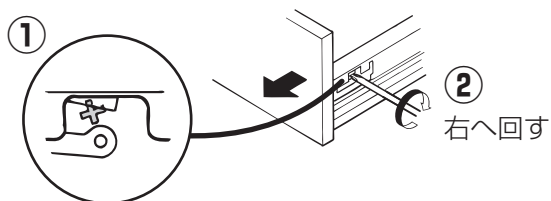
上下左右の調整は、カバーを外してから
行ってください。
調整後は必ずカバーを取り付けてください。



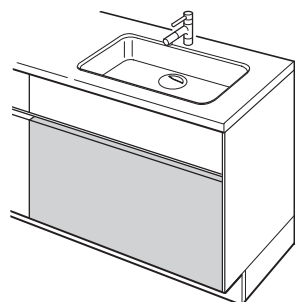
左右調整	上下調整	傾き調整
図のねじを回して左右調整する。	図のねじを回して上下調整する。	ガイドパイプを回して調整する。

前板の外しかた

- ① プラスドライバーを凸に差し込む。
- ② ロックを外し、前板を外す。

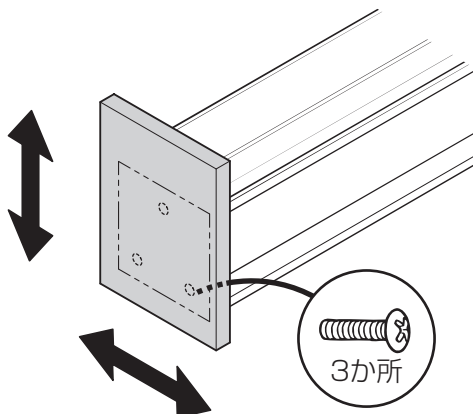


※シンク下スライドで、引出しの前板が他の扉の面と
そろわない場合は、傾き調整をしてください。
（上表参照）



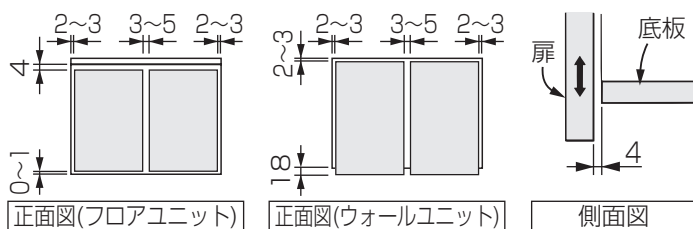
小引出し

裏面のねじ3か所を緩めて調整し、
ねじを付け直す。



扉

図のように扉を調整する。



⚠ 注意



必ず守る

設置完了後、扉の傾き、がたつき、丁番(ヒンジ)の緩みがないことを必ず確認する
使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。

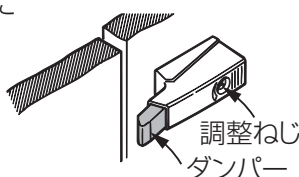
扉の調整は正しく行う

耐震ロックが正常に作動せず、けがをするおそれがあります。

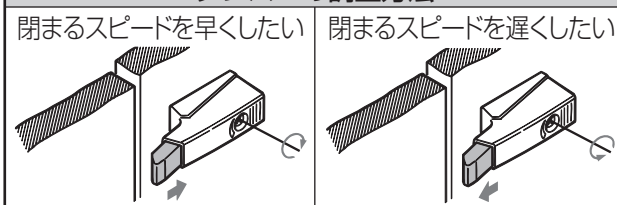
扉の状態	左右に傾いた	扉が前に傾いた	*カム式は3本ライン		扉が下がってきた	*カム式は3本ライン	
			カム式の場合			カム式の場合	
調整方法							
	①を回すと矢印の方向に動く	②を緩めて扉を前後に移動させ、しっかり締める	②を回すと扉が前後方向に動く		③を緩めて扉を上下に移動させ、しっかり締める	③を回すと扉が矢印の方向に動く	

全ての調整が完了後、扉を2~3回開閉し、扉が確実に固定されたことを確認してください。

ソフトクロー징機構(ダンパー)に押されて扉が閉まらない場合、閉まるスピードを変えたい場合は、調整ねじを回して、ダンパーの調整をしてください。

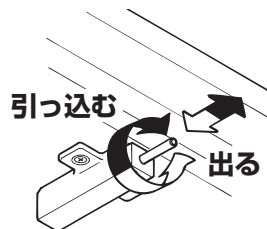
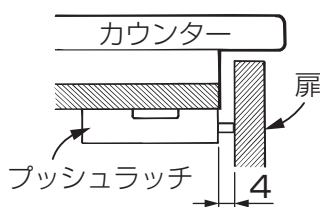


ダンパーの調整方法



■プッシュオープン扉

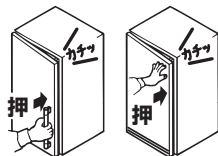
プッシュオープン扉の前後調整は、プッシュラッチのタイプによって異なります。



耐震ロックの解除のしかた

●地震で作動し扉がロックします。(ウォールユニット全て)

「カチッ」と音がするまで、取っ手または扉の上部を強く押してください。



(耐震ロックが解除し、扉が開きます。)

工事業者様へ...

「耐震ロック解除のしかた」は、お客様に口頭でご説明ください。

組立設置後の確認

■下記の表に従い、仕上がりをチェックしてください。

	チェック項目	チェック		チェック項目	チェック
ユニット	各ユニットの連結は確実に行われているか。		シンク	シンク表面に傷・汚れはないか。	
	壁面との固定は確実に行われているか。			シンクに水滴はないか。 ※排水の水もれ確認や水栓金具の通水 確認後は、水滴の残らないよう、必ず ふきとってください。	
	ユニット内に傷、汚れ、残材はないか。				
	各キャップ類は取り付けられているか。				
カウンター	耐震ロックの輸送用テープは外してあるか。		フード	レンジフードが正常に作動するか。	
	カウンター表面に傷、汚れはないか。			照明は点灯するか。	
扉・引出し	カウンターの水平はよいか。		加熱機器	機器の作動は正常か。	
	扉・引出しに傾き、がたつき、緩みはないか。			ガス種は合っているか。	
	扉・引出し・棚板は確実に取り付けられているか。		資料	ガス元栓はついているか。	
	扉・引出し前板の調整はできているか。			取扱説明書はお客様の目につきやすい 場所に置いてあるか。(引出しの最上段など)	
	扉の丁番は確実にセットされているか。		養生	電気工事・配管工事を行う商品の取付 設置説明書は、取り付け事業者が目につ きやすい場所に置いてあるか。	
	耐震ロックは確実に機能しているか。			養生されているか。 ※内装工事が続いて行われるときや、引き 渡しまでに日数があるときは、必ず養生 してください。	
	扉・部材に貼られている保護シートは はがしてあるか。			※粘着力の弱い養生テープで商品表面を避け 目立ちにくい部分に貼り付けてください。	
排水セッ ト	プッシュオープン扉の前後調整はできているか。		清掃	ユニットや扉のほこり・汚れは柔らかい 布でふき取られているか。	
	水漏れはないか。(トラップ・シンク トラップ・エルボ)				
	防臭キャップは確実に排水管に固定され ているか。				
水栓金具	排水トラップのエルボは確実に差し込ま れているか。				
	エルボの三角パッキンの忘れ、方向は 間違っていないか。				
	水栓金具は確実に固定されているか。				
	湯・水の混合の具合はいいか。				
	水栓金具のレバー、ハンドルのぐらつき などはないか。				
	吐水口のぐらつきなどはないか。				

お願い

試運転を実施してください。

機能商品（ガスコンロ、IHクッキングヒーター、水栓金具、レンジフード、食器洗い乾燥機など）は、それぞれの取扱説明書に基づき、必ず試運転の実施をし、確実に作動することを確認してください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター

受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL : **0120-468-838** FAX : 0120-382-096



2024年10月発行 D1024-0